


山形大学基盤教育評価改善報告書

平成 28 年度

平成 29 年 3 月

山形大学基盤教育院 基盤教育評価改善会議



山形大学基盤教育評価改善報告書
平成 28 年度

平成 29 年 3 月

山形大学基盤教育院 基盤教育評価改善会議

巻頭言

「基盤教育」から、「3年一貫学士課程基盤教育」へ：三学戒の重要性

基盤教育院長・学士課程基盤教育機構長

安田弘法

結城章夫前学長が、平成20年6月の教育研究評議会で「山形大学の教養教育の基本方針」を示され、平成22年4月から山形大学基盤教育が立ち上がったのは、7年前であった。そして、「基盤教育は、「21世紀型市民」として必要な「人間力」を身につけることが、目的とされ、(1)知育、(2)徳育、(3)体育、(4)「21世紀型市民」としてのリテラシー、(5)職業人としての基礎的能力の5分野で実施する」、ことが示された。また、基盤教育の柱として、(1)「人間力」の育成、(2)健全な批判精神に裏打ちされた幅広い教養の養成、(3)自立した個人として社会における責任を果たす態度・志向性の養成が重視され、基盤教育は、「導入科目」「基幹科目」「教養科目」「共通科目」「展開科目」で構成された。この基盤教育が開始され7年が過ぎ、基盤教育担当教職員のご尽力により、基盤教育は、当初の目的及び「柱」の達成に向け多面的な評価を受け、実績を残してきた。

平成29年度から「3年一貫学士課程基盤教育」が始まる。ここでは、「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」の3つの山形大学の使命と「創造性及び豊かな人間性を有する人材を育成する」という教育の基本理念に基づき、新時代に相応しい人間力を養い、知・徳・体の調和のとれた人材を社会に輩出することを目指している。基本的に、「新たな基盤教育」は、過去7年間の基盤教育を継承し、更に充実させるのが特徴である。そのため上述の5科目の目的を見直し、さらに基本理念や目指しているところが教育プログラムに落とし込めるよう、教育方法についても必要に応じた変更を行った。

幕末の儒者で、昌平黌の総長、佐藤一斎先生は、言志四録の箴言「三学戒」で、「少(わか)くにして学べば、則ち壮にして為すことあり。壮にして学べば、則ち老いて衰えず。老いて学べば、則ち死して朽ちず」と、生涯学び続けることの重要性を指摘する。「3年一貫学士課程基盤教育」の特徴は、基盤共通教育と専門教育を連動させた3年一貫の教育プログラムと、2年次以降も「人間力」を身につける学びを継続することにある。平成29年度から3年程度で「新たな基盤教育」を充実させる予定である。

平成23年度から「山形大学基盤教育評価改善報告書」を作成し、授業改善に関する多面的な解析を行ってきた。また、学生による授業改善アンケートは、今年で17年目である。「新たな基盤教育」では、教育評価の解析結果を基盤教育担当者だけでなく組織としてフィードバックし、授業改善につなげるようにしたい。教育の質の保証に向け、基盤教育の更なる充実を図るため、関係各位のご理解とご協力をお願いしたい。

目 次

巻頭言 「基盤教育」から、「3年一貫学士課程基盤教育」へ：三学戒の重要性
基盤教育院長 安田 弘法

序 章	事業概要	…	5
第1章	基盤教育学生アンケート（進級時）（4年次）	…	9
第2章	学生との座談会	…	31
第3章	スタートアップセミナーアンケート	…	51
第4章	学生と教員による授業改善アンケート	…	81
第5章	ミニ公開授業・検討会／ベストティーチャー賞	…	109
付 録	GPA分析調査	…	117
	山形大学基盤教育評価改善会議委員名簿	…	120

序章

事業概要



序章

平成28年度基盤教育評価改善会議の業務内容

基盤教育評価改善会議議長 下平 裕之

基盤教育評価改善会議では、平成23年度の発足以来、「基盤教育の点検・評価」と「基盤教育の教育方法等の改善」につとめてきた。

基盤教育の点検・評価に関わる業務の主軸をなしているのは各種のアンケート調査であり、各学期末の「授業改善アンケート」、「スタートアップセミナーアンケート」(7月)、「基盤教育アンケート(進級時)」(12月)が定例化している。また、基盤教育が4年目を迎えた平成25年度からは、卒業年時の学生を対象とした「基盤教育アンケート(4年次)」がこれらに付け加わった。本報告書では、これらのアンケート調査の分析結果について、第1章に基盤教育学生アンケート(進級時ならびに4年次)、第3章にスタートアップセミナーアンケート、第4章に授業改善アンケートの報告を掲載した。

点検・評価に関わる業務にはこのほか、学生の声を直接に聞く場である「学生との座談会」(12月)、各学期末に実施する「GPA分布調査」などがある。学生との座談会では、本年度は「初修外国語」について、4名の学生と基盤教育評価改善会議の教員等4名が意見交換を行った。その記録は本報告書の第2章に掲載した。GPA分布調査については、結果は各授業担当教員に配布することとなっており、本報告書では、総括的な分布一覧の資料のみ掲載する。

基盤教育の教育方法等の改善に関する業務としては、「ベストティーチャー賞」とミニ公開授業及びその検討会がある。本報告書ではその報告を第5章に掲載した。今年度のベストティーチャー賞受賞者は、学生投票によって選出された中島宏准教授(人文学部)、千代勝実教授(基盤教育院)である。なお、受賞者には今年度の授業の際に公開授業ならびに検討会を実施してもらっている。

最後に、本報告書が、基盤教育の改善・充実に向けて、各授業担当者において、また各学部・学科における検討資料として、広く活用されることを期待したい。

第1章

基盤教育学生アンケート (進級時)(4年次)



第1章 基盤教育学生アンケートの分析結果

基盤教育実施部 導入科目部門長 下平 裕之

はじめに

本章では、基盤教育がスタートして以後継続的に実施してきた基盤教育学生アンケートの結果を紹介する。

内容は、基盤教育発足とともに新設された導入科目と基幹科目、ならびに教養科目「山形に学ぶ」領域に関する質問を中心としている。また、平成25年度からは、卒業年次を迎えた4年次学生に対しても、同様の質問からなるアンケートを実施している。

以下、第1部では1年次学生へのアンケート結果について、第2部では4年次学生へのアンケート結果について紹介する。

第1部 進級時アンケートの結果

本アンケートは、本年度は12月、前年度同様に英語（コミュニケーション・スキル1）の授業時間の一部を借用して行なわせていただいた。おかげさまで回答率は比較的高い数値を維持している。ご協力いただいた授業担当教員各位にお礼申し上げます。

表1 基盤教育アンケート回収率（平成28年度）

所属学部	学生数（1年生）	アンケート回答者数	アンケート回答率	参考		
				H27	H26	H25
人文学部	310	297	95.8%	82.0%	89.4%	94.8%
地域教育文化学部	250	225	90.0%	94.4%	88.7%	91.6%
理学部	189	179	94.7%	76.2%	80.8%	85.1%
医学部	185	159	86.0%	75.3%	77.3%	87.7%
工学部	612	530	86.6%	89.2%	83.5%	86.2%
農学部	156	133	85.3%	90.4%	87.1%	93.8%
合計	1,702	1,523	89.5%	85.8%	84.7%	89.3%

1. 導入科目と基幹科目

アンケートの最初の質問（問1）、「導入科目（スタートアップセミナー）は大学での学習をはじめるにあたって有意義な内容でしたか？」に対する回答の分布を表2に示す。

表2 導入科目（スタートアップセミナー）は大学での学習を始めるにあたって有意義な内容でしたか？

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	合計	構成比
1.非常に有意義だった		39	28	21	17	51	7	163	10.7%
2.有意義だった		96	94	76	59	211	50	586	38.6%
3.どちらとも言えない		79	59	41	51	145	44	419	27.6%
4.あまり有意義とは言えない		49	30	19	26	83	19	226	14.9%
5.全然有意義ではなかった		33	14	19	6	38	13	123	8.1%
合計		296	225	176	159	528	133	1,517	100.0%
平均値		3.20	3.41	3.35	3.35	3.29	3.14	3.29	—
肯定的回答（1+2）の割合		45.6%	54.2%	55.1%	47.8%	49.6%	42.8%	49.4%	—
参考	平成27年度	60.9%	60.3%	53.8%	58.3%	52.8%	38.3%	54.6%	—
	平成26年度	70.4%	57.3%	60.9%	56.0%	48.4%	44.7%	55.6%	—
	平成25年度	66.1%	52.2%	63.8%	58.3%	54.4%	46.7%	56.9%	—
	平成24年度	57.8%	59.8%	51.0%	42.9%	57.4%	50.0%	54.8%	—

第1章 基盤教育学生アンケート（進級時）（4年次）

肯定的回答の割合を全体合計で見ると、前年比6ポイント減の49%となり、年来の目標「最低でも6割、できれば3分の2以上」は依然として未達成となった。

学部別に見ると、最高は理の55%、最低が農の42%であるが、特に人文（15ポイント）・医（10ポイント）の減が顕著であり、一方農は5ポイントの増となっている。なお来年度はスタートアップセミナーの開講形態が大きく変わることから、これがどのように評価に影響を与えるか注目していきたい。

参考までに、授業改善アンケートの総合評価では、平成28年度は4.47であった（平成24年度4.13、平成25年度4.31、平成26年度4.30、平成27年度4.25）。

次に基幹科目「人間を考える」領域と「共生を考える」領域についてのアンケート回答結果を表3と4に示す。

表3 基幹科目（人間を考える）の授業は「人間」についての理解や考えを深めるのに有意義でしたか？

回答内容		所属学部						合計	構成比
		人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部		
1.非常に有意義だった		22	15	21	13	51	16	138	9.1%
2.有意義だった		99	95	52	54	205	58	563	37.0%
3.どちらとも言えない		85	68	49	50	150	34	436	28.7%
4.あまり有意義とは言えない		57	34	29	31	77	14	242	15.9%
5.全然有意義ではなかった		33	13	26	11	47	11	141	9.3%
合計		296	225	177	159	530	133	1,520	100.0%
平均値		3.07	3.29	3.07	3.17	3.26	3.41	3.21	—
肯定的回答（1+2）の割合		40.9%	48.9%	41.2%	42.1%	48.3%	55.6%	46.1%	—
参考	平成27年度	55.7%	62.8%	54.2%	48.2%	49.2%	48.2%	52.8%	—
	平成26年度	50.2%	54.9%	45.5%	36.9%	40.2%	45.1%	45.0%	—
	平成25年度	51.7%	49.6%	43.1%	35.4%	46.3%	42.0%	45.9%	—
	平成24年度	56.3%	59.2%	52.9%	41.7%	45.0%	65.5%	51.7%	—

肯定的回答の割合で見ると、人間領域は、全体合計では昨年度比で7ポイント減少し、残念ながら2年連続の上昇とはならなかった。学部別に見ても人文、地教、理で大きく減少している一方、農では8ポイントの改善が見られた。

表4 基幹科目（共生を考える）の授業は「共生」についての理解や考えを深めるのに有意義でしたか？

回答内容		所属学部						合計	構成比
		人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部		
1.非常に有意義だった		35	14	29	13	51	20	162	10.7%
2.有意義だった		109	78	62	58	201	55	563	37.1%
3.どちらとも言えない		75	78	47	47	144	35	426	28.0%
4.あまり有意義とは言えない		47	38	18	29	77	13	222	14.6%
5.全然有意義ではなかった		30	17	21	11	57	10	146	9.6%
合計		296	225	177	158	530	133	1,519	100.0%
平均値		3.24	3.15	3.34	3.21	3.21	3.47	3.27	—
肯定的回答（1+2）の割合		48.6%	40.9%	51.4%	44.9%	47.5%	56.4%	47.7%	—
参考	平成27年度	50.4%	38.5%	56.3%	47.5%	44.5%	50.4%	46.6%	—
	平成26年度	52.0%	48.0%	53.2%	39.7%	45.8%	43.3%	47.3%	—
	平成25年度	54.8%	54.4%	60.6%	42.1%	47.6%	48.0%	50.7%	—
	平成24年度	51.9%	54.3%	54.2%	42.0%	48.0%	57.4%	50.6%	—

第1章 基盤教育学生アンケート（進級時）（4年次）

肯定的回答の全体合計では、共生領域は前年度比で1ポイントの改善が見られた。学部別に見ると、最高が農の56%、最低が地教の41%であり、前年度比で改善したのは地教、工、農の3学部であった。

参考までに、授業改善アンケートでみると、人間領域と共生領域の総合評価はそれぞれ4.46（前年度4.03）、4.32（前年度4.18）であり、前年度比で改善している。

表5 基幹科目で選択する授業を決める際、最も重視した情報源は次のうちどれですか。一つだけ選んでください。

回答内容	所属学部 人文学部	地域教育 文化学部	理 学部	医 学部	工 学部	農 学部	合計	構成比	参考			
									H27	H26	H25	H24
1. シラバス	198	109	113	35	302	86	843	55.5%	56.0%	51.3%	57.5%	63.8%
2. 最初の授業の印象	51	40	35	16	116	25	283	18.6%	20.5%	22.0%	19.0%	11.0%
3. 先輩や友人の意見	45	73	28	106	103	22	377	24.8%	22.9%	25.8%	22.6%	23.5%
4. その他	1	3	1	2	9	0	16	1.1%	0.6%	0.9%	0.9%	17.0%
合計	295	225	177	159	530	133	1,519	100.0%	100%	100%	100%	100%

この質問への回答結果では、昨年同様、1～3の項目でほぼ尽くされ、「その他」は1%を占めるに過ぎない。全体として、シラバスを挙げる回答が半分強を占め、残りを他の2項目が分ける構図は例年同様である。

2. 「山形に学ぶ」について

教養科目「山形に学ぶ」領域の履修状況を表6に示した。

表6 あなたは今年度教養科目の「山形に学ぶ」領域の科目を履修しましたか。

回答内容		所属学部	人文学部	地域教育 文化学部	理 学部	医 学部	工 学部	農 学部	合計	構成比
1. 講義（地域学）のみ履修した			46	44	63	18	20	54	245	16.2%
2. 教養セミナーのみ履修した			36	52	26	20	31	22	187	12.4%
3. 講義（地域学）と教養セミナー両方履修した			14	9	15	9	7	14	68	4.5%
4. 全く履修しなかった			201	118	73	111	468	43	1,014	67.0%
合計			297	223	177	158	526	133	1,514	100.0%
履修者数			96	105	104	47	58	90	500	33.0%
履修者の割合			32.3%	47.1%	58.8%	29.7%	11.0%	67.7%	33.0%	—
参 考	平成27年度		40.9%	57.3%	60.1%	20.4%	17.0%	73.8%	37.8%	—
	平成26年度		38.0%	56.2%	44.5%	20.6%	13.0%	71.8%	34.0%	—
	平成25年度		42.5%	69.0%	55.3%	17.2%	10.5%	70.7%	36.3%	—
	平成24年度		62.1%	74.2%	56.9%	16.0%	20.4%	66.9%	43.9%	—

全体合計で見ると、昨年度一旦履修者数の比率低下に歯止めがかかったが、今年度は残念ながら再度低下することとなった。例年通り、この項目については学部間の差が大きく、最高が農の68%、最低が工の11%である。医を除く各学部で減少しているが、特に地教で10ポイントの大幅な減少となった。

「山形に学ぶ」を履修した学生がどのような理由から履修を考えたかについての質問への解答を、表7に示す。

各項目の順位を見ると、上位3項目の順位は昨年同様である。順位の点では、項目4「先輩や友人に勧められたから」から8位から6位に上昇した一方、入れ替わりに項目8「コミュニケーション能力を高めるために役立ちそうだったから」が8位に後退している（この設問は複数回答可である）。

表7 「山形に学ぶ」の授業を履修した人は、履修の理由について当てはまるものを（いくつでも）選んでください。

第1章 基盤教育学生アンケート（進級時）（4年次）

回答内容	所属学部	人文 学部	地域教育 文化学部	理 学部	医 学部	工 学部	農 学部	合計	順位	参考			
										H27	H26	H25	H24
2. 講義内容が面白そうだったから	62	58	58	24	31	56	289	1	56.6%	55.7%	61.8%	64.6%	
	64.6%	55.2%	55.8%	51.1%	53.4%	62.2%	57.8%						
3. 単位が取りやすそうだったから	39	39	41	25	18	28	190	2	34.9%	32.3%	37.3%	32.9%	
	40.6%	37.1%	39.4%	53.2%	31.0%	31.1%	38.0%						
1. 山形のことをもっと知りたいと思ったから	21	18	14	13	17	16	99	3	23.7%	27.1%	24.5%	22.3%	
	21.9%	17.1%	13.5%	27.7%	29.3%	17.8%	19.8%						
7. フィールドワークや見学など教室外の研修が含まれていたから	19	24	12	6	18	17	96	4	17.5%	19.6%	20.4%	10.6%	
	19.8%	22.9%	11.5%	12.8%	31.0%	18.9%	19.2%						
5. 授業担当教員が良さそうだったから	12	8	7	1	4	12	44	5	9.9%	7.0%	12.0%	15.4%	
	12.5%	7.6%	6.7%	2.1%	6.9%	13.3%	8.8%						
4. 先輩や友人に勧められたから	8	11	5	11	3	4	42	6	6.2%	7.6%	10.2%	11.6%	
	8.3%	10.5%	4.8%	23.4%	5.2%	4.4%	8.4%						
6. 集中方式の授業だったから	4	6	7	5	9	6	37	7	7.8%	8.4%	10.2%	2.3%	
	4.2%	5.7%	6.7%	10.6%	15.5%	6.7%	7.4%						
8. コミュニケーション能力を高めるために役立つそうだったから	7	6	3	1	9	8	34	8	8.6%	9.6%	8.2%	2.9%	
	7.3%	5.7%	2.9%	2.1%	15.5%	8.9%	6.8%						
9. その他	2	1	6	0	1	2	12	9	2.7%	1.6%	3.8%	0.6%	
	2.1%	1.0%	5.8%	0.0%	1.7%	2.2%	2.4%						
履修者数	96	105	104	47	58	90	500	—	—	—	—	—	

表8に示したのは、「山形に学ぶ」を履修したことによる成果に関わる質問への回答結果である。

表8 「山形に学ぶ」の授業を履修して山形県への理解や関心が深まりましたか？

回答内容	所属学部	人文 学部	地域教育 文化学部	理 学部	医 学部	工 学部	農 学部	合計	構成 比	参考			
										H27	H26	H25	H24
1. 非常に深まった	14	22	8	11	16	17	88	17.8%	19.3%	20.0%	17.7%	14.5%	
2. 深まった	56	58	50	24	26	55	269	54.5%	54.5%	54.2%	57.7%	56.0%	
3. どちらとも言えない	18	16	33	9	11	9	96	19.4%	21.0%	20.0%	18.1%	19.6%	
4. あまり深まらなかった	5	5	5	1	4	6	26	5.3%	4.7%	4.7%	4.5%	6.6%	
5. 全く深まらなかった	3	2	6	1	2	1	15	3.0%	0.6%	1.0%	2.0%	3.2%	
合計	96	103	102	46	59	88	494	100%	100%	100%	100%	100%	
平均値	3.76	3.90	3.48	3.93	3.85	3.92	3.81	—	—	—	—	—	
肯定的回答（1+2）の割合	72.3%	77.7%	56.7%	76.1%	71.2%	81.8%	72.3%	—	—	—	—	—	
参 考	平成27年度	75.8%	81.7%	62.5%	69.2%	77.0%	69.9%	73.8%	—	—	—	—	
	平成26年度	81.6%	71.4%	67.7%	85.2%	66.7%	76.5%	74.2%	—	—	—	—	
	平成25年度	72.1%	79.0%	72.1%	70.0%	71.4%	80.4%	75.4%	—	—	—	—	
	平成24年度	74.7%	77.2%	44.0%	66.7%	72.5%	73.7%	70.6%	—	—	—	—	

全体合計で見ると、「山形県への理解や関心が深まりましたか」との問いかけへの肯定的回答は5年間を通じて7割を越えており、大きな増減はない。しかし、学部別に見ると増減の凸凹が見られる。増加したのは農12ポイント、医7ポイントである。他の4学部は減少しており、理・工が6ポイント減、地教・人文4ポイント減であった。また、否定的評価については「あまり深まらなかった」と「全く深まらなかった」を合わせても全体で8%とやや増加した（前年度は5%）が、全体的にはこの領域の科目は、履修者の全体比率の伸び悩みは見られるものの、履修学生のあいだでは引き続き高い支持を得ていると言える。なお来年度からはこの領域は基幹科目「山形から考える」として必修科目となるため、履修の成果に関わる数値がどのように変化していくかを注視したい。

3 自由記述欄

基盤教育学生アンケートの問6は自由記述欄であり、基盤教育全体についての要望や意見をたずねている。本年度はこの欄への記載が42件、全回答者に占める割合は2.7%であった。前年度の1.8%（26件）に比べると増加しているが、5～10%の値を示していた平成25年度以前と比べると十分な回復を示しているとはいえない。

表9に平成28年度の各学部の内訳を示したうえで、記載内容を掲載する（一部略）。

表9 自由記述欄への記載件数（平成28年度）

人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	全体
12	8	3	5	9	5	42

◆基盤教育全体について要望や意見がありましたら、何でも結構ですから書いてください。

<人文学部>

1. 必修が多すぎる上にキャップ制があるせいで、本当に興味のある授業を何個も取り逃がした。
2. スタートアップセミナーをもっと有意義なものにしてほしい。
3. 休講情報を少し早く伝えて欲しい。
4. テストとTOEICの時期をかぶせるのをやめてください。
5. 5コマをもう少し充実させて欲しい。履修したい科目が被っているため、諦めざるを得ないことが多くあった。にも関わらずほとんど講義がないコマもあるなどバランスが悪いように感じた。

<地域教育文化学部>

1. 履修登録時にサーバーがダウンしているので改善してください。何もなすすべがないならいので生徒にしっかり伝えるようにしてください。
2. 山形に学ぶはとても良かった。特に集中方式で現地向かうものは価値があるものだった。
3. 後期月曜日は文系科目が集中していると思う。毎日バランス良く時間割を作って欲しかった。
4. グループディスカッション等で、もっと人脈を拓ける授業がしたかった。

<理学部>

1. 例年人気のある授業は、可能であれば前期と後期の両方で開講してほしい。
2. 後期の授業が少なすぎるので増やすべきだ。火曜日が、絶望的に授業が少ないのでそこにも授業を

用意してほしい。

<医学部>

1. もう少し教養の授業の種類を増やして欲しかった。
2. とりたい授業が専門の時間割を重複してとれなかったり、単位をとるために全く興味のない授業をとらなければならなかったりした。

<工学部>

1. webclassが充実すればいいんじゃないかと思った。
2. SNSとかもっと身近なものについての講義があればいいなと思いました。
3. 理系なのに文系の授業をとる数が多いと思う。
4. 同じ授業なのに先生によって難易度が変わり、良い成績もとりにくかったりして不公平だなと感じることがよくある。テストを統一するなどの対策をとってほしい。

<農学部>

1. 掲示板だけではどうしても気付かないことが多いため、情報をメールで配信して欲しい。
2. シラバスや時間割など読みにくい。単位を取得できているかがわかりづらい。

第2部 4年次アンケートの結果

1 はじめに

第2部では、基盤教育学生アンケート（4年次）の結果を紹介する。

本アンケートは、基盤教育がスタートした平成22年度の入学生が卒業年次を迎えたことを受けて、平成25年度から実施している。その回収率を表1に示す。全体の回収率は58%であった（平成26年度34%、平成27年度65%）。

表1 回収率（平成27年度）

	履修者数	回答者数	回答率
人文学部	408	181	44.4%
地域教育文化学部	270	244	90.4%
理学部	213	146	68.5%
医学部（看護学科）	70	56	80.0%
工学部	698	396	56.7%
農学部	176	45	25.6%
合計	1,835	1,068	58.2%

本アンケートの実施にあたっては各学部にご協力いただいた。ここに記してお礼申し上げたい。なお、実施時期は、平成28年11月から平成29年2月の期間である。

質問は全部で10項目であり、基盤教育において力点を置いてきた教育上の事項に関する選択式の質問8問、自由記述2問からなる。以下、各問に対する回答状況について見てゆく。

- 問1 基盤教育の授業は、以下のような知識や能力を身につけるのに役立ちましたか？
- 問1-1 自分自身で探求課題を見つけだす能力
- 問1-2 人間とは何か、また人と人、人と自然が共生するとはどういうことかについての知識
- 問1-3 多様な学問分野にわたる幅広い知識
- 問2 基盤教育の授業は、より具体的に、以下に挙げる知識・技能を身につけるのに役立ちましたか？
- 問2-1 口頭で発表したり議論をしたりする能力
- 問2-2 レポート等の文章作成の能力
- 問2-3 情報を収集し分析する能力
- 問2-4 外国語の能力
- 問3 「山形に学ぶ」は山形をはじめとする地域社会の問題についての知識・関心を深める上で役立ちましたか？
- 問4 基盤教育の場で得られた教員や同級生との人間関係は、その後の大学生活において有意義なものとなりましたか？
- 問5 基盤教育を受けてよかったと思う点について、自由に記述してください。
- 問6 基盤教育の改善に向けて、こうした方がよいという提案がありましたら、自由に記述してください。

2 選択式の設問への回答

まず問1-1への回答を表2に示す。

表2 自分自身で探求課題を見つけだす能力

第1章 基盤教育学生アンケート（進級時）（4年次）

平成28年度

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	合計	構成比
5. 役立った		31	35	19	3	37	2	127	12.0%
4. どちらかと言えば役立った		95	132	61	16	143	21	468	44.2%
3. どちらとも言えない		49	48	43	16	148	16	320	30.2%
2. どちらかと言えば役立たなかった		6	21	13	12	47	5	104	9.8%
1. 役立たなかった		0	7	5	9	18	1	40	3.8%
合計		181	243	141	56	393	45	1,059	100.0%

この質問は、基盤教育を通じて育むべき「人間力」の重要な要素として「自分で課題を見つけて探究」する能力が重視されていることを受けてのものである。肯定的な回答（「5. 役立った」と「4. どちらかと言えば役立った」を合わせた数値）は平成26年度の56%、平成27年度の58%と伸びてきたが、平成28年度は56%とやや後退している。

次に問1-2への回答状況を表3に示す。

表3 人間とは何か、また人と人、人と自然が共生するとはどういうことかについての知識

平成28年度

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	合計	構成比
5. 役立った		30	34	16	4	33	4	121	11.4%
4. どちらかと言えば役立った		77	113	47	21	129	20	407	38.3%
3. どちらとも言えない		57	65	55	13	153	18	361	34.0%
2. どちらかと言えば役立たなかった		16	21	17	8	48	1	111	10.4%
1. 役立たなかった		1	10	8	10	32	2	63	5.9%
合計		181	243	143	56	395	45	1,063	100.0%

これは基幹科目として開講されている「人間を考える」「共生を考える」領域の科目群を念頭に置いた設問である。肯定的回答は前年度の48%に対し今年度は50%と5割に到達しているが、他の設問と比べるとなお低位にある。

この設問は、第1部で紹介した1年次学生対象の基盤教育アンケート（進級時）の設問3「基幹科目（人間を考える）の授業は『人間』についての理解や考えを深めるのに有意義でしたか？」、ならびに設問4「基幹科目（共生を考える）は「共生」についての理解や考えを深めるのに有意義でしたか？」と対応している。これらの設問への肯定的回答の比率は、平成25年度の調査ではそれぞれ45%、51%であり、1年次での評価と大きな違いはない。

表4に示したのは問1-3への回答結果である。

表4 多様な学問分野にわたる幅広い知識

平成28年度

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	合計	構成比
5. 役立った		70	75	51	9	87	10	302	28.4%
4. どちらかと言えば役立った		87	131	68	21	170	23	500	47.1%
3. どちらとも言えない		21	29	19	15	106	9	199	18.7%
2. どちらかと言えば役立たなかった		2	5	5	5	14	2	33	3.1%
1. 役立たなかった		0	3	0	6	18	1	28	2.6%
合計		180	243	143	56	395	45	1,062	100.0%

第1章 基盤教育学生アンケート（進級時）（4年次）

この設問は「教養科目」を念頭に置いたものである。肯定的な回答は今回の調査項目の中では最も高い76%であった。この項目は過去2年間の調査でも最高率を維持しており、教養科目が基盤教育全体の中で大きな存在感を示していることの反映と思われる（後掲の自由記述の中にも、基盤教育を受けてよかった点として「幅広い教養を身につけることができた」とする回答が非常に多い）。

続く4つの設問では、知識・技能の種別ごとに、身についたかどうかを問う。まず、口頭での発表や議論に関わる回答結果を表5に示す。

表5 口頭で発表したり議論をしたりする能力

平成28年度

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	合計	構成比
5. 役立った		34	67	25	4	56	6	192	18.1%
4. どちらかと言えば役立った		78	114	55	16	136	23	422	39.8%
3. どちらとも言えない		48	38	38	18	137	9	288	27.2%
2. どちらかと言えば役立たなかった		17	19	17	10	44	7	114	10.8%
1. 役立たなかった		3	5	8	8	20	0	44	4.2%
合計		180	243	143	56	393	45	1,060	100.0%

肯定的な回答は58%であり、平成26年度の48%、平成26年度の55%に比して2年連続の増加となった。ちなみに、1年次の7月に実施しているスタートアップセミナーアンケートの関連設問「この授業によって人前での口頭発表になれることができましたか」「この授業によってグループでの議論・討論や共同作業になれることができましたか」の結果をふり返ると、今回のアンケートの対象学生が1年次に行った回答結果は、「口頭発表」については肯定的回答が56%、「グループでの議論・討論や共同作業」に関わる肯定的回答は70%であった。

表6に示したのは「レポート等の文章作成の能力」についての回答結果である。

表6 レポート等の文章作成の能力

平成28年度

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	合計	構成比
5. 役立った		54	84	37	7	82	12	276	26.0%
4. どちらかと言えば役立った		90	111	65	21	175	20	482	45.4%
3. どちらとも言えない		29	35	28	13	87	12	204	19.2%
2. どちらかと言えば役立たなかった		6	8	11	7	32	1	65	6.1%
1. 役立たなかった		1	5	2	8	19	0	35	3.3%
合計		180	243	143	56	395	45	1,062	100.0%

肯定的な回答は71%であり、今回の調査の中では2番目に高い成績を示している。過去2年間の結果（平成26年・27年度とも70%）と比べるとほぼ横ばいとなっていることがわかる。

スタートアップセミナーアンケートの関連設問「この授業によってレポート作成の方法について理解が深まりましたか？」に対する回答状況は、平成25年度には肯定的回答が71%であり、今回の結果とほぼ同じ水準である。

第 1 章 基盤教育学生アンケート（進級時）（4 年次）

表 7 情報を収集し分析する能力

平成 28 年度

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	合計	構成比
5. 役立った		42	64	37	7	63	9	222	20.9%
4. どちらかと言えば役立った		91	121	69	20	161	22	484	45.6%
3. どちらとも言えない		37	39	26	16	132	12	262	24.7%
2. どちらかと言えば役立たなかった		11	14	10	5	24	2	66	6.2%
1. 役立たなかった		0	4	1	8	15	0	28	2.6%
合計		181	242	143	56	395	45	1,062	100.0%

肯定的回答は 66%と、今回の調査の中では比較的高率である。過去 2 年間も同様の数値であり安定した結果となっている。

設問の趣旨は若干ずれるが、同じ学生たちが 1 年次のスタートアップセミナーアンケートの質問「この授業によって調査や情報収集の方法について理解が深まりましたか」に対して行った回答を見ると、肯定的回答が 70%であり、今回の結果とほぼ符合する。

次に外国語の能力に関する回答結果を表 8 に示す。

表 8 外国語の能力

平成 28 年度

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	合計	構成比
5. 役立った		30	32	17	5	39	7	130	12.2%
4. どちらかと言えば役立った		70	84	53	20	103	10	340	32.0%
3. どちらとも言えない		51	68	46	18	153	15	351	33.0%
2. どちらかと言えば役立たなかった		25	37	16	8	72	8	166	15.6%
1. 役立たなかった		5	22	11	5	28	5	76	7.1%
合計		181	243	143	56	395	45	1,063	100.0%

肯定的回答は 44%であり、平成 26 年度で 42%、平成 27 年度で 46%と 5 割に届かない状況が続いている。外国語教育については、後掲の自由記述欄にも物足りなさを訴える声が散見される。

表 9 に示したのは「山形に学ぶ」領域と関連する設問への回答結果である。

表 9 「山形に学ぶ」は山形をはじめとする地域社会の問題についての知識・関心を深める上で役立ちましたか？

平成 28 年度

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	合計	構成比
5. 役立った		29	50	22	6	31	9	147	25.4%
4. どちらかと言えば役立った		40	94	35	3	42	17	231	39.9%
3. どちらとも言えない		12	36	27	3	67	5	150	25.9%
2. どちらかと言えば役立たなかった		5	4	5	3	15	1	33	5.7%
1. 役立たなかった		1	3	2	2	9	1	18	3.1%
合計		87	187	91	17	164	33	579	100.0%

第1章 基盤教育学生アンケート（進級時）（4年次）

肯定的な回答の比率は65%であり、過去2年間の結果と比べ上昇に転じた（平成26・27年度61%）。

基盤教育アンケート（進級時）の中の関連質問「山形に学ぶ」の授業を履修して山形県への理解や関心が深まりましたか？」に対する回答結果を見ると、平成25年度の肯定的回答は75%であった。

最後は教員や同級生との人間関係に関わる設問への回答状況である。

表10 基盤教育の場で得られた教員や同級生との人間関係は、その後の大学生活において有意義なものとなりましたか？
平成28年度

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	合計	構成比
5. 有意義だった		49	76	52	7	77	8	269	26.7%
4. どちらかと言えば有意義だった		77	104	49	15	137	20	402	40.0%
3. どちらとも言えない		30	38	18	11	106	11	214	21.3%
2. あまり有意義ではなかった		15	12	12	8	18	3	68	6.8%
1. 有意義ではなかった		4	6	9	7	24	3	53	5.3%
合計		175	236	140	48	362	45	1,006	100.0%

肯定的回答の比率は67%であり、おおむね例年並みである（平成26・27年度共に67%）。

以上の考察全体を振り返って整理するならば、大まかな傾向としては（前年度と同様に）次のような状況が浮かび上がってくるだろう。

- ・ 肯定的な回答が相対的に低い基幹科目や外国語科目の課題を明確にし、その分析・対策を行う必要がある。
- ・ 探求課題の発見、口頭発表の技能など、学生の主体性、能動性や特にコミュニケーション能力を高める工夫に関わる項目についても、引き続き改善の模索が必要である。
- ・ レポート作成、情報収集・分析については、上記項目よりは好成績を示しているものの、さらに改善の余地がある。
- ・ 教養科目は全体の中ではもっとも高評価であるが、肯定的回答が8割を超える水準には至っておらず、自由記述欄に見られる意見などを手がかりに改善をはかる必要がある。

3 自由記述欄

今回のアンケートの問5と問6は自由記述形式となっており、それぞれ、基盤教育を受けてよかった点、ならびに改善に向けての提案をたずねている。いずれの設問についても多くの回答を頂いている。その内容にはこれまでのところでも若干触れたが、以下、今後に向けての検討資料として記載内容の全体を掲載する。

問5 基盤教育を受けてよかったと思う点について、自由に記述してください。

<人文学部>

- ・入学時に選択し学部以外の分野についても学習できたことが良かったと思う。
- ・様々な学部の人と交流できた。
- ・興味を持ったことを時湯に学べて楽しかった。
- ・今まで触れたことのない学問に触れることができた。
- ・自分の専門外の知識を得られたこと。
- ・自分の専門領域外にも興味を持つことができる良い機会だった。
- ・広く浅い教養。
- ・他学部の知人を作ることができた。
- ・専門外の知識も身についた点。
- ・柔軟な発想を求める授業も多く刺激を受けた。FDに参加することができた。
- ・キャリアデザインという講義を受けてコミュニケーション能力が向上したと思う。
- ・自分の興味があることが学べた。
- ・教養という点以外にも、自分興味関心を新たに発掘する良いきっかけとなった。
- ・幅広い興味関心が得られた。
- ・専門科目を学ぶ前に、自分が勉強する分野を広い視野で見ることができるという点で良いと思う。
- ・他学部との交流やキャリアデザイン等による学生同士の交流を行うことで友人ができた。
- ・大学の学習の仕方、レポートの書き方を学ぶことができた
- ・レポートの書き方などを学ぶことができた。
- ・進んだ分野にかかわらず、自分が興味を持った事について学ぶことができたこと。
- ・専門的なものを学ぶ前の知識の確認に役立った。新たに学べたこともあり、専門的なことを学ぶ上で非常に有意義だった。
- ・専門への知識の橋渡しができた。
- ・レポートの作り方や資料制作が学べた。
- ・学べる学問の幅広さとしては、大変勉強になった。
- ・専門に係わらない科目を学べた。
- ・幅広い知識
- ・基礎的な知識を身につけることができた。
- ・高校で物理、化学を履修していた自分にとって生物、地学に関する授業を受けることができたのは、新鮮みがあって良かった。
- ・専門領域を支える前提となるような知識、発想を身につける事ができた点。
- ・様々な分野の講義がある点。
- ・他学部の学生とのつながりを得るきっかけとなり、私の学生生活を有意義なものとしてくれました。
- ・学部の専門科目の延長のものも混じっており、準備のないままに履修してしまったものが多かった。
- ・いろいろな分野の科目を学べた。
- ・他学部の教授の講義も受講できる点。
- ・広い分野について知見を拓けられたのは意義深いと思う。
- ・基盤教育で幅広い分野を学ぶことで、自分の興味関心がどこにあるのか明らかになった点。
- ・幅広い知識が身についた。
- ・自分の専攻以外の分野について学べる機会は他にないので、今後自分で勉強してみようと思う時のための素地をつくれて良かったと思う。
- ・人文にいながら様々な知識を得られたこと。
- ・外国語の講義が「ただやって終わり」的な、小教区的なものになっている。
- ・大学1年生で学部を超えた授業を受けられたので人脈が広がった。
- ・外国語の知識がついた。
- ・朝一の講義は生活リズムの調節に役立った。
- ・敬遠しがちな、共同発表やレポート発表などが最初から入っているのが良い。
- ・様々な分野の授業を履修できた点。学部・学年を問わず、様々な人と一緒に授業に参加できた点。
- ・関心を持つ分野が増えた。
- ・あまり関心のない分野の授業を受けてみたらためになり、おもしろかった。
- ・学部縛られず、多くの知識を吸収することができた。学科外の交流機会が増えた。学部での授業の足掛かりとなって、大学生活の始まりを助けてくれた。おもしろい講義が多かった。
- ・専門外のこと(理系分野)も学べたのは楽しかった。
- ・様々な分野の授業を受けることができた。
- ・幅広い分野の学問に触れるきっかけになった。
- ・自分の専門分野だけではなく、幅広い分野を学ぶことができたところ。
- ・普段ほとんど触れることのない理系の授業を受けたことで、幅広い知識が身についた。
- ・視野が広がった。今の専門を選ぶきっかけになった授業があった。
- ・理系の内容を勉強することができたことがよかった。
- ・色々な授業を受けられて良かった。
- ・自分で考えると言う力は身についたかと思う。
- ・他学部の学生とのつきあいができる。特に基盤教育員の先生の授業にオリジナリティがあり楽しく学べる。

- ・自分の専門以外の領域にも比較的挑戦しやすかった。
 - ・様々な専門領域の初歩的な勉強ができ、教養が身についた。
 - ・自分の専門を決められたこと。
 - ・広い分野に関する知識を得られた。
 - ・色んな分野を学べた。
 - ・学問の分野は多様化がある。
 - ・色んな学科の人と話す機会があって勉強になった。
 - ・他学部や他分野の知識をえることができたことはよかった。
 - ・幅広い知識を得られる。
 - ・専門が違う人ともかかわれた。
 - ・興味関心のある学問について広く浅く学べたこと。
 - ・幅広い知識が身についた点。
 - ・自分の興味のある分野についてより詳しい知識を得ることができた。
 - ・想定外のおもしろい分野を得ることができた。
 - ・全く知らない自分とは関係のない分野も広くまべたこと。しかし、専門の科目でも学部の中に全く関係のないものがあって受けることができるので、基盤教育だからよいかは特に思わなかった。
 - ・様々な分野を最初に勉強できて良かった。
 - ・いろいろを学べた。
 - ・鳴々、基盤を教育されたなあ、という感じ
- <地域教育文化学部>**
- ・違う学部の友達ができた。
 - ・フィールドワークで多くの出会いがあったこと。
 - ・幅広い知識を得られた。
 - ・英語の力が伸びた。
 - ・入学以前は視野が狭く、教員志望だったため人文・科学系の幅広い分野につながりを持てたことは良かった。
 - ・他学部生と交流ができたこと。
 - ・視野が広がったこと。
 - ・スポーツのことだけでなく様々な分野の授業を受けれて楽しかった。
 - ・山形に来て、最初のうちは全然山形のことをよく知らなかったが、授業を受けて、山形に関する知識を得られたこと。
 - ・自分が好きになった。
 - ・自分の専門分野以外の教養が身についた。
 - ・教養の幅が広がった。
 - ・いろいろな学部の人と交流することができたこと。
 - ・他学部の人もいて交流が深まった。
 - ・たくさんの知識を得られた。
 - ・自分の視野が広がった。
 - ・幅広い知識が身についた。
 - ・基本的なレポート課題をこなすことで、専門の際にもきちんと取り組めた。
 - ・いろいろな人とかかわれたこと。
 - ・わかりやすい講義が多く、未知の分野に興味を持つキッカケとなった。
 - ・友達ができた。
 - ・楽しかった。
 - ・他のコースの人と仲良くなれたこと。
 - ・他の学部の友人ができた。
 - ・専門外の興味のある科目を履修できて良かった。
 - ・様々な人と話をしたり、ともに作業でき多くの考え方を知ることができた。
 - ・他学部の雰囲気わかる。
 - ・他のコースの人と仲良くなれた。
 - ・知見が広がった。
 - ・学科以外の大学教授の授業が受けることができた点
 - ・幅広い分野の学習ができた。
 - ・幅広い分野の知識を身につけることができた。
 - ・自分の専門とは違った知識を学ぶことができた。
 - ・色んな分野の勉強ができた。
 - ・幅広い知識が身についた。
 - ・視野が広がった。
 - ・専門以外の教養が身についた。
 - ・自分の好きなことを学べる。
 - ・自由な進路選択をできたこと
 - ・幅広い教養を身につけられた。
 - ・自身の専門とは異なる分野の知識を得ることができる。
 - ・幅広く知れた。
 - ・専門分野以外の気になる知識を学べたこと。
 - ・様々な知識を得られた。
 - ・専門以外の興味のある分野について知識を得られたこと。
 - ・あんなに簡単に単位の取れる授業はない。
 - ・教養を高めることができた。
 - ・1年生でやるのではなく、3・4年次にやると良いと思う
 - ・幅広い知識を身につける事ができた。
 - ・他学部の人たちとたくさん交流できたこと。
 - ・様々な知識を得ることができた点。
 - ・幅広く学ぶことができた。
 - ・視野や物事の見方が広がった。
 - ・様々な選択肢が広がった。
 - ・興味の幅が広がった。
 - ・学部・学科を超えた学生との出会い・交流
 - ・他学部、他コースの人とのつながりができた。

- ・自分の興味のある分野について学部・学科問わず聴講できたところ。
- ・幅広い教養が身についた。
- ・地域に根付いた学習
- ・幅広い知識を身につける事ができた。
- ・幅広い知識が得られた。
- ・大学の授業の導入として役立った。
- ・フィールドワークプロジェクトが良かった。
- ・他学部の人と一緒に学べた点
- ・専門分野以外の勉強ができたこと。
- ・他分野の方に関心が持てて良かった。
- ・様々な分野の知識を得ることができた。
- ・知識の幅が広がった。
- ・フィールドワークが1番ためになる授業だった。
- ・幅広い教養。
- ・様々な分野の学問について学べた。
- ・様々な知識が身についた

<理学部>

- ・自分の興味のある分野について、体系的学べる点が良かったと思う。
- ・レポートの書き方を学ぶことが出来た。
- ・多様な学問分野に触れ、物事の捉え方や考え方が変わった。
- ・幅広い知識を得ることが出来たと思う。
- ・理系科目に限らず、異なった分野や地域に対する関心を深める重要性を認識できたこと。
- ・今まで興味のなかったことに興味を持つことができた。
- ・簡単に単位が取れてしまう授業は大学生としては嬉しいものではあるが、個人としての成長にはあまりつながらないと感じる。
- ・幅広い知識を楽しく学ぶことができた。
- ・自分の学部学科以外の興味のある分野を選んで学ぶことができて良かった。
- ・所属学科以外の他分野を学ぶ機会が少ないため勉強になった。
- ・他学部の学生と関わりを持てた。
- ・専門科目外の授業を受けれた点。
- ・理学部だけでは学べなかったこと、この学科だけではまなべなかったことを自分の知識として蓄えることができたこと。他学科の先生がして下さる授業を聞けるのはありがたかった。
- ・違う専門性を少し知ることができた。
- ・様々な学問を学ぶことができ、教養が深まった。その結果、自分の専門がどこで活用されるのか知ることができたり、活用方法を考えることができるようになった。

- ・教養が身についた。
- ・文系の授業を受けられるところ。自由に授業をえらべるところ。
- ・専門以外の他の分野の勉強ができる。
- ・外国語とその国の文化をしれて、海外に思いの外興味を持つ自分に気づけた点
- ・基盤を受けていなければ出会えなかった人と縁を結べた点。”
- ・基礎的知識を得ることに加え、専門以外の分野にも触れることでより多く教養を得られた。
- ・様々な学問分野の知識を幅広く得られた。
- ・文系の授業を受けられたこと、もがみのフィールドワークで山形についてしれたこと、就職についてキャリアの授業で理解を深められたのも良かった。
- ・数学の知識が後に役立ったこと。
- ・専門以外の他の分野の勉強ができる。分野に触れることができた。
- ・他学部、他学科の人たちとの交友が広がったのは良かった。
- ・今まで知らなかった知識を浅く広く学べたのは良かった。”
- ・他学部、他学科と話せるのはこのくらいしかなかったので、人間関係的に3、4年で役立った。
- ・幅広い知識をつけることができた。
- ・幅広い分野に触れることができたこと。
- ・他学部・他学科の人と仲良くなれる。
- ・理系でも文系の分野も学べ、興味を持って取り組める。
- ・自分の専門以外の事も学べて視野が広がった。
- ・大学特有の時間感覚が身につく点。
- ・専門科目以外の幅広い知見に触れ、見聞を広げることができたこと。
- ・他学部の学生と交流でき、様々な視点を得ることができた。
- ・幅広い知識を得られたと思う。
- ・他学部の人と会える点。
- ・幅広い知識を得ることができた。
- ・幅広い知識を身につけられた。
- ・中高では学問として学ばないものを学べて面白かった。
- ・自分の専門外の学問に触れることができ、見聞を広めることができた。
- ・他学科の学生、先生と交流を持つことができ、地学科の集団の中だけに引きこもらず4年間過ごせた。
- ・自分の専門分野以外を学べるのは良かった。
- ・専門とは違う、自分の興味のある分野の勉強をすることができ、視野が広がったと思う。
- ・大学でないとまなべないことが多くあった。

- ・興味がある程度の事を学ぶ機会を得られて幅を広げられたと思う
- ・生物計の授業を受講していたので、今の基礎的な能力、知識がある状態で卒業研究に臨めている。
- ・他学部の人と交流する機会になったこと。
- ・自分の専門と直接関わりのない分野についての知識を得ることができ、視野が広がった点。
- ・他学部の人と交流ができた。テストの点数だけを気にする意識から脱却できた。

<医学部>

- ・幅広い知識の獲得に役立った。
- ・教養を身につけられたと思う。
- ・他学部生徒の交流することで、視野が広がった。
- ・見識が広がった。
- ・他学部との交流する機会があり、違う意見が聞けること。
- ・仲間作り。
- ・他学部との交流があり、視野が広がった。
- ・自分で好きな授業を選べるのがいい。
- ・他学部との交流ができた。
- ・様々な人と話をする上で、自分の引き出しが増えた。
- ・専門分野以外の事は、1年次しか学ぶ機会がなかったので様々な分野について学ぶことができて良かった。

<工学部>

- ・自分の専門以外の知識を得られること。
- ・哲学を知ることができた。
- ・共生を考えるとという講義がとてもためになったので、履修して良かった。
- ・専門以外を色々学べたこと。
- ・様々な知識に触れられた。
- ・今まで知らない学問を知れたこと。
- ・雑学が身につけて、話のネタが増えた。
- ・幅広い教養を身につけることができた。
- ・専門分野以外の知識も身につけられるため。
- ・専門科目に入る前の準備として
- ・数学的な能力を高めることができた。
- ・専門以外の興味のある分野の講義を受けることができた点。
- ・人との関わり、話し合いの経験
- ・専門科目以外にも様々な分野の知識に触れることができて良かった。
- ・講義に楽しいものがあった。
- ・第二外国語など、今まで見たことも聞いたこともない文化に触れられたこと。
- ・幅広い分野について学べること。

- ・様々な授業を受けることができたため、楽しかった。
- ・友達ができた。
- ・フィールドワークの講義、体験学習はとても良かった。さらにやって欲しい。
- ・多岐にわたる講義を受けたことで、知識の幅を広げることができた。
- ・知識が増えた。
- ・工学部生でも言語学や社会学の知識を得られる機会が与えられる点。
- ・ずいぶん前なので、忘れてしまった。
- ・自分の専門外のことで、興味のあることなどが学べた。
- ・今の時期に聞かれても覚えていない。
- ・楽しかった。
- ・文系、理系関係なく様々な内容の講義を受けられた点。
- ・それぞれの分野に関して専門とされている教員から幅広く学ぶことができた点。
- ・自分の専門ではない強化を学習し、幅広い知識を身につけることができた。また、他学部の人と意見交換できたのもよかった。
- ・自分の学科以外の事が知れて良かった。
- ・幅広く学べて良かった。
- ・幅広い知識を身につけるいい機会だった。
- ・大学らしい授業だった。
- ・様々な分野の考え方に触れられたこと。
- ・色々な人とふれあうことができた。
- ・一般的な教養が身についたと思う。
- ・今後学習しないであろう分野の学習ができたこと。
- ・幅広い分野が有り、自分は何をしたいのか見つけることもできる点。
- ・山形について学べたこと。
- ・幅広い分野について学べた。
- ・「単位のために受講していたが、最終的にその内容に興味を持てた」というケースが多々あった点。
- ・幅広い知識を得ることができた。
- ・いろいろな勉強ができて楽しかった。
- ・専門的な知識以外で、豆知識程度で学ぶことができて良かった。
- ・様々な学問の同級生と話せたことが、自分の学科以外の興味があることを学べた。
- ・多様な教育を受けることができた。
- ・一般教養を身につけることができた。何より受けていて楽しかった。
- ・高等学校までの受験だけのためのもとは違い、実践的雄なものが多かったこと。
- ・大学が嫌いになれた。
- ・様々な分野の講義を受けられる。

- ・単位が簡単にとれる。
- ・4年次では基盤教育を受けていない。
- ・ストレスがなくなる。
- ・学業とは関係のない様々な知識を身につけられた。
- ・専門知識だけではなく教養を身につけられたこと。
- ・自身の専門に限らず、広汎な知識を身につけられた。国立大学の中でも他学科の講義を受けられない大学が少なくない中、これは山形大学のいいところであると感ずる。
- ・様々な分野について、資料を用いながら学習できて見聞の幅が広がった。
- ・他学部生と交流を持てた。
- ・基本的な社会的知識を身につけることができた。
- ・色んな人とふれあうことができた。知識を吸収できた。
- ・楽しかった。
- ・色んな分野を学ぶことができて良かった。
- ・専攻ではないがm興味のある話を聞くことができて楽しかった。
- ・幅広い教養が身についた。
- ・幅広い教養を身につけることができた。
- ・幅広い分野の知識が身についた。
- ・工学部だったけど、興味のある文学系の授業を履修できた。
- ・他の学部でやるようなことも学ぶことができた点。
- ・教養が専門以外の分野でついたこと。
- ・知識を多く学ぶことができ、それを多くの場面に生かせる点。
- ・コミュニケーションをとる授業が多く、座学では学べないことを学べた。
- ・キャンパスを一つに統一してほしい。工学部だけじゃなくて、他の学部とのコミュニティーがあった方がいい。
- ・知らない分野を学ぶことができた点
- ・高校の復習くらいにはなった。
- ・米沢を知ることができた。
- ・学習する週刊をみにつけることができて良かったと思う。
- ・自分の興味のあることを勉強できて良かった。
- ・幅広い知識が得られた。
- ・幅広い教養を身につけられた。
- ・問題を解決するために情報収集をし、レポートに文書としてまとめることで、能力向上につながったこと。
- ・工学部なので理系以外の学問について勉強できたのが良かった。

<農学部>

- ・1番同級生と関わった場所だった。
- ・自分の専門分野以外の知識が増えて楽しかった。
- ・幅広い学問分野や、他学部の人たちとふれあえた点。
- ・他の学部の人と関われる。
- ・様々な学年、学部の学生と交流する機会があり、今でも交友関係が続いています。
- ・専門知識以外で幅広く学べた、視野が広がった。
- ・山形について学ぶこともできたし、基礎的な学力を身につけることもできた。
- ・いろいろな分野に触れられて面白かった。
- ・農が以外の事をまなべて、新たな知識が増えた。
- ・他の学部の先生と関わることができたのが良かった

問6 基盤教育の改善に向けて、こうした方がよいという提案がありましたら、自由に記述してください。

<人文学部>

- ・基盤教育も大切だが、自分のコースの知識をより早い段階で身につけることの方が重要だと思う。
- ・今よりも出席を重視した方がよい。
- ・専門教育に入ってから、役に立つものがあまりない気がする。学部ごとに分野を分けて選択できれば専門教育に入ってから役を立てられるかと思う。
- ・授業ごとのレベルの違いが大きいいため、その点を直して欲しい。
- ・学生が本当の意味で主体的に活動できるような内容を盛り込んで欲しい。
- ・特定の講義に人が集中していると感じたので、もっとバランスが良くなるようにテーマ等を厳選して欲しいと思う。
- ・自分の学科の専門科目以外にも自由に選択でき、楽しかった。
- ・講義によっては、理解が難しいと思われるものがあり、よりかみ砕けて説明や質問への解答が必要だと思う。
- ・2年生以上も受けやすい雰囲気を作って欲しい。
- ・1年しかなかったので、2年ぐらい欲しい。
- ・もっと幅を広げて欲しい
- ・もう少し授業の種類を増やして欲しい（特に経済・法律系）理系の科目はあまり受けさせても意味がない気がする。
- ・今後につながる将来性がわからない、その講義が何のためになるかをわからないまま受ける人が多く見受けられる。
- ・登録者が多数となり抽選が行われるが、なるべく後期に追加登録の救済措置は検討しても良いと思う。

第1章 基盤教育学生アンケート（進級時）（4年次）

- ・専門分野以外を学べる機会が持てたのは良かったが、それを深化させられなかったという思いがある。
- ・学生が多すぎて遅刻すると席がないみたいな状況が何度かあったので、1コマの受講人数を限定したり、複数コマ開講したりと言った工夫をすべきだと思う。
- ・就職関係の講義を増やして欲しい。
- ・探求課題の発見→情報収集、分析→文章作成ができること。卒業論文で困ることが減るように思う。自分の興味のあるものについて調べ、分析し、発表する場が1年生全員に1度あると2年生以降に役立つと思う。
- ・講義同士のバッティングが多く、それに対してオリエンテーション期間が短かった。複数の講義から一つを選ぶときは、誰かと協力し手分けをしてオリエンテーションを受けねばならず、大変だった。期間を延ばすか、シラバスを細分化して欲しい。
- ・授業に寄って難易度に差がありすぎる印象を受けた。
- ・1年次は先輩からいかに楽に単位を取れるかが重要という視点のおすすめの授業（ゆる単、楽単）を教えられたが、今思えばもっと自分のためになる授業をとってあげれば良かったと思う。
- ・基盤教育に直接関わることではないが、専門の勉強をもっと早いうちからやりたかった。
- ・グループワークや発表の授業を増やす、就活にも役立つ。
- ・興味本位でとった講義もあるので、何か身についたかと言われたらよくわからないものもある。
- ・レポートや文章などの勉強がもっと増えた方がよい。
- ・テストの結果で成績や単位が決まる他分野の授業はとても受けづらく感じたので、軽くしてもいいと思う。
- ・友達作りの場をもっと下さい。
- ・人間関係作りを広がるような工夫。
- ・もっと幅を広げて欲しい自由科目に認定してください。
- ・1年生以降でも履修しやすい環境作りを期待します。
- ・ポルトガル語を履修できたら嬉しい。
- ・厚いときは涼しく、寒いときは温かく。

<地域教育文化学部>

- ・もっと専門的な内容に触れてほしかった。
- ・教員側はもう少し学生のための授業を意識してほしい。自分がしたい話を延々と続ける教員を数人見つけたので。
- ・今のスタイルの良さもわかりますが、専門性を高め

- てから基盤を履修したかった。
- ・外国語学習のレベルの低さ。
- ・単位をもらえる基準を厳しくした方がいい。
- ・人が多すぎる講義では、雑音が気になった。
- ・いらないと思う。
- ・教授と学生のコミュニケーションがとれている講義とそうでない講義の差があったので改善した方がよい。
- ・学生の理解を確認する手立てを（試験だけでなく）増やしてほしい。
- ・出欠の取り方を統一するべき
- ・数が多い
- ・いらないと思う。
- ・早く研究に進んだ方がよい。
- ・専門を勉強した上で学んだらより深まったと思う。
- ・基盤教育の数を減らして、各学科ごとに専門的な授業をもうけるのが良いと考える・
- ・児童教育以外のコースの先生も、もっと教員を育てようとする姿勢を持つべき。
- ・外国語の充実。
- ・実態として、興味のある授業ではなく、単位の取りやすい授業ばかり人気がある。
- ・空気調節をよくしてほしい。
- ・出席の取り方。
- ・より就職活動に役立つ内容にしていきたい。
- ・第2外国語の履修種類を増やしてほしい。
- ・基盤より専門を1年の時から多く学びたかった。
- ・身に雄つけてほしいと思っていることはほぼ身につかないので、そもそも基盤教育はいらないと思う。

<理学部>

- ・興味があっても必修とかぶって、受講できないことがあるので、授業のコマ週2にしたり、WEBクラスで配信されるとより教育の拡充につながると思う。
- ・外国語についての授業を増やしてほしい。
- ・より他学部の講義も学ぶことができればおもしろいと思う。
- ・あくまでも「基盤」であることを忘れないで欲しい。ごくまれに、専門の授業が使われていると思うことがある。
- ・発表力、文章作成力はシュにスタートアップセミナーや専門科目等で培われたので、基盤もその点に力を入れた方がよい。
- ・もっと物理系の基礎的な授業を増やして欲しい。
- ・ロシア語を続けたかったが、専門とかぶってまったくとれなかった。定期的に5コマの時間などに他の言語に触れられる時間を作って欲しい。
- ・出欠確認方法の統一。

第1章 基盤教育学生アンケート（進級時）（4年次）

- ・抽選をなくした方がよいと思う。また、シラバスに定員を書いて集まってくる一次隊を減らす。
- ・研究室配属や資格取得に無関係な場合が多いからか、授業に対する考え方が甘い学生が多いように感じた。同時に教員の評価も甘いと感じることが多かった。この悪循環を改善した方がよいと感じた。
- ・アンケートでとった結果を時間割等の冊子等に載せてもらえると講義を選ぶときの参考になると思う。
- ・基盤教育の単位履修のページについて、「応用と学際」「および」「山形に学ぶ」の“および”の意味がわかりづらい。
- ・基盤を減らし、専門を増やすべき（特に1年）
- ・出席点をなくして、テスト・レポートのみで評価した方がよいと思う。主体的に勉強する時間を増やすため。
- ・もう少し少なくても良いと思う。
- ・必要なコマ、授業数が多すぎると思う。もっと少なくて良いと思う。
- ・出席、受講態度を単位にもっと反映させるべき。寝ていても、休んでも単位が取れるのは、おかしい。
- ・浅く広くを意識した授業の方が、知識が身につくやすすいと思う。
- ・授業が行われる目的意識の改善。
- ・1年での専門科目に対する基盤数が多い。
- ・理工系の数学が物理の講義を増やして欲しい。例えば、熱力学、常微分方程式など。
- ・抽選で受けたかった講義が受けられなかったので、なるべく希望に添えるようにしてくれると嬉しい。
- ・講義を受けやすくなるのは嬉しいが、人数が多すぎると興味があっても集中しづらいと思った。（周囲の私語等）
- ・生物系の講義を増やして欲しい。
- ・基盤教育を通じて学生に身につけてもらいたい技能の理想があるのなら、それを得られる科目は必修にしていいと主もう。自由に選択させると興味に偏りが出る。
- ・自分の場合、選択した講義bに偏りがあったので、もっといろいろなジャンルにふれあえるような講義があると良い。
- ・基盤教育の内容は、1年生のうちに卒業単位を満たすために受けるもの。というのは良くない気がする。4年間学び続けたいと思う。

<医学部>

- ・自分は理系であるため公務員試験などを受けない限り、文系の勉強の機会は将来ほとんどないように思える。大学生活の中で様々な領域について学べる

機会は基盤教育に限られるため初学者にとってわかりやすく、そして学びを深められるような講義があると良いと思った。

- ・基盤の時間を減らす。
- ・講義に出ず、テストの時だけ来る学生が多く、テスト当日用紙が足りなくなると言うことがあった。出席確認を改善した方がよいと思った。
- ・医学部の学生だけ単位をくれなかった科目があるので、それは教育者としてどうかと思った。どうして落とされたのか不満だった。
- ・レポートや試験の評価基準が不明な科目がいくつかあったため、開示してほしい。

<工学部>

- ・フットサルの講義を必修と被らせないで欲しい。
- ・出席をごまかす人が多い。（人数が多いのであればにくい？）友達に学生書を渡して、、、や紙を書いてもらうなど
- ・工学部キャンパス移動条件に文化と社会 8 単位を入れるのをやめて、好きなようにとらせた方がよいと思う。もしくは6単位。
- ・専門でないから、難しくできないのはわかるが、試験問題を適当にするのはやめて欲しい。（単語の穴埋めなどやる意味がわからない）
- ・英語の授業がテキストすぎる。
- ・授業時間割のかみ合わせが悪く、受けられなかった授業があったので改善した方がよい。
- ・やるメリットがないから、やめた方がよいと思う。
- ・基盤は役に立たないので、1年次から専門の授業をたくさん行うのが良いと思う。
- ・農、工の2年次以上で受けられる基盤教育の種類を増やすべき。
- ・座学を減らして外に出る授業の方がよいと思う。記憶に残りやすいし、自分で考える機会になる。
- ・学生にもっと前で発表するチャンス。
- ・もっと教養の授業を増やすべき。
- ・とりたいものが、必修と被るのが嫌だった。
- ・あまり幅広くやり過ぎる必要もない。必要履修数を減らしても良いと思う。
- ・専門科目と被ってしまい、履修できないことが多々あった。基盤科目は週2回ほどやって欲しい。
- ・工学部を取っ手が大切な出会いの場なので、もっと話し合う授業をしてください。
- ・興味の幅を拡げられるような授業をして欲しい。
- ・より現代社会に結ぶつくような学習を取り入れるべき。
- ・基盤教育の重要度を上げる
- ・英語の講義が易しすぎる

- ・意味のない必修が多い。
- ・授業によってクォリティの差がありすぎる。教員はもっと多角的な視点から自分の授業を見直し、質を高める努力をすべき。
- ・自分は基盤教育の教養科目が2単位不足していることに気付かず、半年留年してしまった。単位不足を見落としてしまったのは、自己責任なのですが、excelなどを使えば、未然に単位が不足している事を見つけられると思う。学生支援の皆様にとっては仕事が増えて大変だとは思いますが、留年を減らすために、不足単位の通知を行って欲しい
- ・口頭発表の練習や、レポートの作成、情報収集の練習の一環としてやるのであれば、それぞれのやり方をしっかり学ばせるべきだと思う。
- ・基盤教育の授業はテストの難易度に差が大きく見られ、どの授業を受けるかで成績が変わるので、見直し他方がいいと思う
- ・1年生の時にほとんどの基盤教育を学び、2年次からは専門教育とするのではなく、1～2年、もしくは1～3年まで、バランス良く基盤と専門を履修できるようにするべきである。
- ・1年目から専門科目を勉強したかった。
- ・社会に出て役立つ、一般教養的なものが欲しかった。
- ・ビジネス新書を読む。
- ・学生にストレスをさせないで下さい。
- ・2年次以降の専門科目に関係がある授業を増やして欲しい。
- ・2年次から、キャンパスが変わっても基盤の授業を入れて欲しい。
- ・人数が多すぎて、板書やスライドを見るのに苦労することがあるので、2部に分けるなどして欲しい。
- ・廃止
- ・米沢以降条件以上の単位を取得しても意味がない。自由単位になってもいい。
- ・officeの使用法（最低限のものではなく、論文作成などで用いるであろう機能）を身につける講義が必要。選択制か必修せいかは、どちらが良いかはわからない。
- ・座席が多すぎる気がする。学生が主体的に考えそれぞれの答えを共有したり、議論したりする講義を増やすべきだと思う。価値観にとらわれない考え方が必要だと強く感じる。（教員も含めて）
- ・研究室等で人に教えるのが下手な学生が多い。理系の学生でも受けやすいような教育（？）関係の講義があれば良いかと思う。
- ・2年への進級条件が細かくめんどくさかった。また、たいして興味のない授業を履修しなくてはいけなく自由度がなかった。

- ・基盤教育分野の割合が多く、専門分野が少ないと思った。
- ・フィールドワークをするような授業を増やす。
- ・先生の違いによる授業の質の違いすぎる。
- ・なるべく減らして専門科目を多く学びたい。
- ・ディスカッションやプレゼンテーションを授業でもっとできるようにするべき。

<農学部>

- ・スタートアップセミナーの存在意義がわからない。あの講義から得られた事がなかった。なくしても良いのではないか
- ・FWをもっと増やしてほしい。
- ・1年次が小白川で、Ⅱ年次が鶴岡キャンパスというのが非常に不便。
- ・2年次からコース分けする方法をやめた方がいい。入試時からコースを確定した上で、基盤教育を受け、その後他コースに行きたくなくなったら少人数だけ枠を用意で十分だと思う。

基盤教育学生アンケート（平成28年度）

別紙1

山形大学基盤教育評価改善会議

山形大学では教養教育の改革により平成22年度より新たに基盤教育が発足しました。平成21年度までとの大きな違いは、基幹科目と導入科目（スタートアップセミナー）が新たに開講されたことと、教養科目に「山形に学ぶ」という新領域が設置されたことです。このアンケートでは、この3つの領域・科目群を中心に、基盤教育についての学生諸君の考えや感想を調査し、今後の充実改善に生かしたいと考えています。正確な実態の把握が、よりよい基盤教育につながるようになりますので、ぜひともご協力をお願いします。結果の一部は基盤教育院のホームページ等で公開する予定です。

記入上の注意

- 1 記入は、HまたはHBの鉛筆を使用してください。
- 2 訂正は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
- 3 所定欄以外にはマークしたり、記入したりしないでください。
- 4 汚したり、折り曲げたりしないでください。

アンケートの問1～問5は裏面にあります。まず裏面のマークシート方式によるアンケートに記入した後に、次の問6の自由記述欄に記入してください。

問6 基盤教育全体についての要望や意見がありましたら、何でも結構ですからお書きください。

=====

【基盤教育ベストティーチャー投票欄】

当会議では、学部1年生^{※1}を対象にベストティーチャー（学生推薦）の投票を実施し、最多得票者を「基盤教育ベストティーチャー」として表彰しております。

※1：科目等履修生、研究生、特別聴講学生を除く

そこで、本年度（後期）の基盤教育担当教員の中から、あなたが思うベストティーチャーを1人選んで投票してください。（非常勤講師も含みます）

授業担当教員氏名 ^{※2}	投票理由

※2：フルネームを覚えていない（忘れた）場合などは、授業名・曜日校時などを分かる範囲で欄内に書き添えてください。ひらがなでも結構です。

*ご協力ありがとうございました。

基盤教育学生アンケート調査

記入上の注意

- 1.自由記述欄以外の回答は、いずれも右側の該当する欄を正確に塗りつぶして下さい。
- 2.記入は、H又はHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- 3.訂正は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
- 4.所定欄以外には塗りつぶしたり、記入したりしないでください。

記入例

正 → ●

誤 → ○

◎あなたについて教えてください。

■ 所属学部を教えてください

人文 地教 理 医 工 農
○ ○ ○ ○ ○ ○

■ 性別を教えてください

男 女
○ ○

問 1 導入科目(スタートアップセミナー)は大学での学習を始めるにあたって有意義な内容でしたか？	1.非常に有意義だった ○	2.有意義だった ○	3.どちらとも言えない ○	4.あまり有意義とは言えない ○	5.全然有意義ではなかった ○
問 2 基幹科目(人間を考える)の授業は「人間」についての理解や考え方を深めるのに有意義でしたか？	1.非常に有意義だった ○	2.有意義だった ○	3.どちらとも言えない ○	4.あまり有意義とは言えない ○	5.全然有意義ではなかった ○
問 3 基幹科目(共生を考える)の授業は「共生」についての理解や考え方を深めるのに有意義でしたか？	1.非常に有意義だった ○	2.有意義だった ○	3.どちらとも言えない ○	4.あまり有意義とは言えない ○	5.全然有意義ではなかった ○
問 4 基幹科目で選択する授業を決める際、最も重視した情報源は次のうちどれですか？1つだけ選んでください。	1.シラバス ○	2.最初の授業の印象 ○	3.先輩や友人の意見 ○	4.その他 ○	その他の記入欄
問 5 あなたは今年度教養科目の「山形に学ぶ」領域の科目を履修しましたか？	1.講義(地域学)のみ履修した ○	2.教養セミナーのみ履修した ○	3.講義(地域学)と教養セミナー両方履修した ○	4.全く履修しなかった ○	

※問5で、「山形に学ぶ」領域の科目を『4.全く履修しなかった』と答えた人は、これで質問は終わりです。最後に教養セミナー全般についての要望や意見がありましたら、表面の自由記述欄に記入してください。

それ以外の方は次の問5-1に移ってください。

問 5-1 「山形に学ぶ」の授業を履修した人は、履修の理由について当てはまるものを(いくつでも)選んでください。	1.山形のことをもっと、知りたいと思ったから ○	2.講義内容が面白そうだったから ○	3.単位が取りやすそうだったから ○	4.先輩や友人に勧められたから ○	
	5.授業担当教員が良さそうだったから ○	6.集中方式の授業だったから ○	7.フィールドワークや見学など教室以外の研修が含まれていたから ○	8.コミュニケーション能力を高めるために役立ちそうだったから ○	
	9.その他 ○	その他の記入欄			
問 5-2 「山形に学ぶ」の授業を履修して山形県への理解や関心が深まりましたか？	1.非常に深まった ○	2.深まった ○	3.どちらとも言えない ○	4.あまり深まらなかった ○	5.全く深まらなかった ○

※最後に表面の自由記入欄にも記入をお願いいたします。

第1章 基盤教育学生アンケート（進級時）（4年次）

基盤教育学生(4年次)アンケート調査

このアンケートは、基盤教育が発足した平成22年度以降に本学に入學した皆さんからご意見等を伺うものです。
基盤教育を改善していくための資料となるものですので、よろしくご協力をお願いします。

記入上の注意

- 1.自由記述欄以外の回答は、いずれも右側の該当する欄を正確に塗りつぶして下さい。
- 2.記入は、H又はHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- 3.訂正は、消しゴムできれいに消し、消し残さず残さないでください。
- 4.所定欄以外には塗りつぶしたり、記入したりしないでください。



◎あなたについて教えてください。

所属学部を教えてください
 人文
 地教
 理
 医
 工
 農
 性別を教えてください
 男
 女

1 基盤教育の授業は、以下のような知識や能力を身につけるのに役立ちましたか？					
問	5. 役立った	4. どちらかと言えば役立った	3. どちらとも言えない	2. どちらかと言えば役立たなかった	1. 役立たなかった
問 1-1 自分自身で探求課題を見つけた能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問 1-2 人間とは何か、また人と人、人と自然が共生するとはどういうことかについての知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問 1-3 多様な学問分野にわたる幅広い知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 基盤教育の授業は、より具体的に、以下に挙げる知識・技能を身につけるのに役立ちましたか？					
問	5. 役立った	4. どちらかと言えば役立った	3. どちらとも言えない	2. どちらかと言えば役立たなかった	1. 役立たなかった
問 2-1 口頭で発表したり議論をしたりする能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問 2-2 レポート等の文章作成の能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問 2-3 情報を収集し分析する能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問 2-4 外国語の能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問 3 「山形に学ぶ」領域の科目を履修した方におたずねします。 (それ以外の方は問4に進む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問 4 「山形に学ぶ」は山形をはじめとする地域社会の問題についての知識・関心を深める上で役立ちましたか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問 5 基盤教育を受けてよかったと思う点について、自由に記述してください。					
問 6 基盤教育の改善に向けて、こうした方がよいという提案がありましたら、自由に記述してください。					

第2章

学生との座談会



第2章 学生との座談会

日時：平成28年12月13日（火）16:30～18:00

場所：基盤教育1号館1階共同利用室

内容：初修外国語について

参加者：千代 勝実 教授【進行】
 （基盤教育評価改善会議 共通科目部門長）
 （基盤教育実施会議 議長）
 大久保 清朗准教授
 （コミュニケーション・スキル2 ディレクター）
 加藤 健司教授（ドイツ語担当教員）
 許 時嘉 准教授（中国語担当教員）
 高瀬 陽一郎 （人文学部1年生）
 石川 雅 （地域教育文化学部1年生）
 阿部 哲弥 （工学部1年生）
 石田 玲奈 （農学部1年生）

○千代

では基盤教育に関する座談会を始めたいと思います。

私は基盤教育実施会議議長の、よくご存じの方も多いと思うのですけれども千代と申します。

私の方から先に趣旨説明をしたあと皆さんに自己紹介していただき中に入っていきたいと思います。

基盤教育に関する座談会は基盤教育の授業やカリキュラムの内容を学生の皆さんと担当の教員が話し合っただけで改善していけばよいか建設的な議論を皆さんから出さなければ改善していくということになります。

今回は「初修外国語」ということで受講されている方、またはされていない方いらっしゃると思うのですが、昨今国際化という観点で様々な言語を学ぶことや様々な地域に出かけていく、若しくは来た方々と交流をするということがありますが、最近では大学教育もしくは日本の教育の中で英語教育というのは比較的的重点的に声高々に言われており、それ以外の言語についてはあまりそこまで無視するというのではなく、下に見ると言うことではないのですが、強く宣伝されてきてないというところがあります。ただ実際のところ国際化や多様性ということを考えて英語だけでは全く不十分で様々な言語を勉強し理解することの中には文化や社会の状況歴史なんかも含まれると思うのですが、そのようなことをきちっと理解することが重要になってきていると思います。

でも一つはですね英語を6年間ずっと勉強してきてさらに大学に来て勉強するというかたちで学んでこられていると思うのですが大抵の方は、初めてドイツ語なり中国語なり勉強されるのが大学一年生の段階ということですね。一年間で言語を学ぶと今後皆さんが社会に出て活躍していく上で特に必要なこと、つまり何か言葉を覚えるのに6年かけて勉強するというのではなく、必要なことを必要なだけきちっと勉強するということが理解していただくということがあって、今初修外国語がそのような形で非常に短い期間で使えるレベルくらいには勉強してい

ただいているのではないかなと思うのですが、そのような形でひとつでも英語以外の言語を学ぶと、次にまた違う言語を学ばなければいけないときに、どういうふうに勉強していけばよいか身につけてくるということもあって、少なくとも私としてはどれか一つは学んでいただきたいというのが正直なところですが。そのようなことを考えていくうえで、山形大学の初修外国語を含めた外国語教育について皆さんからご意見をいただくというのが今回の趣旨になっております。ちょっと長く話しましたがこういうかたちで進めていきたいと思っております。基本的には、こういうところが不満であるとか感情的に言っていたいでも情緒的に言っていたいでもかまいませんので気楽にしてくださいと思います。ではよろしくお願ひします。

ではさきに先生方からご挨拶していただいて学生さんという形で進めます。ではよろしくお願ひします。



○大久保

私はフランス語の授業を担当しております大久保です。この中では石田さんと石川さんを授業で持っていますが、と同時に初めて聞かかもしれないですけどコミュニケーションスキルⅡというのは初修外国語をさしディレクターをしています。たまに用事があると連絡に当たっています。フランス語に関しては私がきてようやく五年半くらいたったかなという感じでそれまでフランス語の授業経験はここへ来て初めてだったので手探り状態でしたが今やっとなんかここまで来たという感じですね。恐ろしいことに私が一番上でそれまでたくさん年配の先生がいらしたのですが五年半のうちに瞬く間に退官されてしまい気がつくとなんか一番上でした。私からは以上です。

○加藤

ドイツ語の加藤です。山形大学に来てからは大久保先生とあまり変わらないのですがその前からドイツ語は担当しており20年以上ドイツ語担当していますが、長ければいいということではないのでドイツ語の方でも必ず年に二回は集まりお互いの授業の内容を紹介したり若い先生方から学ばせてもらったり、情報を流したり、やりとりしているところです。今日は学生の皆さんと、本当に率直な意見をいろいろと伺えればと思っています。よろしくお願ひします。

第2章 学生との座談会

○許

中国語を担当しています許時嘉と申します。高瀬君と阿部君の授業今担当しております。山大に来てもう4年目で、中国語を教えることも4年目になります。正直に言いますと私たちの中では経歴が一番浅いほうです。毎年中国語の授業を学生さんの様子を見ながら微調整をしています。文法を説明することは好きなのですが、できる限り授業中でも学生さんにしゃべってもらいように、鼓舞をかけています。たまにはちょっと失敗もしていますけど。ですから今日はぜひみなさん忌憚ないご意見いただければうれしいと思います。よろしくお願いします。

○千代

では学生の皆さんに軽く自己紹介と受講されている初修学国語の種類も教えていただければと思います。

○石田

農学部1年石田玲奈です。フランス語を受講しています。よろしくお願いします。

○阿部

工学部機械システム工学科の阿部哲弥といいます。中国語を学んでいます。よろしくお願いします。

○石川

地域教育文化学部異文化交流コースの石川雅です。フランス語を受講しています。よろしくお願いします。

○高瀬

人文学部法経政策学科の高瀬陽一郎です。中国語をやっています。お願いします。

○千代

本当は今日理学部の方もこられる予定だったのですが、ちょっと書いてないですが昨日からインフルエンザで登校ができなくなったということで、その学生さんは初修外国語受けてない人代表で呼び出し参加をお願いしたのですが皆さん受講されているということで、受講されていない学生さんのことをご存じだったらなぜこの人は受講しなかったと言っていたのか思い出しながら話をしていただければと思います。

あと医学部の学生さんも本来参加していただくのですが今日は学部の方で実習等あり残念ながら参加ができないということになっています。皆さんの忌憚ない意見をいただければと思います。

なぜ受講しようかなと思われたかなど必修のところもあると思うのですが農学部と工学部は違うと思うのでよかったらなぜその言語を選ばれたのかも含めてちょっとお話しいただけたらと思います。

○石田

私はフランス語には中学校くらいからフランスにちょっと興味があり、私はお菓子が好きなのですがフランスではお菓子が有名と聞いたのでフランスに行ってみたくて受講しました。

○千代

フランスのお菓子じゃなくて申し訳ないのですがぜひつまんでください。フランスに行ったことはありますか。

○石田

行ったことはない。いつか行ってみたいです。

○千代

わかりました。そういう目標がなんらかのかたちであるということですね。

○阿部

自分は中国語を取ったのですが、その理由は大久保先生と加藤先生には申し訳ないのですが、フランス語とドイツ語は難しいと先輩方から聞き、また自分は漢字好きだったので中国語のセンター試験とかで漢文を解いていたのと、文型が英語と同じだったり読んでみると英語とにているなと思ったりして、実際授業してみても似ているところもあり、理解しやすいかなと思いい中国語にしました。

○千代

身近に感じる点とそれから簡単じゃないかというイメージがあったと。違うと思いますけれどね、たぶん。

どうでしたか実際やってみて。比べようがないかもしれないですけど。ほかの言語やってみれば。

○阿部

発音が難しいです。



○千代

それはそうですね。

第2章 学生との座談会

○許

確かにそうですね、中国語の場合は発音をクリアすれば他の方はどんどん簡単に身につけるとおもいますね。文法は実は英語と似ているところがたくさんありますので理解しやすいと思います。発音の方をまずクリアしなければいけないですね。

○千代

石川さんいかがですか。

○石川

私は実は生まれがフランスで合計10年間フランスに住んでいて、7歳まで現地の幼稚園、小学校1年間くらい通っていて、フランス語を思い出したいということで、忘れてしまったフランス語を思い出したくて初修外国語としてフランス語を選びました。

○千代

むしろ初修ではなくて、慣れ親しんでいたってことですよ。

○石川

なんか思い出したいという感じです。

○千代

わかりました、では高瀬さんいかがですか。

○高瀬

自分は第二外国語に正直全然興味なくて、どれにしようかと考えたときに、一番近くの中国語を学んだら使えるのではないかと、彼(阿部さん)と同じようにほかの言語が難しいと聞いたので、中国語なら最初にやる英語以外の言語としては、やりやすいのではないかと考えてやりました。

○千代

ここには先生いらっしゃらないですけど韓国語なんかも結構近くて、似てそうですね。字が全然違うのですが。

○高瀬

字が違うので中国語にしようかなと思いました。

○千代

中国に行ってみようかとは思わなかったですか。

○高瀬

最初は思わなかったですが興味が出てきました。

○千代

学生さんに聞いてみたいこととかありませんか。

○大久保

語学って授業時間以外でどれくらい勉強していますか。石田さんはけっこうまじめに授業をやっているような気がするのですが、帰ってからって勉強していますか。

○石田

フランス語はテスト前にはするのですが、それ以外は本当にあまりしないです。

○千代

みなさんもそんな感じですか。俺はやっているとかが私はやっているとかがありますか。

○阿部

テスト前はやっています。

○千代

テストの回数が増えるとたくさんやるようになるかな。そうでもないか。

○阿部

はい。

○千代

じゃあテスト増やした方がいい、そんなことないか。それは余計な話ですね。すみません。

でも、実際たくさん勉強した方が語学って伸びますよね。きちっと授業に出てらっしゃるのもそれは一緒だとしたら。興味次第だと思うのですが意外に石田さんがフランス興味あるというのにあんまり勉強していないと言われたので。

○大久保

今年は、あえてなのですが宿題を出さないようにしています。つまり、私が一番今回心がけたのは、今英語の話がでましたのでちょっとお話すると、“皆さん6年間英語を勉強してきてどうでしたか？”っていうのを聞いてみたくて。辛かったという思い出とか結構多かったのではないかなと思います。何が一番辛いかと言うとたぶん覚えなげやいけないことが多いと辛いと思うので、今回英語の辛さを思い出させるようなことはしたくなかったということも石川さんに初めて言うのですが、“宿題を出さない主義”みたいなことで今回やっています。今回だけなのですが。どうだったかなと思いますが、やらない選択肢を僕は別に悪いとは思いません。やらされるよりは、自分でやりたいと思ったときにすればいいと言っていたので、それはそれでいいと思っていてやっていました。

○千代

きっかけみたいな感じですかね。

○大久保

そうだったと思います。自分でやりたいと思ったときに勉強すればいいと思ったので宿題を渡さない主義だったのですが来年どうなるかわからないです。

宿題をやめようと思った理由は明確にあって、今年ある映画をみたのですがマイケルムーアの「世界侵略のすすめ」というタイトルで、邦題は非常にふざけていますが「Where to Invade Next」という映画ですがマイケルムーアがドキュメンタリー撮っている人で、アメリカの色々なところに行って、アメリカの侵略者として行くのですが、そこで色々な文化を知っていくという映画です。デンマークかノルウェーの一番教育水準が高い地区に行ったときに、どのように勉強を教えているのかと聞きに行くけど宿題だしてないということを書いており、そこは非常に世界的に教育水準が高い、しかもやる気・意欲をそがないためには宿題を出さなという感じ。できることをやるのだという主義を貫いているらしく、結構新しい発想だなと思ってみようかなと思ったという非常に安直な。確かノキアって携帯のフィンランドですね、フィンランドが一番教育的な、あとはヨーロッパで言うと小国ですけどリュブリャナとか。大学の授業料は無料というかたちでやっている。

○千代

リュブリャナの方と一緒に研究しているのですが、フィンランドもそうですが行っても英語で全部通せてしまう。すごい語学力ですよ。今日の話がふとずれて行ってしまう危険性があるなと今一瞬おもったのですけど。

○大久保

だから、宿題をしない・出さないということはいいのか悪いのか私はわからないのですが、私は出さなかったのです。許先生、加藤先生いかがですか。

○許

私の場合、実は一年目二年目の時には小テストはきちんとやっていた。だいたい3回くらいやりました。でも振り返ってみると学生さんみんな悲鳴を上げていたのです。最初は小テストをした理由は、やっぱり語学を勉強するのは積み重ねが必要になるので、毎回必ずこのくらいの単語を覚えてこないとへ進めないのです。最初は厳しくやりましたので、みんなが悲鳴を上げているその様子を見て「大丈夫かな?」、「もしかしてこれをきっかけに中国語嫌いにならないかな」と思いました。それを思うと、三年目に入ると小テストは「まあ、いいか」と思って、(小テストが)なくなりました。四年目に入って試行錯誤の繰り返しですが、どのようにすると学生さんはこの言語に関して、嫌う気持ちを生まないか、ずっと心がけています。「中

国語がおもしろいですよ。」、「今のうちに身につけなくてもいいですが、今度時間があるとき、そして余裕ができたならまた勉強したいな」という気持ちをいつまでも忘れないようにしてほしいと今思っています。

○大久保

僕も去年ぐらいまで小テストを毎回やっていました。あれは採点が大変です。

○許

例えば、語学が専門の学生さんだったら毎回必ず(小テストを)やります。これは自分の専門だから身につけないとダメだということは原則にあります。でも(本日ご出席の学生の)みなさんは、工学部とか地域教育文化学部は別の専門の方です。ですから第二外国語は趣味のようなかたちで勉強する学生が多いと思います。趣味として勉強する学生さんに対しては厳しく押しつけるとみんな逃げちゃうのです。その辺の区別をつけたいなと思今年をあえて小テストをやらないことにしました。

○加藤

学生さんに伺いたいと思うのですが、僕は毎回単語テストをしています。8個単語を聞いて2つ文章を聞くというのを毎回しています。それから小テストは單元ごとにして。小テストはみなさんの理解度を測るというのと、こっちから“ここは大切ですよ”というメッセージなのですね。なので、「次の回までには返して試験までとっておいてね」という話をしているのです。二年目から単語テストは地域教育文化学部のドイツ語を取っている学生が2クラスあるので、その2クラスの間で同じ単語を覚えさせようということで教育の質保証みたいな事をしています。二年たつとだいぶ定着して教室へ入っていくと、教科書開いて勉強をしている学生がほとんどになって10点中5~10点の間をとってくれるようになったのは良いかなと自分では思っています。20年間くらいやっているといるんなフェイズがあり、許先生がおっしゃったように「加藤は嫌いになってもドイツ語は嫌いにならないでください」と思い、とにかく嫌われないようにしましょう、楽しい印象だけをもってもらおうという時期もありましたが、最近文法の授業だと履修してもらったからには、あとで学び直すために最後までご紹介しておいた方がいいのかなという気もしています。今年、中国語・フランス語とっている皆さんのにはどうなのですかね。通年通して楽しいのが良いに決まっていますが、同時に初級の文法なりを全部紹介してほしいという思いがあるのか、今ふと僕が思ったのは必要に迫られてフランス語を独学したことがあるのですが、自分に甘い僕の性格のせいで、なかなか動詞の変化を自分で暗記しようとしませんが、それが授業だと小テストがあろうがなかろうがある程度は覚えなくてはならないじゃないですか。そういう意味で、みなさんが4月の時点ではどのくらい勉強したい意欲だったか、そして今くらいの冬になってまだこの辺までは勉強

第2章 学生との座談会

したいなと考えているか、あるいは、もうお腹いっぱいだなとおもっているのかどうか、石田さんから伺えればと思います。



○千代

正直に言っていただいて良いです。

○石田

フランス語は日常的に使われている単語がわかっているかと思えます。ちょっと難しいのはいいかなと。

○千代

実際フランス人と話をすると、例えば料理の本なんかはフランス語が結構出てくるじゃないですか。そのような言葉が読めれば良いって感じですか。

○石田

そうですね。

○千代

文章としてはそんなに期待していない。

○石田

文章は難しいところもあったりするので簡単な文がわかればいいかなと思っています。

○千代

会話とかいかがですか。

○石田

私は発音が苦手で会話もちょっと。

○大久保

でもちゃんと話せていると思います。もう一人の先生がすごく発音調整をされる方で、今日の授業を見ているとレストランでのシチュエーションで注文の仕方とか出てきていました。

そのようなのはどうですか。

○石田

フランスに行ったときにレストランで使えるような会話は覚えたいと思っています。

○大久保

じゃあ、今日みたいな授業はわりと自分のモチベーションにあっている感じかな。

○石田

はい。

○大久保

ただ、それほど文法を厳密にやっていくこと、例えば動詞の変化なり、名詞の性と数の一致とかに関して聞けるようになりたいとはあまり考えてないかな。

○石田

はい。

○大久保

わかりました。

○千代

阿部さんいかがですか。最初の希望と今の現実。

○大久保

中国語だと、話せればいいのか、どこぐらいまで身に付けたいとか。話すと言うのも色々な段階があって、挨拶とか買い物ができるくらいってところもあるじゃないですか。あるいはもう少し上の会話をしてコミュニケーションをする、あるいはもっと上をいって発表とか。

○阿部

発表までいかないです。

○大久保

いろいろあると思うのです。段階からすると自分の設定はどこにあるのですか。

○阿部

挨拶は当然できて、そのあとは日常的な会話くらいをできたらいいなと思っています。会話は関係ないのですが文章はすらすらやりたいと思います。

○大久保

読むほうですか。

○阿部

読むほうです。

第2章 学生との座談会

○大久保

フランス語は文章を読むところまでいくのに二年くらいかかると思います、中国語はどうですか。

○許

中国語は簡単な文章だったら一年ぐらいで読めます。今使っている教科書の会話文ならば、ある程度文法を覚えていたらたぶん読めると思います。(簡体中国語の)漢字はすごく独特なところがあるけど。

○千代

石川さんからフランス語を思い出したいという話があったと思いますが。

○大久保

石川さんは少し特別なかもしれないですね。でもやはり会話を話せるようになりたいですか。

○石川

夏休みにフランスへ一人で行ってきたのですが、その時に幼稚園の時の友達と再会して、全然フランス語を話さなくて英語を使って会話をしましたが、フランス語を自由に使えたらいいなど少し悔しい思いをしました。

○千代

結構今は勉強していますか。

○石川

してないです。まだ行く機会がしばらくないのですが、また勉強で行きたいなと思っています。

○許

石川さんのパターンはすごく面白いので聞きたいです。幼稚園まではずっとフランスにいらしたのですね。

○石川

はいそうです。

○許

そのときはフランス語は喋っていましたか。

○石川

喋っていました。

○許

書くまでは。

○石川

幼稚園までなのであまり書くことはしていません。日常会話くらいでした。

○許

じゃあ今大久保先生の授業を受けて記憶がよみがえってくるということはあるですか。

○石川

聞いたことある単語だな、というくらいです。

○許

おもしろいですね。

○千代

強いモチベーションはあるのですが勉強にはつながらないという正直なところですよ。僕もそれは本当にわかります。

○大久保

たぶん忙しいのではないかな。

○千代

みなさんそうですね。一年生もけっこう忙しくなっているの程度自分で時間をとって勉強するのは難しいですよ。高瀬さんいかがですか。

○高瀬

自分は勉強し始めてから、留学支援というのを受けて、手続きまでして結局、法学の勉強するため辞退したのですが、周囲よりは自主的に勉強をしないと思います、興味があって勉強していたのです。留学を辞退するとなり、これから続けていくのかわからないですけども。



○千代

さししまった何かがあればやる気になった感じもありますか。

○高瀬

そうですね、留学に行くというモチベーションでいたので勉強はしたいなと思ってしていました。

第2章 学生との座談会

○大久保

中国ですよ。

○高瀬

中国語ですが、台湾に行こうと思っていました。

○許

別に長期留学ではなくても、例えば夏休みなど二、三週間の短期研修も価値がありますので、またその都度参加していただければと思います。半年とか一年間の留学を必ずしなければいけないということではないです。やはり一番自分のしたいことをしたらいいと思います。

○千代

フランスとか大変だと思いますが中国や韓国は近いし安く行けちゃう。アジア圏だと安くて本当に遊びに行く感覚で行って帰ってこられるので、一回自分のしてみたいはともかくとして行ってみるといのも良い機会だと思います。勉強だけでなく振り返りをするような。そこは是非試してみてもいいと思います。日本国内でも違うところへ行ったら結構得るものあると思いますが、外国で言葉が通じないとか通じにくいとか、色々さらに楽しんだり、びっくりしたりということもあるのかなと思います。高瀬さんみたいに行こうと思ひ勉強されるというのは、すごく高くても良いモチベーションで具体的に目標もはつきりしていたということがあるのかもしれないですね。

○加藤

モチベーションという話でいうと外からうちに来ている留学生は、日本文化にもともと興味があつてアニメなんか僕が聞いたことのないようなアニメを知っていたりする。みなさんは逆に、石川さんから教えていただけたらと思いますが、教室の外で例えばユーチューブなどフランスの人たちがこんなことしていたと見たり聞いたり、あるいは中国語圏の人がこんなことしていたよとか、中国語で日本のアニメをやっていた、とかそれを眺めたりそういうご経験は、自主学習というわけではないですけど、ネットの世界でしてみようとした経験はありますか。

○石川

フランス人が描いてあるファンタジーの本を読んだことがあります。でもフランス語では読めないです。

○加藤

フランス人の作家のものを読んでみると、映像や音でフランスのPOPSを探してみようと思うことははないですか。阿部さんいかがですか。

○阿部

そういうことはないです。あるとすれば高校の時習った漢文ぐらいですね。

○加藤

なるほど。石川さんは懐かしい幼稚園時代に習ったフランス語以外に教室以外で、たとえばお友達と約束して今回夏休み旅があったわけですよ。そのときはメールかなにかでやりとりしたのですか。

○石川

フェイスブックです。

○加藤

その時は英語で連絡をとったのですか。

○石川

英語ですね。

○加藤

フランス語混じりの英語にしてみたりとか。

○石川

関係ないですけど普通は言語交換会という会が山大にあり四年生の地域教育文化学部システム情報学コースの杉山さんを中心に、地域教育文化学部に来ている留学生を呼んでフランス語を教えてもらったり、逆に日本を教えたりという会があり、そのようなところで色々な文化とかを教えてもらったりしています。

○加藤

教室外の人たちでそのようなことを留学生の方とやるというのもひとつモチベーションとしては大きく、ありがたいところですね。高瀬さんいかがですか、留学されるっていうこと以外では教室の外で何かありますか。

○高瀬

自分もIFというサークルで台湾人と話したのですが、日本語がすごく上手で中国語を話してくれなかった。自分が話していることが、伝わらないことが多く、そこでもっとがんばらないと思いました。

○加藤

そこが難しいところですよ。留学生の方って日本語と日本の文化を学びたくて日本に来ているわけですからね。

○許

逆に練習されたみたいな感じですね。

第2章 学生との座談会

○高瀬

そうですね。何年も勉強してから日本にきていると言っていたので問題なく会話できました。むずかしいですね。

○加藤

今のお二人の話を見ると、教室の外での環境云々というよりはキャンパス内の方がうまくできるような気がしますね。留学生の方とギブアンドテイクでうまくバランスとれるような、一方的にこっちがお世話になるというのではなくて、日本語・日本文化の知識を提供して、という方がお互いにもっとうまくいく気配を感じませんか。ざっくり言うと案外教室の外で自身の興味の映画・音楽・小説を広げるといことはされていないという感じですね。

○千代

お菓子の話でもありましたが、町に出るとフランス語のメニュー見て「あ、これ意味わかる」とか中国語もそうだと思いますが一通り会おうと思えば会う機会はある言語覚えて初めてそれに注意が向くということはあると思うのですよ。何も知らなかったら今学んでる言語関係なく気にならなかったことは一杯あるのではないのかなと思います。逆に今気になることがいっぱいあるのかなという気がするのですよね。「これは知っている」という感じで。先ほどお話しされていましたよね、わかるぐらいでいいと。それが最初の入口だと思うのです。山形だと見あたりにくいってところもあるのかもしれないのですが、何か注意してもらおうと、きっとふれ合うなにかのきっかけは一杯あるのかなという気はしますね。

○大久保

山形大学のお店の名前はフランス語でポムとテールですね。

○許

あれはフランス語ですか。

○大久保

あれはフランス語ですよ、覚えていますか。

○石川

はい。じゃがいも。

○大久保

ジャガイモ。ポムはリンゴです。テールって言うのはフランス語ですね。大地って意味です。なんでフランス語にしたのか理由はわからないですかね。

○千代

わかりません。僕は一階しか行っていなかったのですとポムだけだと思っていました。上あがったらテールだったので。

空に近いからシェールなのかなとも思いました。25年前は初修外国語を第二外国語と言っていたと思いますけれど、フランス語だったんです。いい学生ではなかったです、ここで聞かれたら全然勉強していなかったし、あまり興味もなかったですと言っていたと思います。先ほどおっしゃっていましたが、いろいろ授業でボードレールとかカミュとか無理矢理読まされかなりきつかったです。でも女の子とデートに行くとレストランの名前とかファッションのこととかフランス語で書いてあってもすぐにわかるから、意味がわかるようになったと思ってちょっと嬉しかったです。

○大久保

服や料理、お菓子はすごく身近なフランス語が多いですね。多少は役に立ちましたね。名前とか文化とか。

○石田

フランスで伝統のお菓子を知る機会があって、日本のお菓子を改めて見ると新しい発見がありました。フランスにカヌレってあるじゃないですか。あの存在を知らなくて変な形をしたお菓子だなと思っていたのですが、フランスのお菓子だと知って実際に行き食べてみたいなと思いました。



○大久保

教材でカヌレを作る教材があり、これで作れるのかなと言うくらい適当な作りかただったのです。そういう文化ですよ。お菓子は結構たくさんありますからね。クレープもフランス語ですし。

○千代

山形大学で学べる言語は中国語やドイツ語もそうですが、比較のみなさんが会える確率が高い物が多いので色々あるんじゃないのかなと思います。高瀬さん気づきとかありますか。

○高瀬

中国語を見かける機会がなくて例えば電車の優先席にすこし書いてあるくらいで、そのくらいしか自分は日常では出会わないですね。

第2章 学生との座談会

○千代

もう少し都会の方へ行くと東京、大阪や名古屋では電車の案内は中国語・韓国語で車内の案内をするので全部わからないな、と思いながら聞いていたりします。

○高瀬

あとはニュースで中国の人がでると全然聞き取れないと思ったりします。

○大久保

早いですからね。ニュースは早いと思いますね。

○千代

石川さんいかがですか、山形で気づきとか。

○石川

テレビでサッカーのハリルホジッチ監督がスペインなまりのフランス語だと思うくらいで山形ではあまりないですね。山形をあまり知らないと言うこともあるのですけれど。

○千代

山形は外国語が少ないですかね。あまり気にしていませんでしたが、ないかもしれませんね。というか英語ですらあまりない気もする。大学もいろんなところに英語表記の案内板を設置しましたが、確かに言われてみればあまりないな。阿部さんいかがですか、なにかありますか。

○阿部

同じくあまり見かけないです。張り紙ぐらい。聞いていても「ドゥイ」くらいしかわかりません。

○大久保

「はい」ですか。

○千代

話は変わりますが、こちらには参加していませんが、さっき韓国語の先生と懇談をしまして100人に1人か2人はすごく熱心にやりたいという学生がいるということで、その学生さんが必ず言うのは二、三年生になってドイツ語・中国語だとあると学ぶ機会はあると思うのですが、それ以外は学ぶ機会がないというんですね。実際に二年生にあがっても続けていきたいなという希望はありますか。高瀬さんからいかがですか。この学年になっても初修外国語やれたらと思いますか。

○高瀬

どれくらい忙しいかわからないので時間があればやりたいと思います。

○千代

例えば集中講義で二日間ということもあり得ると思うんですよね。そのような講義はどうですか。

○高瀬

時間が合えばやってみたいと思います。

○千代

石川さんいかがですか。

○石川

二年生になってから人文学部で開講されたフランス語が自分のとっている必修や専門に支障がない程度でやっていきたいと思っています。

○千代

阿部さんはどうですか工学部はないかもしれませんが、中国人の先生は語学を教えているわけではないかもしれませんがいらっしゃると思うのですよね。そういう先生と話したいということはありますか。

○阿部

考えたことないです。そのような先生方もいるなら声をかけてみようと思ったところです。

○千代

たぶん話しかけたら喜んでくれて、いろいろ教えてくれると思います。例えば逆の立場で阿部さんが外国へ行って日本語勉強しているんですよと言ってがんばって日本語で話してきたらきっと喜ぶと思うんです。同じようなことだと思います。もしチャレンジできるならやってみたらいかがかなと思います。石田さんいかがですか。

○石田

農学部はフランス語もないので、小白川まで来るとお金もすぐかかるし、もし集中講義とか夏休みの間にあるのなら受けてみたいような気もするのですけど。

○千代

確かスペイン人の先生いらっしゃるんだっただけかな。でも英語をしていたんですよね。

機会があればこちらに来て何かできればいいんですが。語学は集中講義とそんなに相性がいいわけではないので。

○大久保

フランス語は難しいかもしれませんね。

第2章 学生との座談会

○千代

学生さんも忙しいし先生方も忙しいし、本当は毎週毎週二回ぐらいやれたら良いと思いますが、なかなかそうもいかないですよ。

そろそろ核心に入っていきたいなと思っています。今授業を受けている中で“もっとこうして欲しい”などということはありますか。実現不可能なことでもかまいません。石田さんから、もっとこうしてほしかったもっとこうやると良いと思うとか学生の立場でありますか。

○石田

今はまだフランス語の人数が6人しかいないので結構会話もみんなと一緒にできたりするので、あまりこうして欲しいとかはないのです。

○千代

逆に少ない人数でやってほしいイメージですか。

○石田

前期はもうちょっと人数が多くて会話もあまりできなかったのですが今は6人で会話もできるのでいいなと思います。

○大久保

後期は狙い目ですね。あと割と柔軟に対応ができるというか、今使っている教科書が会話中心なので、「どこで働いているの」とか「上司は好き?」「すき」、「はい、なぜなら……」っていう。「これはなぜですか、なぜならば……」に対応できるかなと思います。

○千代

英語なんかコミュニケーションみたいな感じで何かを喋るために必要なことを勉強していく、まさに今お話しされていることだと思います。このシチュエーションでこれを喋らないといけないからそれを勉強してきて喋るというのは以前から流行っているんだと思うのです。

○大久保

割とフランス語の教育の80年代ぐらいまでの教育に近く、文法そのものよりも対応する例文を特に出すという。その構図はわからないのですが、とにかくたくさん表現方法を学ぶことによって習得していく。文法中心の英語教育からの反省から生まれるのです。**SGAV (スガーヴ)** っていう教授法に近いやりかたでやっているのです。でもその弱点は例文ばかり覚えていたので結局どういう規則性で会話することになっていくのかわからないということが難点であります。

○千代

英語なんかでもその場で例文も重視しないので、とにかくそ

の場で喋るようになるみたいなのところがある。そうすると文法ができなくなることがあるみたい。使えるのは使えるけれど十分注意しないといわゆる **broken** な感じになると伺っているんです。

○大久保

6人だとグループワークもしやすい。逆にネイティブの先生と話したかったんじゃないですか。

○石田

ネイティブは聞き取れないのです。

○大久保

でも聞き取れるようになるんじゃないですか。

○石田

映画とか見てもほとんどわからなかった。何も聞き取れないなと思いました。映画はレベル高いです。ナチュラルスピードで話しているし、ちょくちょく見せていくところで出すときの映画は抜粋でどうですか。

○石田

下に字幕で文字を出してくれると、今ここを言っているのだとわかるのですが文字がないと本当に何をいっているのかわからない。聞き取りができない。

○大久保

一番良いのはネイティブの人とマンツーマンですが、それだと100人に対して100人の先生が必要になっちゃうので非現実的ですが、ネイティブの人と話しをしてみたいということはありませんでしたか。

○石田

特にあまりない。

○千代

阿部さんいかがですか、もっとこうしたらなんてあります。

○阿部

発音が大事なのでもっと発音をしたい。例えば、周りの人・隣の人とペア作って教科書の読みあいをしたりとか、話せる量を増やしたり。

○許

わかりました、明日からそういう風にやりましょう。

○千代

許先生のクラスは何人ですか。

第2章 学生との座談会

○許

今は22人ですね。

○阿部

中国語は読んでいるとリズムや口に出して覚えることが大事かなと思います。

○千代

石田さんと阿部さんの話を聞くと読むことは大事だけど聞けて話せるのが自信につながる感じはありますね。今問題としていところは発音や聞けないというところは、確かにそれはあるかもしれないですね。石川さんいかがですか。こうしてほしいなと思うこと。

○石川

友達が中国語を履修していて、中国語を履修した人たちのグループ内で中国語だけで会話したりみんな意識が高い。でもフランス語はあまりそういうことができないから羨ましいなと思います。ツイッター内でも中国語で話しているのを見ているといいなと思います。



○大久保

やってみたらどうですか。

○石川

それは難しいです。

○大久保

難しいですね。授業のクラスのメンバーの雰囲気ですかね。中国語の先生がやっぱりうまいのかな。

○石川

意識が強い。

○千代

先生も宿題出さないっておっしゃっていましたが、宿題として三人くらいで会話したものをテープに録音して提出するようなことをやったらきっとできますよね、会話したりとか。間違っても良いから会話しているところを証拠として提出す

るだったら、採点もあまりする必要もないでしょうし。

○大久保

会話のテストはしたのですが、どうでしたか。

○石川

すごくいいと思います。

○大久保

今回、会話・ペーパーテスト・オーラルテストを分けてやったので、会話テストは大変でしたけど、みんながスクリプトを覚えてくるじゃないですか。覚えるのはちょっと大変ですけど。

○石川

でも楽しいです。

○大久保

そうですか。あれはまたやってもいいですか。

○石川

絶対やった方がいいと思います。

○加藤

それはどのくらいの長さの物ですか。

○大久保

あれはグループでやるから五分くらい。五分でも ABAB とやっていくので結構な量になるのでかなり時間がかかる。それを覚えてくるので、「こんにちは」から始まって「私の名前はなんですか」「あなたの名前を教えてください」というものや、「何人兄弟がいますか」「名前は何ですか」「年齢はいくつですか」みたいなことを覚えていくんだよね。結構大変だったと思うのです。あと、きわめつきは歌を歌いましたよね。

○石川

あれはちょっと大変でした。

○大久保

歌を覚えるというのをやったのですが無謀だったなということがわかりました。映画の中で、歌の部分を取り外しのできるカラオケになるところがあったのでそれをつかってやったのですが、キーが高すぎちゃって。発音がどうと言うことではなくて音程がとれないという。でもあれが一番うまかったのは男子でしたね。女の人の歌なのですね、地域教育文化学部は9割ぐらい女性ですが、女の子は非常に声が高くて歌いづらい、男の子はやすやすと高音で歌っていたのでびっくりしました。

第2章 学生との座談会

○石川

フランスの童謡とか子どもたちが歌うような歌の方が歌いやすいのではないかなと思います。

○大久保

そうですね、今度それにしましょう。

○千代

大久保先生いろいろ攻めて試していますね。

○大久保

そんなことはないですけども、フランス語に関しては教員が若いので色々な授業教授法を毎回試しています。

○千代

ちなみに他の先生やフランス語の先生方とそういう情報交換ってされていますか。

○大久保

やっています。

懇親会とかもやっていますね。フェイスブックでお互いの教授法を情報交換しているのでそれで知ったと言うこともあります。僕よりもずっと若い先生はギター持ってきて歌わせたりしています。私はギター弾けないので羨ましいなと思いました。

○千代

高瀬さんいかがですか、何かありますか。

○高瀬

前に1回授業で歌の紹介というのがあり、普通に楽しかったです。

○許

本当？みんな楽しくない顔しているからそれ以降やってなかった。楽しいですか。

○高瀬

はい、個人的にですけど。

○許

わかりました、じゃあまた用意しておきます。

○大久保

はい。歌を歌うのですか。

○許

歌を歌わせるのではなくて、みんなのレベルでわかるおもしろいメロディーの歌の映像をみなさんに見せて授業をします。

○千代

今話を聞くと、意外に音楽や歌、映像など好評でしたね。

○大久保

お菓子を作る歌は知っているのですが、けっこう教室内で声がでていたような気がします。石川さん、何度かネイティブの人と話をしたいということを書いていましたが、一年生の時からそういう人は入った方がいいですか。

○石川

何回か呼んだりすれば楽しいです。

○大久保

その授業の中で15回中3回みたいない感じで。それができると本当はいいですね。大学によっては週3回あって、週2回は日本人の先生が授業をしているところもあります。例えば月水金あるとして、水曜だけはネイティブの先生を招いた形で一週間うちの大学にやってくる。三時間半じゃなくて四時間半っていうところも外国語大学みたいですね。

○千代

今お話がでていましたが、“内容でもう少しくいところを重視してほしいな”というところあれば教えてください。今、会話とか話がありました。石田さんいかがですか。さっきお話がありました。この授業の中で“もっと具体的にこういうところを重視してほしい”とか“もっとこういうことをしたい”だとかあれば言っていたらと思います。

○石田

特にないです。

○大久保

特にないかな。すばらしい授業をしているっていうことなのかな。おそらく、偶然まだと思うのですが石田さんがやりたいと思っていた授業と、我々のテストの設定が近かったと思うのです。

○千代

今の内容でバランス的には比較的自分にはあっているなと思いますか。

○石田

はい。

○千代

阿部さんどうですか。こういうのは増やしてほしいとか減らしてほしいとか、ここをもっと重点的にやってほしいとかありますか。さっき発音の話はありましたけれど。

○大久保

具体的に発音というのはRの発音ですか。

○阿部

声調です。

○大久保

マーママーという声調でしょうか。私もできなくて「マー」が四つあるというのですね。あれでなぜおばあちゃんが「マ」をさしているんだとか。

○阿部

劉先生は言ってくれるのですが、ひとりひとりに名指して「ちょっと読んでみて」と言って、ひとりひとり発音を確認するというのがあると、自分の発音に対して自信がついてくるかなと思います。自分は結構緊張感を持っていてそういうものいいかなと思います。

○千代

最近スマートフォンなんかで声を入れると文章ででてくるようなものがあるじゃないですか。そのようなものは比較的正しくやれているのでしょうかね、それともあまり精度がよくないのでしょうか。

○加藤

ときどき学生にもやってもらいます。会話とか自分で実験したあとこのように言ってみてくれと伝えて音声認識してもらえるかどうか。去年の場合「クラウドはどこにいるんだ」という会話の教科書の中にある例を学生に入れさせたらEUが製作した、子どもたちをインターネットの害から守ろうという宣伝の映画が検索されて出てきたので、その次の回でその映像を見せたりしました。音声認識ソフトを使って遊ばせると言うことはします。かなり今精度は高いので実際に通じるのかどうか遊ばせたりすることもありますし、若干休憩時間風になっていくんです。わいわいしながら。



○千代

発声してみようという動機付けにはなりますよね。

○加藤

阿部さんも石田さんもペアの方が楽しいし良いと仰ってましたが、実際ぼくは学生じゃないのでわからないところがありますが、それを聞いて大丈夫なんだなと思いました。ペアで練習してもらおうとちゃんとした会話をしているのか僕らが完全にチェックできないじゃないですか。だんだんとあちこちから日本語が聞こえてきたりするし。ここに来てくださっているモチベーションのある学生さんにとってはそういう練習は意味があるのだなと思いました。その延長でスマートフォンを使ってもらったりとか。先ほど許先生が音楽を持ってこられてるということでしたが、僕は何回か今週の歌と称してドイツのポップス・ロック場合によってはパンクを聞いてもらっています。パンク持ってくると絶対教科書には登場しない台詞が出てきた時もある。英語なんかでもみんなが習ってないのに知っている単語っていくつかあるじゃないですか。そんなのも紹介したりとかした。あとはジブリのアニメが大抵ドイツ語になっているのでアニメの一部を、メイちゃんとサツキがドイツ語で喋っているのはすごく違和感があると思うのですけれど。そして、既習の表現があればそこを穴埋めにして提供したりもしています。ただその辺は受け身のところなので、今日うかがってペアでしゃべったりすることがみなさんにとっては大きい意味があるのだなって勉強になりました。

○千代

そうですね、意外にみなさんシャイでちょっと喋れないのかなと思いました。実際にどうかはわかりませんが、喋りたいなっていう気持ちにはビックリしました。意外にみなさんコミュニケーションをしようという感じなのですね。先ほど会話という話もありましたが、石川さんいかがですか。

○石川

せっかく教科書を買ったのでちょっと教科書を使ってほしいです。

○大久保

はいわかりました。そうですね、使わないまま終わっちゃいそうですね。悪いなと思っています。今度から使います。それは反省点ですね。

○加藤

僕が古いのか文法をご紹介したいなと思うのですが、皆さんの的には一年間で会話ができればいいなと言うのが強いのか、文法もしっかり学び自分で後から学び直そうと思ったとき再開してゆけるのが良いのかうかがいたいですね。僕はロシア語取ったことがあったのですが、その頃ウォークマンで聞いていたフレーズは未だに記憶しているのです。「良い天気ですね」っていったからどうだってことですが、そういうフレーズがいくつも入っているのです。ですがそこから、「今日は悪い天気だけれど

気持ちいいね」なんて言いたいときに文法を知っていると加えられるかなというところがあります。そのへん石川さんいかがですか。教科書で学ぶとなると文法的に振り返ってみるとか学び直すという可能性があると思うのですが、文法をやる意味は若干感じますか。

○石川

はい。

○千代

もっとやってほしいですか。

○石川

そうですね、もっとやりたいです。

○加藤

中国語はどうか。年間週二回の授業で文法はおおざっぱに初級レベルを紹介しきれ物なんですか。

○許

そうですね、今は工学部と人文学部は別々の違うテキストを使っています。前半までは一緒ですが、人文学部の方がこれから語学を勉強したい学生が、もしかしたらほかの学部よりは多いと思っています。なのでアドバンス的な分量の多いテキストを選びました。工学部の場合是一年間で教え終わるようなテキストを選びました。基本的な日常会話ができるような感じの分量です。なので工学部は今学期で全部テキストを教えきれの予定です。人文学部の場合もしかして残りの五分の一くらいは、あと2、3レッスンくらいでは教えられないと思います。ですがしょうがないと思えば基本的に日常会話あるいは(中国語検定)準四級から四級くらいのレベルの中国語を身につけたら良いなと思えばそういうテキストを選びました。先ほどテキストをせっかく買ったので全部教えていただければ…という意見もありましたが、中国語の場合は教科書に沿ってきちんとやっています。でも教員の感想としてはときどき、教科書の束縛が強いなと思うときもありますね。できれば時々教科書をおいて別のもをやってみたいなと思うこともあります。あるいは教科書に書いてある例文は全部実用的に活用するものではないので、正直に言いますとちょっと堅いと思う部分もあります。なので現在、台湾・中国でよく喋る言葉をみなさんに教えたいなと思っていました。ですが結局教科書に束縛されていてうまくいかないところもありますね。良いところもあればもしかして悪いところもあるかもしれないです。

○大久保

教科書を使う教えというのは、わかったかと思いますが、ただ教科書の難しいところは教科書通りやれば語学が習得できるというのではないところが難しいところなんです。難しいところを

もう一ついうと、時間的制約の中で全部の文法事項を教え込むことは可能なのですがそれをやると何も残らないまま終わってしまう危険性があり、文法は全て教えない、犠牲を半分だすことで、半分は定着する、その方が良いのかなとも思っています。石川さんどちらかという英語は話せますか。例えば英語と同じような教育方法を使用していたら英語を話せたかということではなく。

○石川

日本人は文法の方は結構強いですが、コミュニケーションは弱いということを言われているので。

○大久保

たぶん英語の学習法をそのままやってもフランス語話せるようになるわけではないと思います。英語だと1、2、3人称で教えると思いますが、私は今回それでやらなかったのは、それでやると絶対にいつまで経っても喋れなくなってしまいます。フランス語の場合って一人称単数から教えてどうしても、つぎ2称複数にいかなきやいけないですよ。そうしないとあなたと言えないというところがあって。でもその教え方ってものすごく非効率的なんですよね。1、2、3単数形飛ばして、1の複数形飛ばして、2に複数形くるんですよ。それが一番話すのに効率がいい。一番使わないのは2人称単数なんです。フランス語が一番使うところから、一番使わないところへいくんですよ。でもそれが昔は一番システムティックだったんです。1、2、3、1、2、3、複という感じなんです。今回、自分の中でその教え方を捨てたんです。ちゃんとやろうと思う人にとってはすごくやりづらかったと思う。それを僕が意識していたので悪かったなと思っています。でも、6週やるとみんな毎回活用のところまで寝るように思います。あれはもうどうしようもないときもありますね。こらえて我慢してやるときもありますね。つまらないオーラを感じつつ一気にやってしまいます。それは痛感しています。今回、過去形もほんの一部しかできません。複合過去と半過去まで勉強して終われたらと思うんですが、それでもかなり言語的なクリエイションが可能だと映画みていたら思ったと思うんです。ほとんど現在形を話しているので。石川さんは一番文法が面白くなってるのは二年生になってからなので、しっかり人文学部の授業でやるとしたら、追いつくと思います。両方勉強した後でないと「私の名前は何ですか」と字幕で出るじゃないですか。あの文法を教えるまでとても時間がかかるんです。代名動詞かなんかあるから。まず先に表現をやり、その表現をなんとなくやったあとに文法的な構図を知っておく。だから今は表現方法を兼ねていて、そのあと文法をやる。どうしても人文学部以外の学生さんは専門に行く機会が身近に少ないので構造までいかないことが残念なことです。本当はそこまでいけるといいなと思っています。すみません、やっぱり2年目にも作りませんか。

○千代

2年目も僕はあった方がいいんじゃないかと思うんですね。高瀬さんいかがですか。すみません、何の話かわからなくなってきたかもしれませんが内容に対してのご意見ですね。

○高瀬

僕は先ほど言った大変だったということですかね。台湾の人とLINEを使い中国語で話そうと思ってやっていますが、あっちが使ってくるのが全然見たことない言葉で、調べても出てこない。なんなんだと思ったりしてます。自分が言いたいことを教科書から探したりしているのですが、あまり文法がわからないので対応しきれない。独学だと当たっているのかもわからない。教科書は進んでいくけれど自分が望む文法が全然でてこないのやりづらいと自分は思いました。でもこれを望む人は本当に少数だと思います。

○大久保

うん、会話的な表現ですね。

○高瀬

はい、そうです。

○大久保

気持ちはわかりますね。若い人がLINEで使うような会話的表現ですね。それはフランス語も教えられないところですね。

○許

今話を聞いて自分は日本語を勉強するときの体験談を思い出しました。教科書で習った日本語と実際日本にやってくる他の人と会話するときの日本語は全然違う。全然違うので自分が強いショックを受けたという思いがありました。教科書はかたいところはあとと改めて気づいたんです。これから教員の課題になると思いますが教科書を使いながらどのように日常会話に近い表現を学生さんに吸収させるように工夫しなければいけないですね。



○千代

どの外国語でもそうだと思うんですね。アナウンサーが話

しているような言葉だとかなり文法的にもきちっとしていますが、普通は僕らもきちっと話さないですね。

○大久保

前言ったと思うんですが、特にノンバーバルコミュニケーションと、つまり身振り手振りが一番低いところでその次に、インコレクトという不正確な会話があって、さらにその上にいくと、項分化されずに単語のみ並んでいるようなもの、不正確な表現と、正確な表現。正確な表現で会話しているのは日常で割くらいしかないとされていて残りの九割は不正確な言葉使いで会話をしている。でも語学で教えるのは最後の一番正確な用法しかなくて、あとの九割くらいの表現方法は教えないと言われていて。フランス語で否定の「ヌパ」って教えるじゃないですか。でも「ヌ」なんて使わない。だからそういうことではほぼ嘘を教えているような感じもするのですが、一応正確な文法を教えることをきちっとやっておかないと崩せないというところがあります。そうはいってないのに「セパ」で通じるのに「スネパ」と教えるみたいなことは重視しています。それは正しいことを教えておくことで崩せることもできるし、ある意味で不自然な表現方法になっているかもしれない。

○千代

僕もアメリカに4年ほどいましたけれど日常会話はからっきしですけれどタックスリターンの文章とか免許を取りに行ったときの試験の文章はきちんと読めるので、一部の表現には強くなりますね。資格試験系とか法律とか、かたい文章は我々かなりトレーニングされているので、ほかの人たちに比べると読めてミスも少ないですが日常会話は難しいです。雑談ができない。そこらへんは課題だと思います。埋めていくところというのは、高瀬君にしろ、ほかの先生のお話にしても他の人とのコミュニケーションが厳密ではない会話をどんどんやっていくので、そのあたりは確かに難しさを抱えているかなと思いますね。学校で6年間英語を勉強しても喋れないというのも本当のところなんですけれどね。できるんだけれども、そういう意味ではできない、ということですね。

○大久保

英語って間違っても通じるんですね。間違っても通じるということを教えないので、正確に会話をしないだめだとどこかで思ってしまった。そうすると一言も喋れなくなってしまう。外国から来た人の話を聞いていても思いますが日本語として間違ってもだいたいわかる時がある。言葉は間違っても通じるものなんだと、安心させないといけないのかなと思います。日本以外の世界のことはわからないことが当たり前の世界だと思うので、それはすごく辛い経験になることはあるとおもうのですが、それはポジティブに捉えてもいいことだと思うのです。だから、石川さんがわからなかったというのは非常に良い経験だったような気もしています。もちろん

第2章 学生との座談会

勉強したことが少しでも活かしていれば嬉しかったと思うのです。残念ながらそうならなかったとしても、わからないことがあるという事実が残る。これからの生き方に変化を与えるような気もする。

○千代

知らないからおもしろいし、できないからやろうと思うことがありますよね。

あと15分くらいなので、私の野望として初修外国語を必修化したいなとか、先ほどおっしゃっていたような2年生以降も開講したいなと思っているのですが、今来ていらっしゃる学生さんは基本履修していて、必修であったりそうでなかったりはあると思いますが、基本的にはやろうという雰囲気は出されていると思うのですが受けていない学生さんもたくさんいる。前期受けたけど後期受けない学生さんいるんですが、そういう人たちはいったいなぜ受けないのか、どうしたら興味もてるのかお伺いしたいんですよね。もしいろいろ気がつくことがあれば教えていただけたらと思います。どうですかね石田さん。

○大久保

農学部は今一人しかいないですよ。必修じゃないですね。

○許

必修ではないですが、後期に入ると初修外国語は週2コマ、でも単位は他の授業と同じくらい同じ時間をかけたとしても単位は他の授業に比べると多めにとれるわけではない。必修科目にもなっていないのに、それでもとりたいという理由を知りたいですね。

○石田

最初は前期でやって後期で取らないでおこうと思ったのですが、そのことを親に話したら「フランス語なんてどこに行っても習えないのだから、良い機会だから習ってきなさい」と言われました。確かにそうだなと思い、それで後期で履修してみようと思いました。

○千代

むしろ他の人たちが受けようと思うような方法がありますか。教えていただければ助かります。実利的なメリットがあればうけるのか、それとも単に興味があればうけるのか、もしくは中国語やフランス語にしても農学部でそういう先生がいたり友達で留学生が多いとかどのような状況だと勉強するのかとか、いろいろ思いつくのですが、実際僕も必修だったから受講しただけで確かに卒業後にフランス語圏へ行くと思いが通じないところが多いので、ちょっとくらい知っていたらよかったなと思うところはあるんですよね。でもそれは先にならないとわからない。今まさに勉強してもらおうと思ったら何を言えればいいのかなというのをお伺いしようと思っているんです。

○石田

フランス語だったらフランスに興味をもってもらうような、映画などを流すと、よいと思います。

○千代

フランス人がよく歩いているといいなと思うとかありますか。そんなことはないか。

○石田

フランス人が歩いても話しかけない。

○千代

最初に受講する物を選択しますよね。大学のことをよくわからないタイミングで、どの授業がいいかという選び方になると、さっき許先生がおっしゃったように、単位をとるコストパフォーマンスは非常に悪いように見えてしまうのですが、実際僕はあとになってもずっと覚えているので、長い人生でみるとコストパフォーマンスは高かったなと思います。初修外国語を勉強したときの。なので、先にならないとわからないので、そこらへんが課題なのかなと思います。もしくは後期だけ受けてもとりあえずなんかなるような仕組みがあればいいと思います。これは思いつきなので、学生のみなさんにお伺いしたいと思いました。阿部さんだったらどうですか、工学部の学生さんで受けてない学生さんや辞めちゃってる学生さんいますよね。

○阿部

もっと親しめるような大きな企画とかたてるといいんじゃないかなと思います。やらないより、やると見方がかわるかもしれない。

○千代

初修外国語って入学時にガイダンスのときに紹介はされていますか。

○大久保

していますね、確か一年生の最初のガイダンスで授業の前で、僕が一年生の挨拶の前にした記憶があります。ただ人文学部だけだった気がします。他の学部では同じようなことはしてません。アドバイザーの中での挨拶したかたちです。

○千代

初修外国語を受けようよ、という勧誘をみなさん聞いたことありますか。キャリアデザインも共生の森もがみとか、ガイダンスへ行って宣伝し紙配ばったりはしているんですよね。認知度が低いのと、授業としてこれまでと全然違う内容なのでアナウンスしているのですね。アナウンスしたら増えそうですかね。あんまり関係ないかな。共生の森もがみとかフィールドワーク系とかキャリアデザインは行って興味を持った学生さんもいる

第2章 学生との座談会

って聞くんですけど、語学とかはどうでしょうか。

○阿部

そうですね、もしかしたら増えるかもしれないです。

○千代

留学とかとセットにしたら来ますかね。それはむしろ余計な話ですかね。

○阿部

ちょっと選択できない。留学するとなると理由がきちんとないと。



○千代

ドイツに留学しようとか、ドイツへの留学に半分補助が出るとかそのような話があれば勉強してみようかなと思いますかね。これは僕が思いついただけなので、そのようなことを考えてやろうとしている訳じゃないですけど。

○大久保

フランスに行けるとなったらフランス語を学ぶ学生が増えますかね。

○千代

留学、短期とか二週間とか一ヶ月とかパリとかコートダジュールに行けるだとか。

○大久保

お金を出してくれるなら行くみたいな感じですか。

○石田

行きたいです。留学っていう堅苦しい語学を勉強に行くというよりは観光方面で行きたいなって思う。

○大久保

それはあまりおおっぴらに出来ないですね、例えば短期研修とか。

○千代

むしろ語学研修じゃなくて、むこうに行って文化研修とかサービスマーケティングなどというかたちでボランティアをしてみるとか、そういうことならありかもしれないですね。石川さんどう思われますか。興味がない学生さんを語学へ向かわせる何かがありますか。

○大久保

食べ物は好きだよ、フランスのお菓子を食べる会やフランス語をしゃべりながらお菓子を食べる会とか、中国語をしゃべりながら中華料理を食べる会とか、そういうのですかね。ドイツだと、ビールとウィンナーと思ったりするけれど一年生だと無理ですよ。

○千代

そういうのがあると楽しみながら学べる感じがあるのではないかと思ったのですがね。高瀬さんいかがですか高瀬さんは留学しようと思ってモチベーションあがったところがあったと思うのですが、何か他に友達が授業を受けるような、人文学部なのでみんな必修ですがサークルとかで「受講する気ない」「めんどくさい」と言っている人たちがちょっと気を向けるようなことってありますか。

○高瀬

自分の周りには先輩の言っている評価を基準にしている人が多く、その授業が良かったら入るという流れでとりましたが、その授業がいいかどうかは先生によるので何も言えないのですが、先生がおっしゃったみたいに例えばこの授業だと最終的にはどこかに研修で行けるというのがあれば少なからず興味はわくと思います。実現できるかわわかりませんが。

あと、シラバスには書いてないですがあまり読もうとは思わないので、レジュメが配られてきたら自分で読んでみようかなと思います。それが無い限り先輩が言った言語だからってということだけで、他を見ないでそっちに行くと思いました。

○千代

やっぱりそういうのも大事だけど、毎年毎年、授業の魅力と先生の魅力も高めた方が良くないかという事ですよ。

○高瀬

そうですね。他の話を聞かないでっていうのがあると思うので。

○千代

おっしゃっていただいたことは、語学以外の授業でもいえることなので、肝に銘じて教育の内容と先生の魅力を高めていきたいなと思いました。

○加藤

その噂の中には、楽勝か楽勝じゃないかってのも大きな要因になるわけですね。

○千代

そうですね。どうもありがとうございます。

そろそろ時間も来ましたので一言ずつ感想でも言っていただき終わりにしたいと思います。僕は最後がいいかなと思うので。加藤先生から順にまわっていただいて、一言二言いただければと思います。

○加藤

必修じゃない学部の方々も後期になっても履修するというのはすでにモチベーションが高いというのははっきりしてはいますが、その中でも会話表現なり、教室の中での会話練習っていうのが興味を持って取り組まれているというのがはっきりとわかり勉強になりました。また、色んな機会があれば教えていただければと思います。ありがとうございました。

○許

今日はみなさんがもっと会話をしたいとか、映像資料とか補足資料がもうちょっと見たいという意見をいただき本当にありがたいと思います。今後の授業の軌道修正でしょうか、今年の授業はあと3、4回で終わるのですが、来年の参考にもなりますし、残りの4回でがんばって会話練習できるようにしたいと思います。ありがとうございました。

○石田

他の学部の人と全然関わりがないので、他の学部の方の意見とか聞けて良かったと思います。ありがとうございました。

○阿部

同じく他の学部の方の意見聞き、あまり先生方に自分の意見を言う機会がないのでおもしろいと思い、言えて良かったかなと思っています。ありがとうございました。

○石川

他の学部の人と関わりがないので初修外国語について意見が聞けてもっと自分で勉強しなきゃダメだなと思ったのでがんばります。

○高瀬

先生方が何を考えて授業をやっているのかが、失礼ですけどちゃんと考えてるんだと知れたので良かったです。

○大久保

悩んでいるんですよ。とりあえず限られた時間の中で何を残すかっていうことをいつも考えてやっているんですね。語学を

ルーチンワークでやろうと思われるのですが、ルーチンワークほど創造性が試される物はないと私は思っているので、来年また同じところから「アーベーサー」と始めるのですが、一年として同じ授業はできないということを肝に銘じてやっているので、毎回毎回トライアルという感じで失敗もあると思うのですが授業をやっていきなしたいと思います。



○千代

語学の先生は特にそうだと思うんですが、けっこう教員の方って試行錯誤して、かなり変えていっているというのはあります。みなさんの意見を聞きながら、今日はこういうふうにやっとうとか、毎日ちょっと変えてみたりするのです。今回、こういうかたいかたちで集まっていたいただきましたが、ぜひ先生方に「こう思う」とか「ああ思う」とか言っていたいて、いい顔しない先生も稀にいるかも知れないですが大抵の先生は、学生さんの意見は聞いて、やれることはやろうって思ってもらえる方は多いので、語学もそうですし、他の授業についてもどんどん提案していただき一緒にクラスをつくっていくことで参加していただけたらいいなと思います。今日は本当にためになるお話を色々いただいたので、今後我々もどんどん変えていこうと思います。

どうもありがとうございました。

第3章

スタートアップセミナーアンケート



第3章 スタートアップセミナーアンケート

基盤教育院実施部 導入科目部門長 下平 裕之

はじめに

本章ではスタートアップセミナーアンケートの平成 28 年度分の結果の分析を紹介する。本アンケートは、平成 22 年度から行われた教養教育改革の重要な柱として位置づけられてきたスタートアップセミナーについて、全科目において実施している授業改善アンケートとは別に、7 月に実施したものである。アンケートは学生用と担当教員用の 2 種類を含んでいる。

アンケート結果の紹介に先立ち、今年度スタートアップセミナーの開講状況を図表 1 に示す。

図表 1 スタートアップセミナー開講状況 (平成 28 年度、学部各科別)

学部	学科	コマ数	履修学生数 (1 年生)	同クラスあたり
人文学部	人文学部人間文化学科	8	103	12.9
	人文学部法経政策学科	12	199	16.6
	計	20	302	15.1
地域教育文化学部	地域教育文化学科 (計)	12	249	20.8
理学部	数理科学科	1	45	45
	生物学科	1	31	31
	地球環境学科	1	34	34
	物質生命化学科	1	48	48
	物理学科	1	39	39
	計	5	197	39.4
医学部	医学科	1	125	125
	看護学科	1	65	65
	計	2	190	95
工学部	システム創成工学分野	1	51	51
	バイオ化学工学分野	1	70	70
	応用生命システム工学分野	1	61	61
	電気電子工学分野	2	77	38.5
	機能高分子工学分野	2	115	58.5
	情報科学分野	1	41	41
	物質化学工学分野	1	81	81
	情報科学分野	1	41	41
	機械システム工学分野	2	125	62.5
	計	12	662	55.2
農学部	食料生命環境学科 (計)	3	159	53
合計		54	1759	32.6

クラス規模は全学平均で 33 人であり、平成 23 年度以来、ほぼ変わらない。しかし、例年通り、クラス規模のばらつきは大きい。学部平均で見ると、1 クラスあたり、人文学部 15 人、地域教育文化学部 21 人、理学部 39 人、医学部 95 人、工学部 55 人、農学部 53 人である。

1 学部ごとの特色

図表 2 に示したのは、スタートアップセミナー担当教員を対象とした教員アンケートの中から、具体的にどのような分野に力を注いだかに関わる回答結果である(図表中の数値は、回答の 4 つの選択肢のうち、「特に力を注いだ」を 4 点、「力を注いだ」を 3 点、「あまり力を注げなかった」を 2 点、「ほとんど力を注げなかった」を 1 点とした平均点である)。比較のため、全体平均については平成 25 年度から平成 27 年度の 3 年分を併記した(あいにく平成 22 年度分については、本設問は回答形式が異なるため、ここでは省いた)。

図表2 スタートアップセミナーで力を注いだ分野

回答内容	所属学部	人文学部	地域教育文化学部	理学部	医学部	工学部	農学部	全体			
								H28	H27	H26	H25
①学部・学科の特色や専門教育		3.06	3.00	3.75	4.00	3.55	4.00	3.56	2.89	3.20	3.20
②キャリア形成		2.76	2.75	2.25	4.00	3.27	4.00	3.17	2.84	2.54	2.79
③共同作業能力		3.71	2.88	3.25	3.00	3.55	4.00	3.40	3.39	3.16	3.20
④討論や議論する能力		3.41	2.75	3.00	3.00	3.27	4.00	3.24	3.28	3.30	3.17
⑤プレゼンテーション能力		3.47	2.88	3.50	3.00	3.27	4.00	3.35	3.30	3.24	3.37
⑥レポート作成・文章作成能力		3.65	3.50	3.00	3.00	3.18	4.00	3.39	3.25	3.12	3.20
⑦文献・資料を読み込む能力		3.29	3.00	2.00	2.50	3.00	4.00	2.97	2.86	2.76	2.63
⑧情報・資料収集能力		3.18	3.50	2.00	2.50	3.18	4.00	3.06	3.02	2.80	3.09
⑨課題探求能力		3.24	2.75	2.00	3.00	3.36	4.00	3.06	3.06	2.98	3.06
アンケート回答者数		17人	8人	4人	2人	11人	1人	43人	34人	47人	35人
うち過去もスタートアップセミナーを担当		8人	5人	4人	1人	9人	1人	28人	13人	21人	16人

注：授業担当者の回答のうち、「特に力を注いだ」を4点、「力を注いだ」を3点、「あまり力を注げなかった」を2点、「ほとんど力を注げなかった」を1点とした平均点。数値が高いほど力を注いだことになる。

回答率は学部・学科ごとにばらつきがある（アンケート回答者数と図表1に示した開講コマ数を参照）ことをお断りした上で、以下、今回の数値に即して特徴的な点に注目してみたい。

まず3年分の全体平均を較べてみよう。全9項目のうちで、4年間を通じて3以上の高い数値を示してきたのは、「共同作業能力」、「討論や議論する能力」、「プレゼンテーション能力」、「レポート作成・文章作成能力」の4項目である。逆に、4年間を通じて2点台にとどまったのは「文献・資料を読み込む能力」であるが、これまで2点台であった「キャリア形成」が、28年度は3点台へと改善している。

平成28年度分だけに焦点を絞ると、全体平均が最も高かったのは「学部・学科の特色や専門教育」3.56であり、次いで「共同作業能力」3.40、「レポート作成・文章作成能力」3.39である。逆に最も低かったのは、「文献・資料を読み込む能力」2.97である。

教員側のねらいが以上のような点にあることを確認した上で、次に学生アンケートに目を向けることとしたい。

2 スタートアップセミナーの成果

(1) 回収率

具体的な授業内容の分析に踏み込む前に、学生アンケートの回収率を確認しておきたい。図表3に、アンケート開始以来の6年分の数値を示す。今年度は92%で、前年度から6ポイント増である。学部別では地教と医の増加が目立った。全体として比較的高い回収率であることについては、回収率向上のためにご協力いただいた各学部に感謝する。とともに、今後ともご協力をお願いしたい。

(2) 学部・学科への理解を深める

ここから具体的な教育内容である。最初に、学部・学科についての理解ということと関わる結果を図表4に示す。

図表3 スタートアップセミナー 学生アンケート回収率推移

所属学部	アンケート回収率					
	H28	H27	H26	H25	H24	H23
人文学部	87.1%	76.8%	92.3%	92.3%	82.4%	89.8%
地域教育文化学部	83.2%	64.5%	89.9%	95.5%	58.5%	71.0%
理学部	94.4%	96.8%	97.4%	95.8%	93.7%	98.4%
医学部	89.0%	68.3%	77.0%	80.0%	95.8%	62.1%
工学部	96.5%	97.5%	93.7%	95.2%	65.1%	82.8%
農学部	98.1%	98.1%	100.0%	98.1%	63.0%	62.1%
合計	92.1%	85.7%	92.1%	92.8%	73.6%	79.9%

図表4 この授業によって自分が所属する学部・学科についての理解を深めることができましたか？

所属学部	平均点数						肯定的回答の割合					
	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H28	H27	H26	H25	H24	H23
人文学部	3.90	3.76	3.85	3.93	3.37	3.80	73.4%	64.0%	66.4%	73.5%	46.9%	61.8%
地域教育文化学部	4.05	4.09	3.90	3.98	3.82	3.70	74.9%	79.4%	68.0%	71.4%	68.2%	64.2%
理学部	4.07	4.17	4.14	4.34	4.19	4.10	77.7%	79.8%	78.3%	86.1%	85.9%	80.3%
医学部	4.26	4.31	4.33	4.38	4.42	4.50	85.1%	87.4%	86.4%	90.1%	88.9%	89.7%
工学部	4.33	4.15	4.25	4.26	4.20	4.20	86.5%	83.2%	85.5%	86.2%	83.2%	82.6%
農学部	3.50	3.42	3.57	3.42	3.63	3.50	52.6%	48.4%	58.5%	46.0%	56.7%	52.0%
合計	4.02	3.98	4.06	4.09	4.00	4.00	78.4%	75.9%	76.1%	77.8%	73.0%	74.0%

注：この設問では5点満点の回答を求めており、いいえ=1点、あまりそうとは言えない=2点、どちらとも言えない=3点、まあそうである=4点、はい=5点とした。表に示したのは学部ごとの平均点数と、肯定的回答（「はい」「まあそうである」）の比率である。（以下の図表5～8についても同様。）

全体として、平均点数は4.02で前年比0.05ポイントの増、肯定的解答は78%で2ポイントのである。

学部別では、最高は工学部の87%、最低は農学部の53%である。平均点数で4点を超えている地教、理、医、工の4学部と3点台の人文、農の間には隔りがある。肯定的回答の比率については、医、工は80%以上であるのに対して、人文・地教・理は70%代、農は50%代と開きがある。

前年度までとの比較で見ると、肯定的回答が増加を示したのは人文、工、農の三学部であり、平均点数が上昇したのは人文・工・農の3学部である。

(3) 学修スキルを磨き高める

続く図表5～8は学修スキルに関わる質問への回答結果である。まず口頭発表（プレゼンテーション）に関わる回答結果を図表5に示す。

図表5 この授業によって人前での口頭発表（プレゼンテーション）に慣れることができましたか？

所属学部	平均点数						肯定的回答の割合					
	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H28	H27	H26	H25	H24	H23
人文学部	3.82	3.89	3.91	3.77	3.86	3.81	68.7%	74.9%	74.8%	64.6%	70.3%	67.5%
地域教育文化学部	3.36	3.43	3.50	3.68	3.57	3.56	48.1%	55.6%	54.3%	64.3%	56.1%	57.5%
理学部	3.38	3.29	3.19	3.53	3.45	3.38	48.9%	47.2%	43.6%	56.9%	50.8%	47.6%
医学部	3.82	3.88	3.59	3.06	2.88	3.03	63.3%	72.8%	59.9%	31.1%	26.7%	33.1%
工学部	3.39	3.46	3.38	3.54	3.71	3.52	51.3%	47.6%	48.5%	56.6%	61.4%	55.7%
農学部	3.31	3.32	3.64	3.53	3.39	3.68	50.0%	40.4%	64.0%	54.7%	49.0%	61.0%
合計	3.51	3.55	3.51	3.55	3.54	3.54	54.7%	54.4%	56.0%	56.4%	55.1%	55.7%

全体として、平均点数が3.51、肯定的解答が55%である。

平均点数を学部別に見ると、最高が人文・医の3.82であり、それ以下とは開きがある。逆に最低は農の3.31、次いで地教の3.36である。

肯定的回答を学部別に見ると、最も高いのは人文学部の69%、次いで医学部63%であり、その次は工の51%と隔りがある。最低は地教の48%である。

次に「グループでの議論・討論や共同作業」に関わる質問の回答結果を図表6に示す。

図表6 この授業によってグループでの議論・討論や共同作業に慣れることができましたか？

所属学部	平均点数						肯定的回答の割合					
	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H28	H27	H26	H25	H24	H23
人文学部	4.07	4.02	3.99	3.96	3.58	3.96	81.7%	77.4%	76.2%	75.5%	59.4%	74.5%
地域教育文化学部	3.69	3.81	3.72	3.94	3.92	3.78	61.4%	71.3%	64.5%	75.1%	74.3%	66.9%
理学部	3.55	3.45	3.54	3.61	3.46	3.42	58.7%	53.3%	55.6%	59.9%	52.5%	51.3%
医学部	4.11	3.75	3.68	3.68	3.04	3.42	79.3%	65.9%	63.3%	64.2%	33.3%	56.8%
工学部	3.86	3.84	3.70	3.77	3.97	3.86	70.5%	68.3%	65.3%	68.4%	76.3%	69.3%
農学部	3.77	3.79	3.61	3.84	3.81	3.76	73.1%	69.3%	61.6%	72.7%	68.3%	67.0%
合計	3.84	3.78	3.72	3.81	3.76	3.76	71.1%	68.2%	65.4%	69.9%	62.5%	66.3%

全体合計で見ると、平均点数は前年度比0.06増、肯定的回答の割合は3ポイント増である。学部別に見ると、平均点数が一番高いのが医学部4.11、次いで人文学部、工学部、農学部、地域教育文化学部、理学部となる。特に、人文と医は2年連続で過去最高の数値を更新している。

肯定的回答の割合では、学部別の順位は、人文、医、農、工、地教、理の順番である。人文・医・農は肯定的回答の割合でも過去最高の数値である。

図表7は「レポート作成の方法」に関わる回答結果である。

図表7 この授業によってレポート作成の方法について理解が深まりましたか？

所属学部	平均点数						肯定的回答の割合					
	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H28	H27	H26	H25	H24	H23
人文学部	4.08	4.14	4.29	4.16	3.95	4.04	79.1%	79.9%	87.4%	81.4%	74.2%	76.7%
地域教育文化学部	4.05	3.93	4.18	4.08	3.93	4.11	74.9%	73.8%	85.2%	78.9%	73.6%	79.2%
理学部	3.32	3.46	3.44	3.64	3.30	3.18	48.9%	56.1%	57.1%	60.6%	50.3%	42.6%
医学部	3.76	4.07	4.10	3.97	3.77	3.87	65.1%	76.4%	74.8%	72.2%	62.2%	69.5%
工学部	3.86	3.88	3.77	3.69	3.97	3.85	69.6%	70.8%	67.8%	63.3%	75.5%	67.1%
農学部	3.88	3.97	3.52	3.94	3.89	3.53	76.3%	79.1%	53.4%	73.9%	71.2%	59.0%
合計	3.82	3.91	3.89	3.88	3.81	3.81	69.7%	72.2%	71.7%	70.6%	69.2%	66.9%

この項目については、全体合計では、平均点数、肯定的回答の割合ともこれまで年次ごとに着実な上昇傾向を見せていたが、今年度は双方とも減少となった。

学部別に見ると、平均点数の最高は人文学部4.05、最低が理学部3.32である。肯定的回答の割合では、最高が人文学部の79%、最低が理学部の49%であった。昨年度と比較すると、特に理・医での減少率が高いことが特徴である。

最後に「調査や情報収集の方法」についての回答結果を図表8に示す。

図表8 この授業によって調査や情報収集の方法について理解が深まりましたか？

所属学部	平均点数						肯定的回答の割合					
	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H28	H27	H26	H25	H24	H23
人文学部	4.03	4.11	4.22	4.09	3.82	3.99	77.3%	78.7%	86.0%	81.4%	66.8%	72.8%
地域教育文化学部	4.02	3.96	4.15	4.05	4.07	4.07	75.4%	76.3%	84.0%	81.7%	81.8%	77.7%
理学部	3.33	3.50	3.51	3.60	3.47	3.38	48.9%	54.1%	57.1%	58.8%	57.6%	50.3%
医学部	3.82	3.74	3.68	3.69	3.43	3.79	65.1%	65.3%	63.6%	62.0%	52.8%	68.4%
工学部	3.85	3.78	3.81	3.75	3.90	3.81	69.2%	66.8%	66.8%	64.5%	71.1%	67.9%
農学部	3.71	3.81	3.70	3.84	3.85	3.66	68.6%	68.0%	66.5%	68.8%	69.2%	59.0%
合計	3.79	3.82	3.87	3.85	3.81	3.81	68.6%	68.2%	71.2%	69.7%	66.8%	67.1%

この設問に関しては、全学合計では、平均点数は0.03昨年度を下回る一方、肯定的回答の割合は0.04ポイント上昇した。

学部別に見ると、平均点数が4点を上回ったのは人文・地教であった。肯定的回答の割合も人文が最高だが、昨年度に続き今年度も80%を超える学部はなかった。逆に、もっとも低い数値を示したのは、平均点数、肯定的回答の割合とも、理学部であった(3.33、49%)。

前年度との比較で見ると、平均点数の上昇を示したのは地教(0.07増)と医(0.08増)であり、肯定的解答の割合が増えたのは工(2ポイント上昇)であった。他方、大きく下げたのは理(0.17減、5ポイント減)であった。

以上、学修スキルに関する質問の回答結果を見てきた。項目別のコメントの中でも触れたように、「レポート作成の方法」については、これまで着実に上昇していた平均点数・肯定的回答の割合が初めて減少に転じる一方、「グループでの議論・討論や共同作業」では過去最高の評価を更新した学部もあり、これらの項目を中心に各学部ごとの継続的な点検作業が求められる。

(4) 総合評価

図表9に示したのは、スタートアップセミナーの総合評価に関わる質問「この授業は大学での勉強の仕方を学ぶために有意義でしたか」に対する回答結果である。

図表9 この授業は大学での勉強の仕方を学ぶために有意義でしたか？

所属学部	平均点数						肯定的回答の割合					
	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H28	H27	H26	H25	H24	H23
人文学部	4.19	4.33	4.43	4.29	4.11	4.22	82.7%	87.9%	93.0%	88.0%	79.7%	82.3%
地域教育文化学部	4.29	4.19	4.18	4.05	4.01	4.20	85.5%	85.0%	83.1%	76.9%	78.4%	82.7%
理学部	3.90	4.01	4.17	4.17	3.92	3.69	74.2%	73.2%	82.0%	85.4%	74.6%	65.1%
医学部	3.86	4.10	4.08	4.23	4.07	4.24	67.9%	81.0%	76.2%	82.8%	75.7%	83.1%
工学部	4.05	3.91	3.97	4.05	4.07	4.00	78.7%	72.1%	75.0%	76.9%	81.1%	75.6%
農学部	3.89	3.90	3.74	3.94	3.89	3.56	75.6%	74.5%	68.3%	75.2%	76.0%	62.1%
合計	4.03	4.07	4.09	4.11	4.04	4.02	78.3%	77.3%	79.6%	80.1%	78.4%	76.1%

第3章 スタートアップセミナーアンケート

平均点数は過去最高を示した平成 25 年度以後 3 年続きの漸減である一方、肯定的解答の割合は 1 ポイントの回復を示している。

学部別に見ると、平均点数は最低でも医の 3.86 であり、全体的に高い数値を示している。最高は地教の 4.29 点である。平均点数が前年度比で伸びたのは地教、工の 2 学部のみであり、残り 4 学部は減少しているが特に医学部の減少幅が大きい (0.16 減)。

肯定的回答の割合で見ると、全体の平均が 78%、最高は地教の 85%、最低は医の 67%である。前年度比で 5 ポイント以上の増加が見られたのは工の 7 ポイント増であり、逆に 5 ポイント以上の減少が見られたのは医の 13 ポイント減、人文の 5 ポイント減である。

図表 10 に示したのは、スタートアップセミナーを通じて「同級生との人間関係や協力関係を深める」ことができたかどうかを問う質問への回答結果である。

図表 10 この授業によって同級生との人間関係や協力関係を深めることができましたか？

所属学部	平均点数						肯定的回答の割合					
	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H28	H27	H26	H25	H24	H23
人文学部	4.32	4.21	4.19	4.16	4.07	4.34	86.0%	83.3%	82.8%	82.4%	79.7%	86.6%
地域教育文化学部	4.35	4.20	4.27	4.40	4.46	4.23	83.1%	81.9%	81.8%	88.7%	91.9%	81.6%
理学部	3.96	3.96	4.24	4.11	4.05	3.96	72.8%	71.0%	81.0%	79.4%	79.7%	73.9%
医学部	4.27	4.17	3.99	4.16	3.75	3.99	88.2%	82.5%	76.2%	86.1%	64.1%	71.2%
工学部	4.07	4.05	4.06	4.10	4.17	4.11	79.2%	77.6%	78.0%	80.0%	81.4%	78.4%
農学部	4.14	4.22	4.08	4.21	4.27	4.16	79.5%	88.2%	79.9%	85.1%	86.5%	91.0%
合計	4.19	4.14	4.13	4.17	4.14	4.14	81.1%	79.7%	79.8%	82.8%	80.0%	80.2%

全体平均では、平均点数、肯定的回答の割合とも前年度比で微増となっている。

平均点数は全体で 4.19、学部別に見ると、最高が地教の 4.35、最低が理の 3.96 であり、全体的に高い数値である。前年度比で増減の幅が大きかったのは、増加方向では地教 (0.15 増)、人文 (0.11 増)、逆に減少方向では農 (0.08 減) である。

肯定的回答の割合は全体平均で 81%、最高が医の 88%、最低が理の 73%である。これについても、増減幅がもっとも大きかったのは、増加方向では医 (5 ポイント増) と人文 (3 ポイント増)、減少方向では農 (8 ポイント減) である。

3 『なせば成る！』についての学生アンケート結果

図表 11 に、スタートアップセミナーの共通テキスト『なせば成る！』の活用状況を示す。(この図表において肯定的回答というのは、設問に対する回答のうちの「はい」と「まあそうである」をあわせたものである。)

本設問については、テキストの利用状況が学部ごとに異なり一部学部では用いられていないため、肯定的回答の割合が最低を示している学部の数値は一貫して低いことに留意すべきであるが、昨年度最高値を示している学部の数値が 5 項目とも過去最高の数値 (67%~76%) を示していたのに対し、今年度は残念ながら減少となった。

全学平均でみると、テキストに関する 5 つの質問への肯定的回答の割合は、平成 28 年度は 42%~49%の数値を示している。最も高かったのが「レポート作成の方法」、最も低かったのが「グループでの議論・討論や共同作業の方法」に関わる回答であり、これらの順位は昨年同様である。

図表 11 テキスト『なせば成る!』の活用状況

◆設問ごとの肯定的回答率（全学平均値と最も高い学部と低い学部の肯定回答率）

①テキスト「なせば成る!」から大学での勉強を

始めるための有意義な情報を得ることができましたか？

年度	全学平均	最高	最低
H28	43.3%	54.8%	21.7%
H27	48.6%	67.4%	14.1%
H26	42.6%	63.6%	15.3%
H25	44.0%	63.7%	10.7%
H24	45.1%	56.7%	13.6%
H23	43.2%	57.5%	23.0%

②テキスト「なせば成る!」はプレゼンテーションの

方法を学ぶのに役立ちましたか？

年度	全学平均	最高	最低
H28	44.0%	56.1%	26.6%
H27	49.4%	69.5%	15.6%
H26	42.3%	60.9%	17.9%
H25	43.0%	61.3%	18.9%
H24	43.9%	52.3%	13.6%
H23	43.9%	55.1%	18.2%

③テキスト「なせば成る!」はグループでの

議論・討論や共同作業の方法を学ぶのに役立ちましたか？

年度	全学平均	最高	最低
H28	39.8%	52.5%	21.2%
H27	44.9%	66.5%	12.5%
H26	37.8%	57.3%	16.7%
H25	39.5%	58.4%	15.6%
H24	39.8%	49.6%	14.3%
H23	37.9%	51.9%	15.2%

④テキスト「なせば成る!」はレポート作成の方法を

学ぶのに役立ちましたか？

年度	全学平均	最高	最低
H28	49.2%	63.5%	32.6%
H27	55.9%	76.2%	12.5%
H26	50.7%	70.3%	20.2%
H25	51.7%	68.6%	28.7%
H24	50.8%	66.3%	14.4%
H23	49.8%	65.9%	25.9%

⑤テキスト「なせば成る!」は調査や情報収集の

方法を学ぶのに役立ちましたか？

年度	全学平均	最高	最低
H28	42.3%	53.8%	20.7%
H27	48.3%	66.5%	12.5%
H26	41.1%	59.8%	15.5%
H25	41.0%	56.6%	18.2%
H24	44.0%	56.8%	12.6%
H23	39.5%	56.4%	19.1%

注：肯定的回答は「テキストが役立ちましたか？」の質問への回答のうち、「はい」と「まあそうである」の合計

スタートアップセミナー授業担当教員用アンケート（平成28年度版）

山形大学基盤教育評価改善会議

<p>記入上の注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 自由記述欄以外の回答は、いずれも右側の該当する欄を塗りつぶして下さい。 記入は、H又はHBの黒鉛筆を使用してください。 訂正は、消しゴムできれいに消し、消し残さずに残さないでください。 所定欄以外には塗りつぶしたり、記入したりしないでください。

記入例	
正	→ ●
誤	→ ☹

この調査は、スタートアップセミナーの実施状況を把握するとともに、テキストや教員用マニュアルについての要望をお聞きし、今後の内容改善に役立てるために実施するものです。ぜひともご協力をお願いします。集計結果の発表等においてはプライバシーを厳守し、担当教員の氏名を明らかにすることはありません。なお、問1と問2は、設問に対する回答として該当するものを1つ選んで下さい。また、裏面の自由記述欄（問3～6）にもどうかご協力をよろしくお願いいたします。

所属学部 学 科	
授業担当 教員氏名	

問1. 過去もスタートアップセミナーの授業を担当されましたか？

過去も担当した	<input type="radio"/>
今年が初めてである	<input type="radio"/>

問2. スタートアップセミナーの授業で、次の①～⑨の内容についてどの程度力を注ぐことができましたか。

	1.特に力を注いだ	2.力を注いだ	3.あまり力を注げなかった	4.ほとんど力を注げなかった
①学部・学科の特色や専門教育に関する学生の理解を深める。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②キャリア形成に関する学生の理解を深める。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③学生の共同作業能力、チームワーク能力を向上させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
④学生の討論や議論をする能力を向上させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑤学生のプレゼンテーション能力を向上させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑥学生のレポート作成・文章作成能力を向上させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑦学生の、文献・資料を理解し読み込む力を向上させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑧学生の、情報・資料収集能力を向上させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑨学生の、課題を見つけ探求する能力を向上させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

第3章 スタートアップセミナーアンケート

問3. あなたがスタートアップセミナーを担当するに際して特に工夫された点について教えてください。

問4. 共通テキスト『なせば成る!』についてのご意見やご要望についてお書きください。

問5. 教員用実践マニュアル『なさねば成らぬ!』についてのご意見やご要望についてお書きください。

問6. 最後にスタートアップセミナーについてのご意見を何でも自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

【資料1】

平成28年度スタートアップセミナーアンケート（授業担当教員）自由記述一覧

問3 あなたがスタートアップセミナーを担当するに際して、特に工夫された点について教えてください。

＜人文学部＞

- ・グループワークのメンバーを毎回変える。
- ・ウィキペディアの間違い探しを課題として行った。
- ・レジュメをいかに簡潔にわかりやすくつくることを意識した。
- ・教師が話すことよりも、学生が主体的に話すことを重視した。
- ・意見発表とディベートの能力をみがくよう指導した。
- ・課題図書を読んでレポートを課し、文書添削をした。（文書を書く力はついたようだが、出席率がとたんに悪化してしまった）
- ・ディベートやプレゼンを通じて、時間内に話をわかりやすくまとめる訓練。
- ・共通テーマとして各自1冊の本を選び、そこから派生的に調査を行うことを通じ、調査の習慣づけを行った。
- ・提出させた文章課題など、特に時間をかけて添削やコメントを付した。
- ・負担が課題にならないよう配慮したこと。
- ・「読む」時間を確保したこと。
- ・毎回、ワークショップの時間を作り必ず学生自身が手を動かし、作業をするようにした。
- ・グループワークを通して、プレゼンテーション力やレポートの執筆のポイントを強調した。その他、Eメールの書き方なども指導。
- ・グループワーク
- ・他人のレポートのための他人のテーマ選びは後の方にもってきて、社会的なテーマをグループワークの中心にしたこと。題材をコースにまたがるようなものにしたこと。
- ・グループ内の会話を演習中に多用させたこと。
- ・予定、構成を細かく予告していったこと。
- ・学生の人生設計の中で大学生活がどのような位置を占めるかを考えさせるようなセミナーにしたいと思った。
- ・自分で問題を発見できるようにすること。

＜地域教育文化学部＞

- ・複数のコースの先輩（卒業生）の学生時代の様子や仕事の様子を直接聞き、将来の職業のイメージや大学での生活・勉学の具体的な目標をもってもらおう。

- ・レポートの作成方補などを具体的・丁寧に（個別に）指導する。
- ・コースの専門性を生かした課題のテーマを設定したこと。
- ・受講者同士のコミュニケーションを深まるようにすること。
- ・レポートの書き方について、資料収集と関係づけたり、単位説明だけでなくそのつど、実践を行って理解を深めようとした。
- ・フレッシュマンキャンプでの山形市内地形・歴史巡検も活用して、山形市が扇状地の上にあることを理解できるように、地形図の読み方、断面図の作成、大学周辺の笹堰のマッピング等も行った。すんでいるところの地勢を理解できるような授業を試みた。

＜理学部＞

- ・学生の間、教員と学生の間の一感の醸成を心がけた。
- ・専門教育についての興味を高めること。
- ・学習スキル向上と学科への導入をリンクさせたこと。

＜医学部＞

- ・担当者が急に移動になったため臨時で担当することになった。学生には看護職者の心構えやこれからの学びに必要な考え方が理解できるように病院見学実習やその体験をプレゼンテーションするなど工夫した。様々なキャリアパスが考えられるような教授の考え方にオムニバスの講義を取り入れた。
- ・医師には何が必要か。
- ・スタートアップセミナーで勉強、討論した内容が将来どのように生きるのかを理解してもらおう。

＜工学部＞

- ・学生さんに自信と夢を与えられるように努力しました。
- ・社会人の一員であることを認識させること。
- ・学生が自分自身で取り組めるように、そうでなければ、取り組んでみることを強引に進めるように意識作りをした。
- ・用意された正解のない問題を考えること。
- ・自分（達）の意見を論理的に話し、他人（達）の話を理解して聞くこと。
- ・「社会人としての責任とマナー」
- ・グループワーク
- ・主体的テーマ設定
- ・調査情報収集
- ・プレゼンテーション
- ・学生をグループに分けて、協働して取り組む体制をはじめからつくった。

第3章 スタートアップセミナーアンケート

- ・システム創成工学科のアドミッションポリシー・特色にもとづいてライフワークにおけるゴール設定、謝意怪人としての将来像、本学部で学べる可能性のある研究分野等について、広く理解し、それによって自らのライフプラン及び大学での履修プランを描くことができるようになること。
- ・社会人基礎力（倫理・社会常識含む）の向上。

<農学部>

記述なし。

問4 共通テキスト『なせば成る！』についてのご意見やご要望についてお書きください。

<人文学部>

- ・インターネットリテラシーに関しての内容が古いように思う。インターネットを全面的に活用しつつ、情報の信頼性を見極める方法を学ばせることが必要。これは実際にインターネットで色々調べさせながら、その結果をチェックしていかなければならないと思う。一方で、強制的に本を読ませる（授業の中で）などをしないと、インターネットしか調べられないという学生も多い。
- ・情報収集の部分では、新聞の読み方を指導するような工夫をした方が良いのではないかと。
- ・使いやすくて良い。
- ・全体としては、多様な内容を網羅しているが、総花化にすぎるとも思う。
- ・必ず購入させるのであれば、4年間手元に置いて使えるような、より充実したものが良いかと思えます。
- ・P70～71の辞典の示し方について、①分中型と番号式の2つあること、②番号式は注と併用することを明記して欲しい。
- ・良く工夫されたテキストだと思います。

<地域教育文化学部>

- ・実践マニュアルとあわせた具体の内容の濃さが欲しい。特にレポートに関する部分は他大学でも詳細なマニュアルが作成されており、それらと比べるとテキストの内容はかなり乏しく感じます。
- ・レポートの書き方にあるサンプル以外のスタイルのものについて説明があると良い。論証型ではない課題を出される場合もありそうなので（要約型）
- ・実際にテキストを読み（音読させ）、ワークショップやプレゼンテーションについての意味や目標を、実施前に確認することができた。

<理学部>

- ・プレゼン、ディベート等の章を利用した。初めてこのようなことを考える学生の手引きとして使いやすかった。
- ・理系にはあわない。
- ・教員は使用したと思っているが、学生はそう捉えないかもしれない。

<医学部>

- ・参考資料として活用はできるが、教科書として取り上げるのは難しい。やはりテーマ（医学・医療論に則した）があり、そのテーマを勉強し発表するかという家庭で引き合いには出せるが、高校の授業のごとく1頁目から順番にという使い方は適切ではない。

<工学部>

- ・良くできていると思う。
- ・分担して後半を担当したので、今回は全く使用しなかった。
- ・不要。
- ・良くまとまっているが、これを読んでも学生の理解が深まるわけではない。あくまで副読本として位置にあるものと考えます。
- ・発刊に当たったところが、結城学長のままです。「なせば成る！」とは別に情報処理テキストも今年度版の山形大学のHPのURLが以前のままです。いずれも改訂が難しいタイミングもあるかは存じますが、新入生として入ってすぐ、最新でないテキストに出会うのは、大学としての信頼問題ともいえる気がして気になっております。

<農学部>

記述なし。

問5 教員用実践マニュアル『なさねば成らぬ！』についてのご意見やご要望についてお書きください。

<人文学部>

- ・レポートやディスカッション・ディベートのテーマもやや古くなってきている。もっと多様で、新しいものを示さないと高校での教育の差別化ができないのではないだろうか。
- ・グループワークやディベートのテーマをもっと増やすと良い。
- ・課題例などがあがっているのは便利だった。
- ・実際に使える課題が載っていて助かった。
- ・参考になった。

<地域教育文化学部>

- ・授業を進める上で、役に立つテキストだった。

〈理学部〉

- ・あまり見ていない。
- ・読んでいない。

〈医学部〉

- ・参考にはしているが、それ以上でもそれ以下でもない。スタートアップセミナーではマニュアル的対応は難しい。

〈工学部〉

- ・私は良くまとまっていると思う。
- ・不要。
- ・テキスト同様参考にはなるが講義をこのマニュアル通りに進めれば良いという位置づけの本ではないと思う。

〈農学部〉

記述なし。

問6 最後にスタートアップセミナーについてのご意見を何でも自由にお書きください。

〈人文学部〉

- ・人文学部の原稿の13～14人は、きちんとした個別指導（レポートや課題チェック、発表など）を行うためには、ぎりぎりの人数で有り、これ以上増やすことは、教育内容の低下につながる。また、興味・関心・学力等が広く異なる全学のクラスでの実施は、現場で指導する教員に取っては、いっそうの負担となり、教育効果も疑わしい。現行の学部別を維持してもらいたい。
- ・15コマ使う必要はなく、7～10コマで、1単位にしたほうが良いのではないか。
- ・学生の興味・関心がまた不明確な中で、テーマ選びに苦労した。
- ・どうしてもグループ作業になじめない学生もいた。
- ・スキル偏重で、「読む」という最も基本的な事柄が不足している。
- ・全学部混合方式については危惧の方が大です。別のところで、学部間交流ははかるべき。アドバイザーとセミナー担当者とは同一の法がよろしいはず。
- ・SU セミナーの学生間の交流がほとんどないようなので、もっと交流するチャンスをつくるべきだと思います。語学や体育のクラス分けと連動していないのでしょうか？

〈地域教育文化学部〉

- ・シラバス執筆依頼の前に科目担当者に「なせば成る！」を配布して欲しい。

- ・学生同士がお互い協働していく中で、クラス全体の士気が高まる効果があり、教員としても1年生をよく知ることができる授業だった。

〈理学部〉

- ・位置づけがわかりにくい。
- ・来年度のスタートアップセミナーがどうなるのか大変不安。（誰が、内をどのように担当するかなど）

〈医学部〉

- ・結城学長時代に始まって、ようやく定番となりつつある感があるが、何度ごとに学部・基盤教育員+諸役員より要望が入れられ未だに不安定な部分もある。15コマでは実施できる内容も限られているので、少し今後内容を整理していきたい。

〈工学部〉

- ・自分の所属学科の学生さんの顔を見ることができた点も良かったです。
- ・アンケートを2つ一緒に渡すことはやめて欲しい。
- ・グループワークは個人に温度差があり、成績評価が難しい。
- ・学生が「大学」になれていくには良いと思う。
- ・今年度で3年目になる「犯罪や不正に巻き込まれないためにワークショップ」ですが、初年度は集合研修までありましたが、今年度は、請求して初めてワークシートが頂けるというルーティンになっています。そのこと自体は、各担当教員が今後も工夫して進めれば良いとは存じますが、たとえば、自転車の問題は重大ポイントであるにも関わらず、道路交通法改定による、表現の変更などはご指示はありません。どちらが管轄しておられるかわかりませんが、全体でのご対応があれば幸いです。

〈農学部〉

記述なし。

スタートアップセミナー・アンケート調査(学生用)

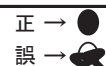
この調査は、スタートアップセミナーの授業改善のために、受講した学生さんの意見を伺うものです。
回答内容は成績評価とはまったく関係がありませんので正直にお答えください。

山形大学基盤教育評価改善会議

記入上の注意

- 1.自由記述欄以外の回答は、いずれも右側の該当する欄を正確に塗りつぶしてください。
- 2.記入は、H 又は HB の黒鉛筆を使用してください。
- 3.訂正は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
- 4.所定欄以外には塗りつぶしたり、記入したりしないでください。

記入例



◎あなたについて教えてください。

■ 所属学部を教えてください

人文 地教文 理 医 工 農

○ ○ ○ ○ ○ ○

■ 性別を教えてください

男 女

○ ○

◎以下の設問に次の5段階で答えて下さい。

5:はい 4:まあそうである 3:どちらとも言えない 2:あまりそうとは言えない 1:いいえ

		5	4	3	2	1
設問 1	この授業は大学での勉強の仕方を学ぶために有意義でしたか？	○	○	○	○	○
設問 2	この授業によって同級生との人間関係や協力関係を深めることができましたか？	○	○	○	○	○
設問 3	この授業によって自分が所属する学部・学科についての理解を深めることができましたか？	○	○	○	○	○
設問 4	この授業によって人前での口頭発表(プレゼンテーション)に慣れることができましたか？	○	○	○	○	○
設問 5	この授業によってグループでの議論・討論や共同作業に慣れることができましたか？	○	○	○	○	○
設問 6	この授業によってレポート作成の方法について理解が深まりましたか？	○	○	○	○	○
設問 7	この授業によって調査や情報収集の方法について理解が深まりましたか？	○	○	○	○	○
設問 8	テキスト「なせば成る！」から大学での勉強を始めるための有意義な情報を得ることができましたか？	○	○	○	○	○
設問 9	テキスト「なせば成る！」はプレゼンテーションの方法を学ぶのに役立ちましたか？	○	○	○	○	○
設問 10	テキスト「なせば成る！」はグループでの議論・討論や共同作業の方法を学ぶのに役立ちましたか？	○	○	○	○	○
設問 11	テキスト「なせば成る！」はレポート作成の方法を学ぶのに役立ちましたか？	○	○	○	○	○
設問 12	テキスト「なせば成る！」は調査や情報収集の方法を学ぶのに役立ちましたか？	○	○	○	○	○

◎スタートアップセミナーについての感想や意見・要望を自由に書いてください。

◎スタートアップセミナーの共通テキスト『なせば成る!』についての感想や意見・要望を自由に書いてください。

【資料2】

平成27年度スタートアップセミナー
アンケート（学生用）自由記述一覧

◎スタートアップセミナーについての感想や
意見・要望

〈人文学部〉（人間文化学科）

- ・クラス（というか先生）によって内容の差が大きいと思った。
- ・レポートやプレゼンなど、大学の授業の基礎となるような内容を取り入れてほしい。
- ・同級生の意見に、何度も触れることができ、とてもためになった。
- ・私のクラスのスタートアップセミナーでは、先生の話がとても退屈で、ワークも高校生レベルでした。もっと実践的な課題を出してほしい。
- ・みんなで意見を言い合う機会が他の講義ではなかなかなかったので、有意義な時間を過ごすことができた。
- ・グループワークが多くてよかった。
- ・レポート、プレゼンをする上での、基礎知識について楽しく学ぶ事ができた。
- ・クラスによってやる事が異なり、課題に大きな違いがでていたことは不満に感じました。実際、私は、レポートやプレゼンのためのパワポとレジユメをつくるのは、自分の向上につながったと思うので良かったです。
- ・少人数制だったので、コミュニケーションがとりやすかった。
- ・レポートは大変だったが楽しかった。
- ・できれば、もう少しレクリエーションを増やしてほしい。
- ・もっと、仲良くなりたかった。
- ・ホームルームのようなものがあつたのは大学生活に慣れていなかった私にとっては心強かった。また、これから必要になるレポート、プレゼンについて実践的に学べて良かった。
- ・大学生活の基礎を学ぶ有意義な授業だった。
- ・毎回みんなのスピーチが大変おもしろかった。
- ・難しいテーマについて皆で話し合ったり、他の班の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりすることで、新たな視点を得られるとともに、自分がどう思っているのかを改めて知ることができておもしろかった。各自の関心に基づくプレゼンもバラエティに富んでいておもしろかった。
- ・同じ学科の人と交流できる良い機会でした。
- ・友達と話しながら、大学生活について分かりやすくまとめられていたので良かったです。
- ・楽しく取り組むことができた。レポート作成に関する知

識を増やすことができた。

- ・スタートアップセミナーを通して、交友関係が広まったし、レポートの書き方とかプレゼンの仕方などといった、これからの大学生活に必要なことが学べてよかったです。
- ・発表、調査、コミュニケーションなど、社会に出てからも重要になることを学べた点がよいと思った。
- ・大変、自分の能力向上に役立ちました。
- ・レポートの書き方を学ぶことができてよかった。
- ・大学での勉強法への不安が減った。友達も増えた。
- ・初めて作成したレポートでしたが、授業を通して、その書き方やポイントなどを具体的に学ぶことができて良かった。
- ・十川先生が、とても良い方でした。
- ・自分の意見をしたり、人前で発表したりするという経験が、今までほとんどなかったので、一つ大きな一歩を踏み出せたと思う。
- ・人前で話す良い練習になった。
- ・非常に役に立ちました。
- ・1回1回内容が濃く、とても楽しかったです。
- ・発表の場が多く設けられていて、人前でプレゼンに慣れることができました。また、多くの人の意見を聞くことが出来て、さらに理解を深められた。
- ・学ぶ分野が多岐にわたっていて、面白かったです。レポートの発表の機会もあり、以前より慣れた気がする。
- ・少人数かつ、個性的な人が多くて、とても楽しい授業でした。「大学式」の勉強法の導入として、たいへん有意義でした。
- ・せっかくだから、パワーポイントを使った発表もしてみたかった。
- ・レポートの書き方が学べたのは良い。
- ・個人発表のための準備を重ねることで、情報の集め方やパワーポイントのまとめ方を知ることができた。
- ・レポートやプレゼンについて、いろいろ知ることができたとし、練習することもできたので良かったです。
- ・これから大学で勉強・発表するにあたって、必要となってくるプレゼンテーションの基礎となるようなものを学習できた。
- ・発表のあとに、みんなに感想や評価をもらうのがよかった。客観的に見れるので、今後どうしたらよいかわかった。
- ・有意義な授業だと思う。
- ・作法が学べた。
- ・大学での、基本的な学び方を知ることができた。また、自分の場合は、自分の学びたいことをはっきりさせる事ができた。
- ・個人発表の準備に重きを置いてほしい。
- ・レポート作成やプレゼンの実施のおかげで、大学の課題

第3章 スタートアップセミナーアンケート

になじむことができ良かった。

- ・意外と大変。
- ・大学で、学ぶにあたっての基礎を身につけられた。
- ・人前で話すことに、少し慣れた。
- ・各クラスでやることをそろえてほしい。
- ・これからの大学生活で、為になる授業で良かった。
- ・個人発表のみで、グループ発表がなかったのが、良かったです。

〈人文学部〉(法経政策学科)

- ・やる重要性が理解できなかったが、プレゼンがうまくなってよかった。
- ・先生によって、授業が全く違う構成になっているところにおどろいた。
- ・1コマ目から開講するのはつらい。
- ・有意義な授業で、とてもよかった。
- ・勉強になった。こらからの基盤になると思う。
- ・レポート、プレゼンなどの作り方を学ぶことができ、ためになった。
- ・もっと色々な人と、関わられるようにしてほしい。1コマ目から入れないでほしかった。
- ・役立ったこともありましたが、木曜日に必修が多すぎるので、バランスを考えてほしい。月曜や水曜など。
- ・今まであまり触れてこなかった、ディベートやプレゼンについての理解が深まって良かったと思う。
- ・レポートのやり方をしっかりと学べたので、これからも使っていこうと思う。
- ・レポートや、ディベートなど、大学でつかうようなものを講義してほしい。
- ・様々な経験をする事ができて良かった。
- ・毎回話し合いの内容がわかるので、興味をもてた。
- ・最高の授業でした。
- ・準備するのに時間がとられたが、自分の力で資料を作成することにより、少し能力を高められたと思う。
- ・課題はわかりかし多かったが、力をついたと思う。
- ・同じ学年の人と、協力して作業できたので良かった。
- ・自分でテーマを決めて、調査・発表するという経験ができてよかった。
- ・レポートの量が多かった。文章を書く力が上がったと思います。
- ・ある程度課題の量を、学科の中で統一したほうが良いと思う。
- ・担当教員によって、課題の量や内容が大きく異なるので、そのあたりはずれをなくしてほしい。
- ・達成感があった。
- ・能力の向上に、得るところがあった。
- ・なんだかんだで、楽しい講義だった。
- ・討論は、心臓に悪かったが楽しかった。

- ・レポートはきついが、力がつきました。
- ・1コマをやめてほしい。
- ・履修制限の枠の、無駄になるので対応してほしい。
- ・来年度から、学部を混ぜるとい話があるが、やめたほうが良い。教員の負担が増すと思う。
- ・木曜1コマを使ってまで、やらなくていいと思う。
- ・なくてよい。
- ・同じ学部学科の仲間をつくれたので、良かった。
- ・大学に慣れるための、1年前期にふさわしい内容だったと思う。
- ・ただ、レポートのかき方を教えるとかの授業ではなく、今後私たちに役立つようなこと(他の先生は、教えてくれないこと)を教えてくださいまして、ありがとうございました。
- ・1コマに設定されていると眠い。
- ・少人数で考えたり、話し合ったりする経験が1年からできるのがいいと思う。
- ・私の担当の先生がよかったから、私個人としては、総合すると良かったという結論になるが、正直、大学生にもなって、このようなものの必要性は全く分からなかった。
- ・プレゼンなどの発表の機会が多かったので、口頭発表に少しは慣れることができ良かった。
- ・必要な講義だと感じる。
- ・グループワークを、多く取り入れているところが良かった。3年生のゼミに向けた、良い練習になった。
- ・レポートの書き方が、簡潔に書かれていて良かった。
- ・大学と高校の学び方の違いを理解できてよかった。
- ・岩田先生のような、程よい課題の出し方だと、他の授業のかねあひ的に助かると思う。
- ・必修の授業を1コマ目に入れると、出席率の低下をまねくのでやめた方がいいと思う。
- ・話し合ったりするのが、多かった。
- ・おもしろかった。
- ・わかりにくい所があった。
- ・レポートの書き方や、Wordの使い方を学べたのはよかった。タイピングも少しは上達した。
- ・レポート作成の仕方を教えてもらい、とても役に立った。
- ・必要なスキルについて知ることができた。
- ・スタートアップセミナーが無ければ、知り合うことすらなかった人もいたと思う。この講義によって、様々なことを学べたし、友達もできた。
- ・レポートの書き方について、くわしく説明されたのが良かった。
- ・あまり必要ないと思う。わざわざ朝から来てやるほどの内容ではない。
- ・難しく、初めてのことでしんどかった。
- ・朝起きるのに役立った。
- ・グループ内での仲が良くないと、こんなにも授業がつま

第3章 スタートアップセミナーアンケート

らないものかと感じた。こういった人間関係が、人間関係が良好でない場合でも、しっかり対応しないとイケないと考えさせられたが、1限目の授業がこうであって、木曜日が大変憂うつであった。

- ・入学当初は、レポートの書き方などが全くわからなかったが、スタセミでのグループ活動を通して、わからないことを色々を知ることができたのでよかった。
- ・グループワークや、グループとして、一つの問題を考察していくことで、交支が深まり、視野や問題意識を広げることができた。
- ・レポートのかき方を、グループで学べたのが良かった。
- ・内容が、もう少し楽しいものでも良かったのではないのでしょうか。
- ・グループワークが多くあり、楽しかった。
- ・先生と話す機会が得られて、良い授業だと思う。
- ・課題が出なくてよかった。
- ・協力してできた。

〈地域教育文化学部〉(地域教育文化学科)

- ・落ちつく場となった。
- ・楽しかった。
- ・教授の研究に関して、知ることができた。
- ・研究について、しることができてよかった。
- ・「なせば成る！」を使わなかった。
- ・いろいろな人の話が聞けてよかった。
- ・研究について、詳しくわかってよかった。
- ・グループでの活動が多く、話し合いなどとても楽しく行うことができた。
- ・グループ学習がとてもためになって良かった。
- ・レポート課題をもう少し出してほしかったです。
- ・毎回とても楽しかったです。友達が増えて、これからの大学生活に役立つことも学べて、本当に良い授業だと思う。
- ・グループワークが楽しかったです。
- ・共同作業が多く楽しかったです。
- ・レポート作成にも慣れることができました。
- ・色々な人と話ができて、様々な視点を共有できました。
- ・レポートの書き方についての授業は、特に役立ちました。また、この授業で作成したレポートを参考にして、他の授業でも上手くレポート作成できた。
- ・グループ形式で作業することが多かったため、人見知りな自分は、少しでもそれが克服できたと思います。
- ・レポートの書き方を学べたことが、これからの大学生活のために、大きな収穫だったと思う。
- ・レポート書き方や、エクセルのやり方が学べたので良かったです。
- ・教科書を、もっと積極的に活用すべきだと思う。
- ・レポートの書き方について、知ることができてよかった

です。また、最後の方の授業で、卒業し、就職した先輩の話を知ることができ、とても勉強になった。

- ・情報処理で行った、WordやExcel等の演習と重複するところがあり、退屈な日があった。
- ・先輩の話をお聞きできる授業があってよかった。
- ・同じコースの人と、仲を深められました。
- ・もっと、みんなで協力して何かをする、ということをしたかった。
- ・レポートの書き方を、知ることができた。
- ・レポートの書き方が分かったのが良かった。
- ・就職した先輩の話を知って良かった。
- ・色々な先生の、体験談を聞ける時間があって良かった。もっと、様々な道を選択された先生のお話も聞きたかった。
- ・必要ないと思った。
- ・先輩の話を知るコーナーは、役に立った。
- ・大学で必要なレポートなどの書き方を学べて良かった。また、グループでの討論なども良かった。
- ・はじめの議論・討論で、とても理解が深まった。自分に必要な要素を見つけることもできた。楽しかった。
- ・これからの大学生活に、必要なスキルを学べたい機会だった。
- ・毎回、楽しく講義を受けられた。
- ・先生方によって、やり方が異なりすぎていると感じた。
- ・友人と仲を深めることができた。
- ・これから学生生活で、必要な基礎知識を学ぶことができたのでよかった。
- ・大学生活の中で不安だった、レポート関連がわかったのがよかった。
- ・レポートの書き方や、図書館の使い方、資料の探し方などが分かって良かった。
- ・課題が多いが、楽しかった。
- ・とても力になる授業だと思う。
- ・先生によって課題の量が違うのは、同じコースの中で不平等だと思う。
- ・課題が多すぎて、吐きそうだった。
- ・課題がかなり多かった。
- ・宿題が多い。
- ・たくさんWordを使い、慣れた。
- ・「なせば成る！」なしでも、とても楽しく有意義に授業受けられた。
- ・スタートアップセミナーで取り組んだ内容を振り返る、“授業日誌”を毎回書いた。最初は面倒だと思ったけど、日に日に文章力や表現力がついてきて、他の授業にも活かすことができた。段階を踏んだ学習ができて良かった。
- ・文章の書き方や考えの整理の仕方が、身についたように思う。
- ・レポート作成のための基礎知識を知れて、とてもよかった。

- た。
- ・同じコースの人と、たくさん交流できたので楽しかった。
- ・グループでの活動楽しかった。
- ・慣れないパソコンを使っただけの作業は大変だった。
- ・「なせば成る！」をひたすら 90 分間じっと座って読むのは辛かった。
- ・別に、なくても良かった授業だと思った。
- ・少し難しかった。
- ・ワードについて、知ることができよかった。
- ・プレゼンに関しては役立ったと思いますが、目的が分からないことがあった。
- ・同じコースの人と話して、仲が深まるので、良いと思う。
- ・プレゼン2人は、少なすぎる。
- ・レポートのかき方は、わかりやすかったですが…。
- ・プレゼンについて、知ることができた。
- ・造形芸術のスタートアップセミナーは、とてもためになった。
- ・レポート作成について、もっとはやくやってほしかった。
- ・お弁当づくりが、楽しかった。
- ・コースのみんなとの仲が深まったと思う。プレゼン大変だったけど、有意義だった。
- ・レポート作成の参考になった。

〈理学部〉(数理学科)

- ・良い授業だった。
- ・数学の倫理や証明など、面白い授業だった。
- ・とても楽しい授業でした。後期もぜひ取りたい。
- ・もっと有意義な。
- ・とてもためになりました。
- ・楽しかった。
- ・よく寝てしまった。
- ・山寺での研修は、非常に有意義な時間でした。
- ・教科書購入を、もっと必死に止めてほしかった。
- ・もう少し、声が大きいと聞きやすい。
- ・

〈理学部〉(物理学科)

- ・非常に難しい内容だけれども、これからのために覚えていく。
- ・なくすべき。
- ・全体的に難しすぎて、理解できたかさっぱりわからない。
- ・物理学史をすることは物理をこれから学ぶ上で良いと思うが、問題を通じ理解を深めないで。授業の理解がうすくなる。
- ・量子力学、面白かった。
- ・テストに関わる授業を求めている。
- ・物理の入門みたいなのはおもしろかった。
- ・「なせば成る！」の勉強をもうちょっとしたかった。

- ・難しい。
- ・必要ない。
- ・レポートの書き方は、さすがに教えてほしかった。

〈理学部〉(物質生命化学科)

- ・他の学科のように、校外での活動もあった方がよかった。
- ・プレゼンを通して、グループ内での議論・討論について学ぶことができた。
- ・化学についての、実験をする楽しさを知れたので良かった。
- ・化学的なプレゼンを初めてやっていたので、とても勉強になった。
- ・プレゼンについて、理解できたと思います。
- ・実験の時間を、もっと増やしてほしい。
- ・プレゼンのしかたを、大まかにでも学ぶことができたのでよかった。
- ・実験の時間が、とても楽しかった。
- ・授業自体は、とても有意義だったが、パワーポイントの基本的な操作でつまづくなど、初歩的な部分でもめることが多く、グループ学習はストレスがたまった。
- ・ためになることが、多かった。
- ・自分は、物質生命化学科の人間なのですが、他の学科の人々の話を聞く限り、スタートアップセミナーが楽な(課題、作業が少ない)ようでした。他学科と差がつくと思うと、一概に喜べない。
- ・設問8のような、大学での勉強を始めるための情報をもっと知りたかった。
- ・プレゼンの仕方や、グループでの議論の仕方が学べて良かった。
- ・グループでプレゼンテーションをつくるというのは、良い体験でよかった。
- ・自分たちで調べながら発表するという、良い機会を持つことができたと思う。
- ・初めてプレゼンテーションをする機会となり、反省課題が多く残った。この経験が無駄にせず、プレゼンテーションを上手くできるよう励みたい。

〈理学部〉(生物学科)

- ・工学部で、大学院の研究室を見学したと噂をきいたので、そのようなこともやってみたいと思った。
- ・レポートの書き方を学べて良かった。
- ・もう少し、全体と交流がしたかった。
- ・部分的に固まりがち。
- ・レポートや、パワポの作成、周囲とのグループワークなど、学べることが多かった。
- ・大学はじめには、良い授業だったと思う。
- ・パワーポイントを作る人物が固定化してしまったので、仕事量が不平等ではないと思った。

第3章 スタートアップセミナーアンケート

- ・ディベートがとても難しかった。
- ・人間関係を深めるためには、いい授業だったと思う。
- ・自己紹介が多かった分、みんなと仲よくなることができた。

〈理学部〉(地球環境学科)

- ・学部学科によって行っている内容があまりに違う。楽なところと、大変なところがある。
- ・今後のためのプレゼンのポイントや、レポートの書き方を学ぶのには、適切だったと思う。
- ・あまり、スタートアップセミナーをすることの意義が見つけられませんでした。ただ、先生とクラスメイトの仲が深まったことがよかった。
- ・大学での勉強のことから、メンタル的なことまで、幅広く学ぶことができた。
- ・相手に伝わりやすい文章の書き方が、身に付いた。日々の生活の中で、活かせるようになった。
- ・相手に伝わりやすい文章の書き方が身に付いた。日々の生活の中で、活かせるようになった。
- ・グループワークを、もう少し重視してほしい。未だに、一度たりとも話したことのない人もいるため、クラス内でのスタートアップは、まだ完全にはできていないように思える。
- ・得体の知れない緊張感があった。わたしだけだろうか…。
- ・レポート作成など、大学生にとって必須なスキルを、少しではあるが身につけられた。
- ・レポートの書き方の練習では、自分の書体がおかしいことに気付いて、改善することができてよかった。
- ・覚えたレポート作成方法や、プレゼン方法などを実行する場があったので良かったが、技能が向上した実感が無い。
- ・大学生活でのマナー、社会人としてのマナーを知れた、よい授業だったと思う。
- ・大学でどのようなことをすべきがよく分かった。
- ・学科の友だちと顔見知りになれる、良い機会でした。
- ・課題が多いと思った。
- ・もっと、同級生と協力する活動がほしかった。
- ・学科についての理解が深められた。特に、研究紹介では、これから受ける授業がどのような内容か、地球環境学科の研究室について、一層深めることができた。
- ・レポートの作成時に、注意することを聞いてよかった。
- ・教員の研究内容紹介により、学科で学べることの理解を深めることができてよかったと思った。
- ・レポートの作成時に、注意することを聞いてよかった。
- ・教員の研究内容紹介により、学科で学べることの理解を深めることができてよかった。
- ・大学での基礎となることが、学べて良かった。レポートについての講義はもっと早い方が良かった。

- ・他己紹介ではなく、自己紹介にしてほしい。他己紹介では他人に配慮しなければならず、不自由だと思う。
- ・文章のかきかた、まとめ方など、ためになった。
- ・課題が多くて大変だった。しかし、それ以上に大学生活において大切なこと(例えば、レポートの書き方、プレゼンテーションのやり方など)を学ぶことができたため、有意義だった。
- ・プレゼンや、レポート等、大学生活で必要なことがしっかりと学ぶことのできる、良い授業だったと思う。
- ・レポートの書き方など、いろいろなことを学ぶことができたのでよかった。フレッシュマンキャンプも学ぶことがたくさんあり、良い経験になった。
- ・学科でこれから学ぶ内容を、今のうちから理解できたのでよかった。
- ・グループワークをもっと増やしてほしい。

〈医学部〉(医学科)

- ・プレゼンにあまり意味がない気がする。
- ・グループワークがとても面白かった。新たな発見がたくさんあったし、グループのみんなで深夜まで議論を深めたり、作業したりして結束が強まった。
- ・発表が多かったので、人前でプレゼンすることには慣れたと思う。
- ・発表回数が多い。空きコマがなく班員が集まるのが困難で、特定の人の負担が結果的に多くなってしまった。人それぞれ意欲の違いがあるのはもちろんのことだが、負担に配慮してやるべきだったと反省している。
- ・ちゃんと討論しようという気が班になく、仕事の押し付け合いのようなことがあった。ネットのコピペでスライドを作っている班がほとんど。どのテーマも班のメンバーが一緒に、慣れ合いのような雰囲気の後半出てきてしまった。
- ・グループで協力して1つの発表を作ることで、コミュニケーション力、プレゼンする力がついたと思う。
- ・時間の総合的なプレゼンもレポートもやっつけ仕事みたいになっていて、本当にその作り方、発表の仕方、などはあまりうまく学べなかったように思う。それをどうにかすべき。
- ・発表内容をもっと自由に選びたいと思った。
- ・レポートは手書きに限定しないでほしいと。時間の浪費である。
- ・ヒボクラテスの誓いなど、医療論理について学ぶ機会になり、有意義だった。グループのまとまりがなく、しっかり討論できなかった。テキスト「なせば成る」を開くことが1回もなく、テキストとして成立しているのかよく分からない。
- ・話し合い→パワーポイントを使用しての発表が多すぎる。他の勉強の時間を削ることになり、たいへんだった。

第3章 スタートアップセミナーアンケート

た。

- ・授業内では全く時間が足りず、授業外に話し合いや意見をまとめ、発表に必要な資料をまとめなくてはならなかった。班のメンバーで都合を合わせて集まるのが大変だった。
- ・班がずっと一緒なのはつらい。
- ・どの発表がよく、どの発表が良いのか分からなかった。
- ・もっとディスカッションの時間がほしかった。
- ・あまり科学の理解には進みませんでした。
- ・授業内で討論、話し合いをする時間が短すぎます。
- ・全部で、3回発表しましたが、2回にしてもいいから増やして下さい。
- ・途中で班を変えてほしかった。
- ・課題や提出物の内容、提出月などについて、先生により設定、アナウンスの方法が異なり、とても分かりにくい。発表の仕方など指示が少なく、とてもレベルの低い授業だと感じた。
- ・もう少し話し合いの時間を取ってほしかった。
- ・学生にとってもっと身近なケースを用意した方が、取り組みやすかったと思う。
- ・はじめは、グループ替えを行うという話だったが、結局しなかったのが、グループ替えをしないならしなうと言っただけでよかった。
- ・グループの人数を多すぎないように設定し(5人程度)、きちんとグループワークとして行えたら、効果ももっと上がると思う。
- ・人間関係の形成という点では、とても良かった。
- ・班は課題ごとに変えてほしい。

<医学部> (看護学科)

- ・プレゼンテーションやレポートについて学べて良かった。
- ・眠かった。

<工学部> (機能高分子工学科)

- ・今後使うであろうスキルを身に付けるのに役立った。
- ・グループでプレゼンをどうやって上手くやろうか、少ない回数ではあったが、議論したり、調べたりする時間は、とても有意義な時間でした。レポートの作成方法も、自分で作成することや、他人を参考にすることができたおかげで、多くのことが学べてとても良かった。
- ・レポート作成や、プレゼンの仕方など、今後参考となる力を養うことができた。
- ・プレゼンテーションのやり方や、注意点を学ぶことができたし、レポートのあり方や書き方も、これから注意していきたいと思った。
- ・プレゼンがどのような物か分かった。
- ・生徒によって学習効果に差があり、ムラが大きいと思う。

- ・プレゼンテーションの基礎を学べたことは、今後の大学生活でとても役立つことだと思う。
- ・プレゼンテーションを学べた事は今後確実にためになると思うので、この授業を受講できて本当によかった。
- ・あまり「なせば成る！」を使わなかったのが、有効活用できたかなと思いました。
- ・プレゼンの準備が、どれだけ大変かよく分かった。
- ・レポートを書く参考になった。
- ・プレゼンテーションに慣れることができたと思う。
- ・教科書はあまり利用しなかったのが、必要ないと思う。
- ・プレゼンテーションについて学べて、より自分の力になれた気がする。
- ・プレゼンのやり方や、資料の作り方が少しわかった。
- ・プレゼンやレポートについてしっかり学べたのはとてもよかった。
- ・グループワークとかたのしかった。
- ・前で話すのは緊張しました。
- ・これから必ず経験するプレゼンや、レポート作成の方法について学ぶことができて、うまくこれからできるようにしていきたいと思う。
- ・学科の流れ等がしれて良かった。プレゼンについては教をこなしていないため、とてもやりづらかった。
- ・少々いらない授業があったと思う。
- ・学科について色々知ることができて良かった。
- ・プレゼンではとても緊張したが、良い経験ができた。
- ・良い授業、大学生活に役立ったことを学べた。
- ・プレゼンなどに慣れることができて、とても良い講義になって良かった。
- ・プレゼンのやり方やマナーなど詳しく知れてよかった。
- ・スタートアップセミナーは、数少ないプレゼンテーションの練習の機会を与えてくれて良かった。レポートの作成方法を学ぶことができてよかった。
- ・みんなの前で発表できる経験があって良かった。
- ・グループ活動は難しかった。
- ・意見や知識を共有するのは大変だった。
- ・PCを使った作業の8割くらいをおわされたので技術が向上した。
- ・プレゼンの大事さがよく分かった。
- ・プレゼンテーションの雰囲気が何となくわかった。
- ・レポートの発表は今後必ずやっていくことなので、その学習ができたのはよかった。
- ・みんなにプレゼンテーションさせるというのは良いと思った。
- ・他の授業で役に立った。
- ・プレゼンテーションのやり方について勉強できたので、とても良かったと思う。
- ・授業では教えてもらえない、プレゼンテーションの準備、発表について学べたので良かった。

第3章 スタートアップセミナーアンケート

- ・プレゼントとか話し合いとか大学で大切なことを学べて良かった。
- ・プレゼンさせるのは非常に良かった。
- ・プレゼンテーションはとてもいい経験になった。
- ・「なせば成る！」を使わなかった。
- ・他人と協力し合う力や、人前でプレゼンテーションする力が身についたと思う。

<工学部> (物質化学工学科)

- ・グループでの討論は、楽しかった。
- ・班で1つのテーマについての議論をするのがたのしかった。
- ・班で1つのことを話し合うことで、スムーズに進行できたと思う。
- ・中身がうすい。
- ・もうちょっと、面白い内容がやりたかった。
- ・研究室紹介をもっと多くしてほしい。
- ・今回じゃなくてもよいが、話し合うメンバーを変えてほしかった。
- ・もっと色々な人の意見が聞きたい。
- ・とても良い授業だと思う。
- ・レポート作成方法など、大学に入ってからしなくてはいけないことの基礎的なことがわかった。
- ・グループ演習を楽しめた。
- ・本当に時間の無駄だった。なぜこのような無意味な講義が存在するのか理解に苦しむ。得られるものは虚無感のみである。一つ言えるのは、この講義を無くせば、山形大学の質は向上するとは言えないにしろ、悪化することはまず無いであろう。
- ・農学部みたいに、6月くらいで終わらせてほしい。
- ・それか、集中講義くらいでいい。(それほど時間をかけるものでもないと思うから。)
- ・後半の講義で研究室紹介をしていただき、1年生のうちから専門について少し深く知ることができたのでよかった。
- ・グループでの議論、討論の方法を学ぶいい機会になった。
- ・無茶ぶりがひどい。

<工学部> (応用生命システム工学科)

- ・自分のしたい研究に関わることや、それ以外にも知識を得られたので良かった。
- ・班活動が多く楽しかった。
- ・楽しかった。
- ・グループでの議論や共同作業、人前でプレゼンテーションをするなど、社会で必要不可欠な能力を身に付けるような講義でした。とても勉強になり、ためになりました。

- ・同じ学科の人と仲良くなれた。
- ・グループでの活動が個人的にはとても楽しかった。
- ・面倒だと思ったけど、プレゼンはこれからの練習によかった。
- ・自分の興味のある分野について、調べるきっかけを貰えたのは嬉しかった。
- ・興味のある研究について調べていく上で、将来どういう研究者になるか考えるようになった、良い機会となった。
- ・この授業により、人前でのプレゼンに慣れることができた。
- ・プレゼンテーションを今まで行ったことがなかったので、今回のプレゼンは良い練習になった。
- ・もっと発表前から、スピーチの練習をすればよかった。事前の準備をおこたってしまった。
- ・プレゼンに関しての、様々な経験をするのができた。失敗も、成功も自分のものにしていきたい。
- ・プレゼンテーションの基本が学べてよかった。
- ・他の授業と比べると、得られるものは少なく、正直、自主学習をさせてもらった方が有意義だと思った。

<工学部> (情報科学科)

- ・情報倫理について、学んだことを忘れないようにしていきたいと思った。
- ・大学でやることを、理解できた。
- ・先生が途中でかわるのは、やめてほしい。
- ・もっと、技術を教えてほしい。
- ・この授業で、プレゼンテーションに少し慣れることができた。
- ・クォーター制でやっていいと思う。
- ・この授業の必要性を感じない。
- ・これから出ていく厳しい世界のことを、大学生としてしっかり意識することができたと思う。
- ・事前の資料が用意されており、内容も充実したものになっていたので良かった。
- ・グループ討議の授業は難しかったが、他の人から考えもしない意見が出てくる等、楽しいことがあった。
- ・仲間と討論をすることによって、内容理解が深まりました。
- ・学生がもう少し動かないと、眠くなってしまう。
- ・大学で勉強していく上で、必要なことを学べる良い時間だと思った。
- ・「なせば成る！」は、いらぬ。
- ・無意味とはいわないが、学ばせる方法がまわりくどく分かりにくい。
- ・15回目の情報科についての講義がためになったと感じた。
- ・「なせば成る！」をほとんど使っていないので、別にいらぬ。

第3章 スタートアップセミナーアンケート

- ・大学卒業後の事も考えられたので良かった。
- ・座学だけでは学べないことを体験できたと思った。

<工学部> (電気電子工学科)

- ・毎週レポートは、さすがにきつかった。
- ・プレゼンテーションしたかった。
- ・板書が見づらい。文字が小さかった。
- ・レポートの書き方や、ディスカッションについて知ることができたのは良かった。
- ・グループワークを通して、自分の意思を伝えることの難しさを知った。
- ・「なせば成る！」の教科書を使わないなら買わせないでください。お金がもったいない。
- ・「なせば成る！」を使わなかったのも、買った意味。
- ・「なせば成る！」を使わないなら、最初に使わないと言うべきだ。
- ・毎週のレポートが辛かった。
- ・レポートの作成方法と、回路理論を学べたことはとても良かった。
- ・内容は良かったので、周囲の環境に対して、何らかの対応をしてほしい。(席の入れ替えだと、目の良くない人も後ろに行くことがある)
- ・電気回路の説明が、少しわかりづらいというか、説明が足りなくて困っている。
- ・あまりにも印象に残らない授業が多かった。
- ・この先の大学生活に生かせることが多かった。専門分野の理解が深まった。
- ・途中で方針を変更するのは構わないが、せっかく買ったテキストを使った講義をしてほしい。
- ・大学生活を、スムーズに始めることができそうな気がするので、良かったと思う。
- ・「なせば成る！」を使わない場合は、教えてもらい。
- ・普通、講義のような内容をやる場合、できるだけ丁寧に教えてほしい。
- ・席の指定はいいと思った。
- ・レポート作成の手順を学べたことは、有意義だった。
- ・電気電子についての授業を取り入れてほしい。
- ・「なせば成る！」を、買わせた意味がないと思う。
- ・レポート提出しても、どこが悪くてどこがいいのかを書いて返してくれないと、あまり意味がないと思う。
- ・「なせば成る！」は、使わないなら買わせないで。
- ・最初から、電気回路について講義してほしい。
- ・レポートの課題が、レポートというより作文だった。
- ・グループワークで、傾聴が禁じられる傾向があったのでやりにくかった。
- ・テキスト「なせば成る！」を使わないのなら、予め言うてほしい。
- ・テキストを使わなければ、買わせないでほしい。
- ・同じ学科の友だちをつくる、いい機会になった。
- ・電気電子工学の基礎である、回路を学べてよかった。
- ・毎回レポートが出て、レポートの書き方がだいたい分かってきた。
- ・課題が多く、大変だった。
- ・私の学科のスタートアップセミナーは、休講が無くて良かったと思った。
- ・興味深い話を聞けたので良かった。
- ・講義内で、「なせば成る！」を使う機会がなかったのも、使う機会を増やしてほしい。
- ・人前で話すのに、慣れようとしたけど無理だった。
- ・高校までと似た感じの雰囲気だった。いろいろ強制されたし、もっと自由な感じの方がいい。自由な発想が出ない。
- ・「なせば成る！」を一度も使わなかった。読んでいない。
- ・席が変わるとてもよかった。
- ・「なせば成る！」を使っていない。
- ・成績評価の点数、配転をしっかりとシラバスに明記してほしい。
- ・他の講義に比べてかなり重かったが、その分有意義であった。

<工学部> (機械システム工学科)

- ・自分はまだ成長しなければならない。
- ・機械技術者となる身の自分に、その自覚を与えてくれたので、有意義な時間となった。
- ・教授のお話を聞いたところが良かった。
- ・ほとんど授業では使わなかった。
- ・ほとんど使わなかったので必要性を感じなかった。
- ・各自で買う必要はなかったと思う。
- ・ディスカッションの内容をもっと具体的にしたいと思う。
- ・プレゼンはこれからは必要になってくると思うので、もっと練習をしたかった。
- ・ためになった。
- ・スタートアップセミナーの授業が分かりやすかった。
- ・プレゼンテーションでは、グループ内での親交や、大人数を前にした発表など、将来必要な力を身につけられた。
- ・ためになる講義だった。
- ・グループで、スライドの作成を初めて行ったので、至らない所が多かったので、次からは注意していきたい。
- ・テキストを授業でまったく使わないのに買う意味があったのでしょうか。
- ・グループでみんな積極的に授業を受けました。

<工学部> (システム創成工学科)

- ・学科や企業について話を聞いたことは、これからの参考になった。

第3章 スタートアップセミナーアンケート

- ・いろいろな教授の話を聞いてよかった。
- ・いろいろな話を聞いて、よかったと思う。
- ・専門分野を選ぶ際の参考になった。また、とても有意義な話を聞くことができた。
- ・各分野のセミナーがあったのは良かった。
- ・班員と共同作業をすることで、協調性が磨かれた。

〈工学部〉（バイオ科学工学科）

- ・研究内容を聞いてよかった。
- ・研究室について、半年をかけておしえてくれたのは、大学に通うモチベーションがとてもあがった。
- ・テキストに書いてあることをやるのなら、買う必要がなかったような気がする。スライドやプリントで十分だったと思う。
- ・研究室を選ぶ時になったら、この授業のことを思い出し、参考にしたい。
- ・研究室の紹介をしていたのが良かった。
- ・研究室の説明を詳しく聞いて、参考になって良かった
- ・プレゼンの方法、レポートの書き方などを学べてよかった。
- ・レポートの作成方法が、よく分かりました。
- ・課題が少なく、比較的マイペースでできたなと思った。
- ・グループワーク的なのがあってもいいと思った。
- ・でも、楽しかった。
- ・大学に必要な能力や、研究室について知ることができたのでよかった。
- ・研究室紹介で、これからやることについて理解が深められた。
- ・実際にレポートや課題をやってみた方が、実力が上がるのではと感じた。

〈農学部〉（食料生命環境学科）

- ・同じクラスでもスタートアップセミナーがなければ、全く交流がないままだったと思うのでよかった。
 - ・午後の授業であったので眠たくなってしまった。午前の授業にしてほしい。
 - ・グループワークを多くできたので、いろいろな人たちと関わることができ楽しかった。
 - ・クラスのメンバーと親睦を深めることができた。
 - ・グループ活動が非常に楽しい。
 - ・教室で話し合うよりも外の開放的な空間の方がよい。
 - ・レポート作成についてはもっと早い段階でやるべき(1, 2回目あたり)
 - ・発表があまり上手にできなかったのが、今度機会があれば声を大きくして、人の目を見ながら発表したい。
 - ・必要ないと感じた。
- スタートアップセミナーを通して、同学部のたくさんの人と話したりする機会ができて、授業はとても楽しく受

けられました。

- ・グループでの活動が多くて楽しかった。
- ・普段話すことがない人と、関わるができたと思う。
- ・プレゼンをやれたことが一番大きかった
- ・クラスで友達が増えた。
- ・レポートの書き方を知ることができてよかったです。
- ・レポートの作成の仕方やプレゼンの仕方について学べて良かった。
- ・先生はアドバイスするとき、もう少しソフトに言えばよいと思う。
- ・クラスの人達と多少仲良くなれてよかった。
- ・クラスのメンバーと交流を深めるという点は、とても良かったです。
- ・基盤などよりはアクティブだった。
- ・レポートの書き方にとっても不安があったけれど、このスタートアップセミナーでレポートのルールなどが知れて書きやすくなった。
- ・グループワークを何回もして勉強になった。
- ・なかなか有意義だった。
- ・もう少し「なせば成る」を使ってほしかった。
- ・クラスの人と交流ができてよかった。
- ・あまり使わなかったイメージがある。
- ・クラスの人と仲良くなれた。
- ・レポートの作成方法がわかった。
- ・どうせやるなら自由参加でもっとマシな先生を用意してほしい。
- ・やる意味がなかった。
- ・大学生活の基礎を学ぶことができた。
- ・90分という時間を持って余しているように感じられた。
- ・やる気のある先生の授業を受けたい。
- ・短期間でレポートやプレゼンテーションなど役に立つこと学べた
- ・グループの討論が新鮮でおもしろかった。
- ・悪くない。
- ・班を何回も変えていろいろな人としゃべれるようにした方がいい。
- ・冷房を使用して部屋の温度をもう少し下げてほしかった。
- ・レポートの書き方やディベートを体験することができてよかった。
- ・学科の先生の授業を受けられてよかった。同じ学科でもクラスの人と仲良くなれた。
- ・大学に必要なことを学ぶためには不可欠な授業であった
- ・授業の説明をもっと簡潔にするべきです。
- ・話を聞くのがほとんどだったので、それをもっと実践したりする機会を増やした方がいいと思った。
- ・レポートの時の言葉使いが分かった。

第3章 スタートアップセミナーアンケート

- ・パワーポイントが多くてねむくなった。
- ・グループのメンバーを変えたら、もっとクラスの人と仲良くなれると思う。
- ・あまり実践的ではなかった。
- ・グループワークでみんなと意見を言い合えてよかった。
- ・学部の人と関わってよかった。
- ・講義そのものはとてもよかった。社会生活を行う上での表現方法が増えた。
- ・大学の授業に慣れる、同じ学部の友達ができるという点で、楽しくてよい授業だと思う。
- ・学部内で友達を作るいい機会になった。
- ・レポートや発表など、これから役立つことを学べて良かった。クラスの人と中を深められた。
- ・テキストをあまり使わなかった。
- ・難しかった。
- ・あまりためにならない。
- ・テキストがいらなかった。
- ・楽しくない。
- ・農学部の先生や同学年の人との交流の機会となった。6月までに集中して行えるところがとてもよいと思う。
- ・グループワークに慣れることができた。
- ・説明が長かった。
- ・農学について知識が深まったと思います。グループワークも仲が深まってよかったと思う。
- ・途中から空きコマになるというのがよかった。
- ・レポートやパワーポイント作成について、これから必要になってくることについて役に立った。
- ・レポートの書き方、プレゼンテーションの手順を理解することができた。
- ・眠かった。図書館でのパソコンセミナーに意義を感じられない。
- ・ディベートやプレゼンなどはいいい経験になったと思う。農学部の週2時間のペースでやっていくのは作業もはかどるし、前期の後半は何もなくなるのでこのままやった方がよいと思う。
- ・これからの大学生活の勉強で必要なことを学ぶことができた。
- ・グループワークをもっとたった方がいいと思う。
- ・同じクラスの人々とグループワークを通じて交流できるという点や、大学での勉強法を学べるという点では良いと思う。しかし、教員側がそのことをあまり理解していないように思うし、やる気が感じられない。実際、説明がいい加減だったり、放任なところもあった。この授業自体は有効だと思うので、もっとしっかりした指導をお願いしたい。
- ・2コマ分はいらないかもしれない。
- ・テキストを買った意味がなかった。
- ・知り合いが増えてよかったです。スタートアップセミナー

ーが早く終わってしまうと、農学部とのつながりが薄れてしまう気がしています。

- ・現状維持
- ・レポートの書き方など大事なことを学んだ。
- ・レポートの書き方の授業をもっと増やしてほしい。
- ・これからの大学生活で必要になることをいろいろと教えていただきました。とてもよい授業だった。
- ・初めてのレポート作成に役たつことをたくさん学べた。
- ・これからの大学生活に役立つと思う。
- ・レポートやパワーポイントの作成の仕方が理解できた。
- ・話したことがない人と話すことができたのでよかった。レポートの書き方など、これからの大学生活に役立つことを学ぶことができた。
- ・「なせば成る！」の順番を変えてやったのはよかったと思う。

◎共通テキスト『なせば成る!』についての感想や意見・要望

<人文学部> (人間文化学科)

- ・分かりやすかった。
- ・文章の日本語に少々違和感がありました。表現の変更をお願いします。
- ・レポートの書き方で困った時にとても参考になった。
- ・良いと思う。
- ・レポートの作成法がとても参考になりました。
- ・お値段が・・・。
- ・内容に対して不満な場所はなく、知りたいことがほとんど載っていたのでこれからも使うことになると思う。
- ・レポートを書く際に、見ながらできたのでよかった。
- ・あまり活用しなかった。
- ・今のままでいいと思う。
- ・ほぼ読んでいないので読む機会を増やしてほしい。
- ・見やすく分かりやすい内容でした。
- ・とても読みやすかったです。
- ・レポートを書く上での心得などが役に立ちました。
- ・レポートの模範例(全文)を1つか2つ載せてあったら助かると思う。2000字~4000字ぐらいのレポート。
- ・既に知っていることばかり書いてあり、本当に知りたいことは書いてなかったように感じる。レポートについては出だしに書く自分の名前やタイトルの部分と結びの引用部分あたりを1このテンプレとして例に見せて欲しかったと思った。
- ・表紙は緑色のほうが山大のテキストって感じでいいんじゃないでしょうか。
- ・正直、金の無駄。
- ・長い文章の所が読みにくいです。
- ・無料もしくは低価格で出した方がよいのではないかと

第3章 スタートアップセミナーアンケート

- ・思います。
- ・基本的なことの確認に役立ちました。
- ・非常にわかりやすく、プレゼンテーションの手順やレポートの書き方が書かれてあったのでとても良い教科書だと思う。
- ・とても分かりやすかった。
- ・もう少し詳しくレポートの書き方について書いてほしい。
- ・分かりやすかったです。

〈人文学部〉（法経政策学科）

- ・必要性がいまいちわかりません。高いです。
- ・あまり使いませんでした。
- ・ほとんど使っていないので買わなくてもいいと思った。
- ・聞いた覚えが一度しかない。
- ・知らない。
- ・見やすくかつわかりやすかった。
- ・レポートやプレゼンの方法が詳しくのっていて助かった。
- ・項目ごとに理解しやすく重宝した。
- ・教科書をあまり使わないのが残念。わかりやすかった。
- ・まとまっていてよかった。
- ・分かりやすかった。
- ・テキストを見れば知りたいことはたいてい書いてあったのでとても便利だった。
- ・わかりやすくていい参考書でした。
- ・もっと授業中に読む機会を与えてほしい。
- ・必要ない。ほとんど使わなかった。
- ・あまり使う用途がなかった。
- ・あまり使わないと思った。
- ・あまりためになったとは言い難い。
- ・必要ないと思う。
- ・教科書知らない。
- ・大学生活が始まる上で、いい教材だと思う。
- ・ディベートなどの課題を出されたときに、流れや大事なポイントなどが詳しくかかれていて助かりました。
- ・色々な作業をするのにとても役立ったと思う。
- ・文章表現が分かりやすく適切でした。
- ・助かりました。
- ・よい本だと思う。
- ・レポートの書き方が分かった。
- ・レポートを作成する上で、とても参考になった。
- ・レポート作成方法やプレゼンの仕方などについて細かく書かれているなどと思います。
- ・デザインは良い感じです。
- ・あまり必要性を感じなかった。
- ・あまり教科書として必要だったとは思えない。
- ・レポート作成のヒントが得られてよかった。

- ・ちょっと助かった。ちょっと。
- ・ネーミングセンス（笑）
- ・ところどころ良かったけど他はイマイチためになった感じはしなかった。
- ・もっと中身を濃くしてほしい。
- ・1つのテーマではなく複数のテーマで具体例を作してほしい。
- ・とても役に立ちました。これからの使いたいと思います。
- ・とても良かったです。
- ・大学についてよく分かる。
- ・それぞれの項目ごとに詳しく書いてあって分かりやすかった。
- ・分かりやすくまとめられていて、特にやり方とかを順序づけされていたりしたのがとてもわかりやすくて見直しや予習に便利だった。
- ・山形大学の先生方が執筆なさっているのが良いと思いました。内容も大変参考になった（特にレポート）ので、今後も活用していきたいです。
- ・レポートの書き方の細かい部分のやり方などがあまりわかっていなかったのが指南書として役に立ちました。
- ・しっかり読み込めばとても良い書籍だと思いました。
- ・他で教わる機会が少ない内容だったので良かったと思います。
- ・とてもためになりました。

〈地域教育文化学部〉（地域教育文化学科）

- ・レポート作成する上で役に立ちました。
- ・白黒だけで少しわかりにくい。
- ・ためになりました。
- ・レポートのつくり方をしっかり把握できた。
- ・読みやすいテキストだとは思いますが、中身が濃すぎて半期では扱いきれないと思う。少しずつでもすべての内容にふれてほしい。
- ・わかりやすい教科書だった。
- ・山形ならではの表現があり、おもしろかった。
- ・具体例があって手順がとても分かりやすく見やすかったです。
- ・便利。
- ・なせば成るは授業で使用しなかったため、まだあまり読んでません。レポートの書きや討論の仕方などくわしく知るために、この夏活用したいです。
- ・読めば分かる。
- ・取り立ててはありません。
- ・あまり使ったことがないのでよくわかりません。
- ・特に使わないと思う。
- ・あまり読まなかった。
- ・レポートやプレゼン。これから必要になってくるのがたくさん書いてあってよかった。

第3章 スタートアップセミナーアンケート

- ・わかりやすくかいてあったのでよかった。
- ・あまり使用した印象はない。買わなくてもよかったのではと思う。
- ・「なせば成る！」は一つ一つがわかりやすく書かれていたのでよかった。
- ・授業で使う機会がほとんどありませんでした。
- ・必要性がない。それならレポート作成に特化した資料となる本を自分で買った方がよいと思った。
- ・テキストをほとんど使用しなかったため、必要か疑問。
- ・「なせば成る！」のテキストをそこまで有意義に活用されていなかった。
- ・レポートの書き方に参考になるまとめ方だった。
- ・思ったより参考にならなかった。
- ・このテキスト無駄。
- ・あまり使うことがなかった。

<理学部> (数理科学科)

- ・読んだり使ったりしてません。
- ・一回も開かなかった。
- ・開いてないので分からない。
- ・使わなかったのでいらないと思う。
- ・なぜ使わなかったのですか。
- ・使わないのでかわなくてよい。
- ・使わないなら買わせないで。

<理学部> (物理学科)

- ・使っていないのでわかりません。
- ・なせば成るは買う必要ありましたか？
- ・ほとんど使いませんでした。
- ・授業中に読んで終わりだったので何もない。
- ・理学部は必要ないと思う。

<理学部> (物質生命化学科)

- ・全然使わなかった。
- ・あまり役に立たなかった。
- ・レポートの書き方に慣れた！
- ・ほとんど開いていないので分からない。
- ・レポート作成に役立った。
- ・ハンディサイズにしてもらえると持ち運びしやすいと思う。
- ・分かりやすかった。
- ・あまり読んでいないので、使わなくてもいいように思えた。
- ・レポートの書き方を知るのに役立ちました。

<理学部> (生物学科)

- ・分かりやすく参考になった。
- ・読む機会はほとんどありませんでした。

- ・ざっくりしてる。
- ・必要なかった。
- ・聞いたことがない。
- ・購入不要。
- ・あまり使用していない。
- ・いるんですか？こちらは先生がレポート作成マニュアルを作ってくれました。
- ・あまり使う機会がなかった。
- ・先輩が「授業で一度も開かなかった」とおっしゃっていました。

<理学部> (地域環境学科)

- ・ほとんど使わなかったが、使った時には良くまとめられていたので分かりやすく便利だと思った。
- ・分かりやすいテキストだと思うので授業内でより取り扱うと良いと思った。
- ・結局あんまり授業では使用しなかったため、授業でも使いやすい内容にしたらより良いと思います。
- ・レポートの書き方に対する記述をもっと増やして欲しい。また、全体的に文章の引用が多いわりには引用が最低限すぎて引用元の文脈が伝わりにくいと感じた。
- ・プレゼン、レポートのことが分かりやすく記されていて役立ったと思う。
- ・わかりやすいが、内容が薄いような気がする。
- ・いらないと思った。
- ・大学生が学ぶべきことがしっかり表されていて分かりやすかったと思う。
- ・読んでもためにはなるが、授業での先生の説明の方がわかりやすい。
- ・必要なことが書いてあると思う。
- ・多くの要素が簡潔にまとまっているよい教材。
- ・いいと思う。
- ・必修で買わなければならないのであれば、もっと値段を安くしてほしい。

<医学部> (医学科)

- ・レポートの書き方は参照したが他ではあまり使わなかった。
- ・テキストは必要ないと思われます。
- ・使わなかった。
- ・一度も使わなかった。
- ・必要ないと思います。
- ・授業で使わないので必要ない。
- ・あまり参考にはしなかった。
- ・使わなかったのでわかりません。
- ・授業で使うと思っていたが使わなかったので、読もうと思わなかった。
- ・必要ありませんでした。

- ・買ったけど読んでないです。
- ・使わなかった。
- ・分かりやすかったです。
- ・あまり使わなかった。
- ・購入する必要はないと思う。なくても十分に学ぶことができた。
- ・特に使用しませんでした。
- ・いらないと思う。買ってもし使い方がわかってない。
- ・あまり必要ない。
- ・授業自体で使わなかったため必要ないと思う。
- ・スタートアップセミナーでほとんど使わなかったから、もう少し使うような授業がいい。
- ・全く使っていません。他の基盤の授業でプレゼンなど参考になるということで中身は少し見ましたが、そこまで参考にはなりませんでした。
- ・プレゼンの仕方などを学ぶことができた。
- ・テキスト「なせば成る！」を使った記憶がない。テキストが良くないという訳ではありません。

〈工学部〉（機能高分子工学科）

- ・例文など掲載されているので参考にしやすかった。
- ・かんたんな例になるレポートをいくつかのせてほしい。
- ・レポート作成に大変役に立った。
- ・レポートの書き方がよく分からなかった。
- ・正直、わかりにくい。
- ・文字が多い。図を増やしてほしい。
- ・いろいろ初心者にとって分かりやすいレポートの見本などをのせてくれればもっと良かった。
- ・パワーポイントの例などや、レポートの例を載せてほしい。
- ・レポート、プレゼンの手順がよくわからない状態からスタートだったので役立った。
- ・いいテキストです。
- ・大学で大切なレポートやプレゼンの基礎を学べてよかったと思う。
- ・べつになくていい。
- ・必要ないと思った。
- ・レポートを作るとき非常に参考になった。
- ・とても読みやすく内容もすんなりと入った。
- ・正直、先生の説明だけで良いと思う。
- ・なくてもいいんじゃないかなと思いました。
- ・使わない部分のテキストはなくて、毎回プリントを配布してもらえらるほうがいいです。
- ・あまり見る機会はなかった。
- ・あまり使うことがなかったので、詳しくは分かりませんが、為になることは書いてあったと思います。
- ・あまり使わなかった。
- ・正直「なせば成る！」はいらないと思う。
- ・わかりやすかったです。

〈工学部〉（物質化学工学科）

- ・使用していない。
- ・必要なし。
- ・買わなくてよかった。

〈工学部〉（応用生命システム工学科）

- ・講義中では使わなかったけど、個人的に講義外で読み、レポートの作成方法に関してよくわかりました。
- ・正直必要ないなと思いました。
- ・あまり使う機会がない。
- ・テキストを購入しなかったが、授業に全くさしつかえなかった。テキストではなく参考書にした方が良いと思う。
- ・今まで作ったことのないレポートなどについてのおり参考になった。
- ・先輩から聞いたほうが役に立つことが多かった。
- ・使わなかったので買わなくてよかった。
- ・1度も読まなかった。
- ・あまり活用していないので、もう少し授業で扱ってほしいと思う。
- ・いちども使いませんでした。
- ・あんまりこの教材を見ていない（参考にしていない）ので設問7～12は「2」にさせてもらいました。

〈工学部〉（情報科学科）

- ・すばらしいテキストである。
- ・もっとテキストを使用してほしい。
- ・いらないと思う。
- ・とても多くの役に立つ技術が書いてあるので、今後も活用していきたい。
- ・授業で使う機会が少なく、購入する必要がなかったようにも感じた。

〈工学部〉（電気電子工学科）

- ・大学生活で非常に参考になり、活用しています。本当に助かります。
- ・レポートの書き方について参考になった。
- ・いろいろ書いてあってよかった。
- ・学習の方法の項目はとてもためになった。ノートのとり方など参考にしている。
- ・できて当たり前と考えられ、普通は教えてもらえないようなことが書いてあり非常に役に立った。
- ・色々な先生の意見が書いてあって色々な見方を得られるものだった。
- ・わかりやすくて良かった。
- ・読みやすく、わかりやすかったです。
- ・いいことが書いてあった。
- ・良かった。

第3章 スタートアップセミナーアンケート

- ・レポートの書き方やディベートの方法などさまざまなことをくわしく学べた。
- ・読みやすかった。
- ・テキストとして配付するより、プリントとして授業で配った方がよい。
- ・これからも「なせば成る！」を持っていきたい。
- ・レポートやプレゼンのやり方がわかった。
- ・内容が詳しく書かれていて良かった。
- ・字が多かった。
- ・あまり必要ではないように感じた。
- ・文章だけだと理解しづらいので絵や図など駆使して頂くともっとわかりやすい。
- ・不要。
- ・本当に要らない。
- ・「なせば成る！」は本当にいいテキストだと思いました。
- ・レポートの作成に役立った。
- ・大学で学んでいく上で必要なレポートのまとめ方等がまとめられていたため、とても参考になった。
- ・プレゼンテーションやレポート等の極意が示されていて、先にも役立つ本だと思いました。

〈工学部〉（機械システム工学科）

- ・例がたりないと思います。
- ・基本的なことが書いてあった。
- ・分かりやすかった。
- ・いらぬのでは？

〈農学部〉（食料生命環境学科）

- ・話を聞けばテキストはいらぬなと感じた。
- ・良かった。
- ・授業で提示・公開してくれる資料の方がわかりやすいのでなくてもよいと思う。
- ・模範例などが詳しく示してあり参考になりました。
- ・値段が高い。
- ・あまり読んでいない。
- ・レポートの書き方の部分はいつも参考にしているため良いと思う。
- ・文章が多くて見づらい。図が多いと見返しやすしいと思う。
- ・しっかり読めばわかるけど文字ばかりで疲れる。
- ・レポートの時にとても役に立った。
- ・特にレポート作成についてのページが役に立った。これからは書き方に迷った時などに参考にしていきたいと思う。
- ・あまり必要性を感じなかった。
- ・テキストは見やすくなった。
- ・レポートに関する情報はためになったが他はあまり意

- 味がないと思った。活用的な情報を載せてほしい。
- ・あまり読まなかった。
- ・わかりやすく必要事項が整理されていて良かった。
- ・学生が知りたい情報がしっかり載っている。例示がもう少し欲しい。
- ・教科書はほぼ使っていない。
- ・レポートの書き方がわかったので良かった。
- ・「成せば成る！」を授業で聞いていないため何にも言えないが、パラパラ見た結果、気になることがたくさん書いてあっていいと思った。
- ・あまり使った記憶がないため良く分からない。ちゃんと使えば力になると思います。
- ・買わなくても良かったと思う（同じ内容が書かれたプリントが配れたので）。
- ・先生たちが資料を下さるので、正直「成せば成る」を買うのは金の無駄。
- ・授業でテキストを使うことがほとんどなかったので買う必要がなかったと思う。
- ・わかりやすかったです。
- ・プレゼンとレポートの作成方法についてのページは実際に活用しました。分かりやすくて良かったです。
- ・不必要といえるほど価値がない。口頭かレジュメさえあれば用が足りる。
- ・もっと授業内で活用してほしい。
- ・テキストをあまり開く機会がなかったため、テキストが役に立たなかった。テキストと同じ内容のパワーポイントを、全員に配られたり、配られなかったりしたため、テキストのページも教えて欲しい。
- ・レポート方法などについては参考になった。
- ・先生がレジュメを配ってくれたので、あまり活用できませんでした。もっと活用したかったです。
- ・「成せば成る！」をあまり授業で用いなかった。
- ・「～としてのあるべき姿勢」など、既に自分で学習しておくべきことを詳しく説明されていると、拍子抜けする。
- ・あまり有意義に利用することができなかった。
- ・常識的に知っている内容がほとんどの上、授業でも持つてくる必要が感じられなかったため購入の必要性はないように思う。
- ・分野ごとに分かりやすくまとめられていた。実際のレポートやパワーポイントの例を載せてほしい。
- ・あまり有益で画期的なことが書かれていると感じなかったし、ほぼ同じような内容が授業のパワーポイントに書かれているので、この教科書はいらぬと感じた。お金がもったいない。
- ・先生方のスライドで十分だったので、テキストを買う必要はなかったと思う。
- ・あってもなくても同じような気がする。
- ・あまり使わなかった。

第3章 スタートアップセミナーアンケート

- ・わかりやすくまとまっていて良かった。
- ・あまり使わなかった。あまり教科書を買った意味がわからなかった。
- ・文体が良かった。読みやすくてためになる。これからレポート作成などで迷った時は見ると思う。
- ・「成せば成る！」は買ってません。
- ・これからプレゼンテーションやグループワークで困った時に参考になりそう。
- ・個人に買わせる必要はない、配付すべき。
- ・あまり使わなかった。
- ・レポートについてや、プレゼンについて書いてあり、役に立ちました。
- ・正直いらぬ。
- ・全てを読んで使うわけではなかったのもっと薄い本でもよかった。
- ・あまり聞くことはなく、先生のお話だけでも理解はできたと思います。でも、これから他の授業で困った時は使えるかなと思いました。
- ・分かりやすかったが授業であまり使わなかったので必要なかなと思った。
- ・レポートを書いたりしているときに、よく分からなくなったらすぐに見られて、すぐわかるので良いと思いました。
- ・なくても良いと思った。
- ・あまり使っていない気がするので、買わなくても良かった気もする。
- ・まだ授業では深く取り扱っていないところもあるので、そこは自分で目を通しておきたいと思う。

第4章

学生と教員による授業改善アンケート



第4章 学生と教員による授業改善アンケート

基盤教育院
安田 淳一郎

はじめに

全学の共通教育(基盤教育)の科目に関する授業改善アンケート(「学生による授業評価アンケート」に相当)は平成12年度に開始され、今年で17年目になる。平成28年度もこれまでと同様、前期・後期の2度にわたって授業改善アンケートを実施した。実施期は前後期ともに、13回目～15回目に相当する期間に実施している。また、希望する教員は「中間アンケート」も実施し、学生の意見を授業期間内にフィードバックする試みがなされている。中間アンケートを実施した科目数は少ないため、今回は特に分析しない。

以下では、平成28年度の授業改善アンケートについて、「実施状況」「総合的判断の結果」「学習意欲と学習成果の結果」の3点について報告する。それらの項目について、本報告書では毎年分析しており、今回は過去3～5年間の経年変化も合わせて報告する。

1. 実施状況

【まとめ】

- 実施率は大きく減少
- 氏名公表率は大きく増加

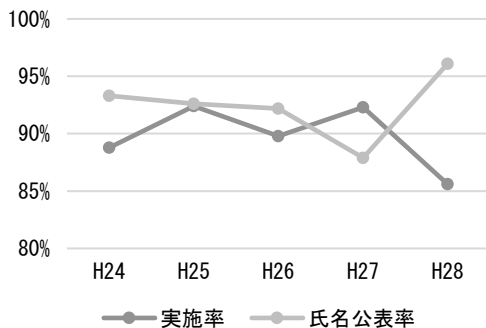


図1 近年の実施率と氏名公表率の推移

表1 近年の授業改善アンケート実施状況の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28
実施率	88.8%	92.4%	89.8%	92.3%	85.6%
氏名公表率	93.3%	92.6%	92.2%	87.9%	96.1%
開講授業数	774	803	855	868	871
公表授業数	641	687	708	704	719
実施授業数	687	742	768	763	748

図1および表1は、近年5年間の授業改善アンケートの実施状況をまとめたものである。平成28年度の実施率は85.6%であった。平成27年度の実施率は92.3%であり、実施率は減少した。近年の状況で見ると、今年の実施率はこの5年間で最低である。ただし、受講生が数名の授業では、担当者が実施を不要と判断している事例もあり、今後どのように対処すべきか検討の余地がある。

平成28年度の氏名公表率(96.1%)は、平成27年度の氏名公表率(87.9%)と比べ、大きく増加した。近年の傾向で見ると、公表率は今年度、大きく持ち直したことがわかる。

2. 総合的判断の結果

2.1 近年の全体的な傾向

【まとめ】

- 総合的判断の平均値は一段と上昇
- 後期の方が前期よりも高い傾向が拡大
- 初めて、通年の総合的判断の平均値が4.5を上回る

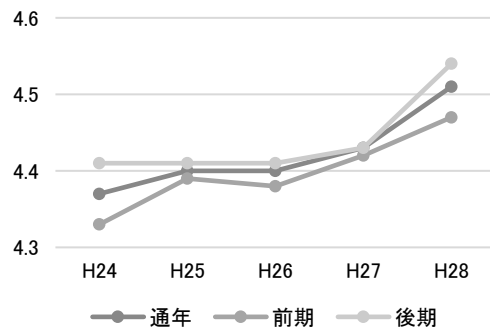


図2 近年の総合的判断の平均値の推移

表2 近年の総合的判断の平均値の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28
通年	4.37	4.40	4.40	4.43	4.51
前期	4.33	4.39	4.38	4.42	4.47
後期	4.41	4.41	4.41	4.43	4.54

図2および表2は、近年5年間の総合的判断の平均値をまとめたものである。総合的判断とは「この授業を総合的に判断すると良い授業だと思いますか」という質問項目に対する回答であり、5点満点である。総合的判断の値は、授業の質そのものを表現しているわけではない。一方で、「満足度」ではなく「総合的な判断」としていることで、学生迎合主義とは異なる次元で、学生の評価を引き出していることも考慮に入れる必要がある。

平成28年度の総合的判断の平均値は4.51であった。平成27年度の同値は4.43であり、大幅に上昇したことがわかる。通年の総合的判断の平均値が4.5を上回ったのは、初めてのことである。ここ数年の傾向として、後期の方が前期よりもわずかに高い傾向にあったが、今年度はその差が拡大した。

表3 近年の総合的判断の平均値の推移(区分別)

区 分	H25	H26	H27	H28
スタートアップセミナー	4.31	4.30	4.25	4.28
アドバンストセミナー	5.00	4.52	4.56	4.48
人間を考える	4.23	4.16	4.18	4.25
共生を考える	4.28	4.42	4.29	4.34
文化と社会	4.25	4.27	4.32	4.49
文化と社会 (教養セミナー)	4.50	4.52	4.59	4.64
自然と科学	4.30	4.34	4.39	4.49
自然と科学 (教養セミナー)	4.63	4.54	4.69	4.74
応用と学際	4.51	4.45	4.39	4.61
応用と学際 (教養セミナー)	4.70	4.60	4.63	4.68
山形に学ぶ	4.47	4.48	4.44	4.57
山形に学ぶ (教養セミナー)	4.54	4.44	4.64	4.56
コミュニケーション・ スキル1(英語)	4.40	4.38	4.42	4.49
コミュニケーション・ スキル2(初修)	4.46	4.48	4.50	4.63
コミュニケーション・ スキル2(日本語)	4.82	4.83	4.79	4.86
情報リテラシー	4.12	4.19	4.20	4.26
健康・スポーツ	4.21	4.30	4.37	4.75
健康・スポーツ (セミナー・実技)	4.72	4.75	4.74	4.81
サイエンス・スキル	4.09	4.10	4.23	4.27
キャリアデザイン	未	4.72	4.51	4.70

*1「未」は、未開講等であることを表す。

2-2. 科目区分ごとの近年の傾向

【まとめ】

- 4年連続、すべての区分において4点台
- 上位3区分は、「コミュニケーション・スキル2(日本語)」「健康・スポーツ(セミナー・実技)」「自然と科学(教養セミナー)」

- 上昇傾向の区分は、「健康とスポーツ」「文化と社会」

表3は、各区分の総合的判断の平均値について、近年4年間の傾向をまとめたものである。この表より、すべての区分で4年連続4点台となっていることがわかる。

上位3区分は「コミュニケーション・スキル2(日本語)」「健康・スポーツ(セミナー・実技)」「自然と科学(教養セミナー)」であり、いずれも4.70以上と高い数値を示している。一方、下位3区分は「人間を考える」「情報リテラシー」「サイエンス・スキル」であり、いずれも4.30を下回っている。上位3区分と下位3区分は、いずれも順位も含めて昨年と全く同じ区分である。

上昇傾向にある区分として「健康とスポーツ」「文化と社会」が挙げられる。「健康とスポーツ」は3年で0.45、「文化と社会」は同じく0.22といずれも高い伸びを示している。一方、下降傾向にある区分として「共生を考える」「アドバンストセミナー」が挙げられる。「共生を考える」は3年で-0.08、「アドバンストセミナー」は3年で-0.04といずれもやや下降した。

表 4 近年の学習意欲の平均値の推移(区分別)

区 分	H26	H27	H28
スタートアップセミナー	4.14	4.11	4.17
アドバンスセミナー	4.43	4.34	4.51
人間を考える	3.89	3.99	3.96
共生を考える	4.15	4.15	4.19
文化と社会	4.06	4.16	4.29
文化と社会 (教養セミナー)	4.40	4.46	4.52
自然と科学	4.17	4.25	4.35
自然と科学 (教養セミナー)	4.41	4.50	4.58
応用と学際	4.37	4.33	4.45
応用と学際 (教養セミナー)	4.55	4.53	4.52
山形に学ぶ	4.24	4.36	4.44
山形に学ぶ (教養セミナー)	4.33	4.33	4.24
コミュニケーション・ スキル 1(英語)	4.11	4.17	4.25
コミュニケーション・ スキル 2(初修)	4.27	4.31	4.42
コミュニケーション・ スキル 2(日本語)	4.76	4.75	4.73
情報リテラシー	4.12	4.18	4.25
健康・スポーツ	4.13	4.18	4.69
健康・スポーツ (セミナー・実技)	4.74	4.71	4.77
サイエンス・スキル	4.01	4.11	4.20
キャリアデザイン	4.44	4.31	4.52

*1「未」は、未開講等であることを表す。

3. 学習意欲と学習成果の結果

3.1 学習意欲の結果

【まとめ】

- 上位3区分は、「健康・スポーツ(セミナー・実技)」「コミュニケーション・スキル 2(日本語)」「自然と科学(教養セミナー)」

各科目区分の意欲の平均値について、近年3年間の傾向を調べた結果、表4のようになった。学習意欲とは、「この授業を意欲的に受講しましたか」という質問項目に対する回答であり、5点満点である。

上位3区分は、「健康・スポーツ(セミナー・実技)」「コミュニケーション・スキル 2(日本語)」「自然と科学(教養セミナー)」であり、いずれも4.50以上と高い数値を示している。一方で、下位3区分は、「人間を考える」「スタートアップセミナー」「共生を考える」であり、いずれも4.20を下回っている。

3.2 学習成果の結果

【まとめ】

- 上位3区分は、「コミュニケーション・スキル 2(日本語)」「健康・スポーツ(セミナー・実技)」「キャリアデザイン」

各科目区分の向上の平均値について、近年3年間の傾向を調べた結果、表5のようになった。学習成果とは、「考え方、能力、知識、技術などの向上に得るところがありましたか」という質問項目に対する回答であり、5点満点である。

上位3区分は、「コミュニケーション・スキル 2(日本語)」「健康・スポーツ(セミナー・実技)」「キャリアデザイン」であり、いずれも4.50以上の高い数値を示している。一方で、下位3区分は、「人間を考える」「サイエンス・スキル」「情報リテラシー」であり、「人間を考える」「サイエンス・スキル」については、いずれも4.00を下回っている。

おわりに

以上、授業改善アンケートに関する分析を行った。全般的には、総合的判断、学習意欲や学習成果に関する評価は高いと言えるだろう。

今回の分析は、近年4~5年間の経年変化の分析を中心に行った。今後は、主因子分析や重回帰分析を行って、総合的判断の要因を探る分析を行うことも検討される。ただし、その際には、項目間の相関には十分に注意し、多重共線性を避ける必要があることを留意しておく。

重要なことは、授業改善アンケートの結果をいかに各教員の授業改善およびカリキュラムの改善につなげるかということである。そのためには、各授業担当者、授業編成担当者とデータ分析者が結果について十分に検討する機会を設けるべきである。それは、アンケートの項目や分析の在り方について何らかの示唆を見出す機会にもなるだろう。

来年度は基盤教育の領域(区分)、アンケートの項目等も含め、大幅な改革が行われる。その成果を見極めたために、来年度はより注意深い分析が必要となるだろう。

表5 近年の学習成果の平均値の推移(区分別)

区 分	H26	H27	H28
スタートアップセミナー	4.33	4.20	4.26
アドバンスセミナー	4.45	4.40	4.47
人間を考える	3.93	3.95	3.93
共生を考える	4.15	4.06	4.14
文化と社会	4.13	4.02	4.16
文化と社会 (教養セミナー)	4.45	4.27	4.31
自然と科学	4.18	4.05	4.18
自然と科学 (教養セミナー)	4.45	4.44	4.48
応用と学際	4.41	4.24	4.33
応用と学際 (教養セミナー)	4.46	4.54	4.46
山形に学ぶ	4.29	4.23	4.41
山形に学ぶ (教養セミナー)	4.34	4.48	4.21
コミュニケーション・ スキル1(英語)	4.16	4.17	4.24
コミュニケーション・ スキル2(初修)	4.30	4.09	4.19
コミュニケーション・ スキル2(日本語)	4.77	4.76	4.76
情報リテラシー	4.22	4.11	4.13
健康・スポーツ	4.21	4.17	4.65
健康・スポーツ (セミナー・実技)	4.56	4.66	4.72
サイエンス・スキル	3.98	3.89	3.94
キャリアデザイン	4.49	4.36	4.55

*1「未」は、未開講等であることを表す。

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

授業改善アンケート調査（学生用）

FDネットワーク“つばさ”

この調査は、授業改善のために、受講したこの授業についての意見を伺うものです。
回答内容は成績評価とはまったく関係がありませんので正直にお答えください。

記入上の注意

- 1 この用紙は、表面（選択回答欄）と裏面（自由記述欄）に分かれています。
- 2 質問順に従って、回答してください。
- 3 記入は、HまたはHBの鉛筆を使用してください。
- 4 訂正は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
- 5 所定欄以外にはマークしたり、記入したりしないでください。
- 6 汚したり、折り曲げたりしないでください。

◎所属分類：下欄に記入し、右欄にマークしてください。		百の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
分類A：学校名・コード		十の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
学校名	学校コード	一の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
分類B：学部（学科）名・コード		十の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
学部（科）名	学部（科）コード	一の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
分類C：自由設定（不使用の際は空欄）		十の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
名	コード	一の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

◎この授業科目の時間割コードを記入してください。 下欄に記入し、右欄にマークしてください。		千の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		百の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		十の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		一の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

◎あなたについて教えてください。		十の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
○入学年度は、平成何年ですか。下欄に記入し、右欄にマークしてください。		一の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
入学年度 平成 年												
○性別を教えてください。			男	女								

◎この授業の全般的な点について教えてください。		第一理由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
質問1 この授業を履修した動機を強い順に3つ選択してください。		第二理由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		第三理由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①この授業に関心があったから ②単位が取り易そうだから ③教員に魅力があったから												
④友達が多く履修しているから ⑤自分の専門に関係が深い分野だから ⑥幅広い教養を身につけるため												
⑦先輩に薦められたから ⑧他の授業で断られたので仕方なく ⑨必修だから ⑩その他												

質問2 (あなたは)この授業を何回欠席しましたか	0回	1回	2回	3回	4回以上
	○	○	○	○	○

*以下の質問に次の5段階で答えてください。
5：はい 4：まあそうである 3：どちらとも言えない 2：あまりそうとは言えない 1：いいえ

質問3 この授業を意欲的に受講しましたか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問4 内容を理解できましたか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問5 考え方、能力、知識、技術などの向上に得るところがありましたか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問6 シラバスに授業の目標や授業計画は具体的に示されていましたか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問7 シラバスに成績評価基準と評価方法は具体的に示されていましたか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問8 教員に熱意は感じられましたか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問9 教え方(教授法)はわかりやすかったですか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問10 教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションはとれていましたか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問11 授業はよく準備されていましたか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問12 教員の話方は聞き取りやすかったですか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問13 板書や配布物、提示資料は読みやすかったですか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問14 教員は教室内の勉学の環境を良好に保つよう、配慮していましたか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問15 オプション(授業担当教員から指示があります)	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○
質問16 この授業を総合的に判断すると良い授業だと思いますか。	5	4	3	2	1
	○	○	○	○	○

※調査項目は裏面にもあります。

作成：山形大学

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

◎以下は自由記述欄です。思ったことを書いてください。

質問17 この授業で良かったと思う点を書いてください。

質問18 この授業で良くなかったと思う点, 改善すべきと思う点を書いてください。

質問19 オプション(授業担当教員から指示があります)

御協力ありがとうございました。

形大小教第 号
平成 年 月 日

基盤教育授業担当教員 各位

基盤教育評価改善会議議長
下 平 裕 之

「ミニ公開授業・検討会」へのご協力について（依頼）

標記のことについて、本学では、平成12年度から、授業改善のための「公開授業」と「公開検討会」を実施しております。公開授業と検討会は授業改善のためにとっても有効な方法ですが、自分の授業を不特定多数に公開し、その検討会を実施することに躊躇なさっている先生方が多いのもまた事実です。そこで、基盤教育評価改善会議では、例年同様、「ミニ公開授業・検討会」を行うこととしました。

「ミニ公開授業・検討会」は、授業を公開する先生が、自分が決めた特定の日に、気心の知れた3～5人の教員（学部や専門分野は問わない）に、あらかじめ声をかけて参観してもらい、その後そのメンバーでおよそ30分程度、授業の検討会を行ってもらうものです。あくまでも授業改善のためですので、授業者が授業の改善に利用するのはもちろんのこと、参観者もその授業の良いところを発見し、自分の授業にも活かすよう心がけてもらおうとの趣旨です。本会議としては、山形大学に「ミニ公開授業・検討会」が拡大し、授業改善が進んでいくことを期待しています。

このたび、平成28年度前期に基盤教育の授業を担当されている方全員にご案内した上で、上記の趣旨をご理解いただける方に、「ミニ公開授業・検討会」にご登録していただくこととしました。登録していただいた授業を、本会議の委員が参観したり、検討会に出席することはありません。本会議としては、検討会終了後に授業者と参観者にそれぞれA4版1枚程度のアンケートに記入していただき、それを今後の授業改善の資料にさせていただきたいと考えています。アンケート項目としては、授業者と参観者に共通の3つです。

- ① 今回の授業の感想を自由に記述してください。
- ② 授業を公開・参観してご自分の授業をどのように振り返られましたか。
- ③ ミニ公開授業・検討会はいかがでしたか。

「ミニ公開授業・検討会」にご協力いただける方は、別紙に公開日時と参観者名を記入の上、 月 日（ ）までに学生センター教務課教育企画担当へご提出ください。公開日時が未定の場合はその旨お書きください。また、実施当日に参観者が変更になっても構いません。なお、登録いただいた方には、後日、「ミニ公開授業・検討会」のアンケート用紙をお届けします。

登録いただいた授業を事前に学内に案内することはありませんが、授業改善に興味のある方に幅広く公開して実施されることをご希望の方は、記入表の欄にチェック印をつけてください。

【担当】

小白川キャンパス事務部
教務課（教育企画担当）

内線：4720

E-mail：k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

形大小教第 号
平成 年 月 日

殿

基盤教育評価改善会議議長
清塚 邦彦

「基盤教育授業改善アンケート調査」結果について（通知）

このたびは、基盤教育授業改善アンケートにご協力していただき、感謝申し上げます。おかげさまで、平成 年度 期は、該当科目の %に当たる 科目を実施することができました。

つきましては、貴殿の授業科目の集計結果及び「平成 年度（ 期）授業改善アンケート調査個別分析表」を別添のとおり送付いたしますので、学生のアンケート用紙（返送不要）の自由記述欄と併せてご覧ください。

また、アンケート結果につきましては、次の2種類の集計表を作成し、月 日（ ）から 月 日（ ）までの間、基盤教育1号館112教室前に掲示しております。

- ① 昨年同様、個別の授業名を記載せず、該当科目すべてを記載した集計表
- ② 授業名及び担当者名を明示して集計結果を公表することについて、「公表しません」と回答いただいた授業以外の集計表

なお、お手数をおかけいたしますが、教員用アンケート用紙「基盤教育 授業改善アンケート調査（教員用）」を同封いたしますので、月 日（ ）までに学生センター教務課教育企画担当へ提出していただきますようご協力をお願いします。

記

授業科目名	履修登録者数	人	回答者数	人	回答率	%
-------	--------	---	------	---	-----	---

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5	質問6	質問7	質問8	質問9	質問10	質問11	質問12	質問13	質問14	質問15	質問16
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------

質問 15

質問 19

<参考>

質問 1 動機の第1理由から第3理由のうち、もっとも選択数の多かった項目番号を記載

質問 2 「欠席」の平均回数を記載（「4回以上」は「4回」として計算）

質問 3～16 選択肢の評価の高い方から5段階（5、4、3、2、1）とし、平均値を算出（未記入の場合は、計算の対象外）

担当：小白川キャンパス事務部教務課教育企画担当 内線 4720

平成 年度(期)授業評価アンケート調査 個別分析表

担当教員
領域
科目名
回答者数/履修登録者数(回答率)

注)

授業平均・・・この授業の平均です。

全体平均・・・本学内で開講されている全授業の平均です

相関係数・・・総合的な判断(質問16)と各質問の相関係数を求めたものです。値が1に近いほど相関があり、0に近いほど相関がないと言えます。ただし、履修人数が少ない授業等は、相関係数の計算ができないため「-」と表示されます。

質問	質問内容	①		②		③		人数(%)
		授業平均	全体平均	相関係数	5:はい	4:まあまあである	3:どちらとも言えない	
質問1	この授業を履修した動機を強い順に3つ選択してください。							
質問2	この授業での欠席回数							
質問3	この授業を意欲的に受講しましたか。							
質問4	内容を理解できましたか。							
質問5	考え方、能力、知識、技術などの向上に得るところがありましたか。							
質問6	シラバスに授業の目標や授業計画は具体的に示されていましたか。							
質問7	シラバスに成績評価基準と評価方法は具体的に示されていましたか。							
質問8	教員に熱意は感じられましたか。							
質問9	教え方(教授法)はわかりやすかったですか。							
質問10	教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションはとれていましたか。							
質問11	授業はよく準備されていましたか。							
質問12	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。							
質問13	板書や配布物、資料提示は読みやすかったですか。							
質問14	教員は教室内に良好な勉強の環境を保つよう配慮していましたか。							
質問15	オプシオン(担当教員から指示があります)							
質問16	この授業を総合的に判断すると良い授業だと思いますか。							

※(%)は回答者数に対する各質問の選択者数の割合のため、合計が100にならない場合があります。

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基盤教育 授業改善アンケート集計結果 (H28年度前期)

講入科目	履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)(%)	動機1	動機2	動機3	欠席者数	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	Eコマース平均	準備平均	工夫平均	資料平均	環境平均	OJL平均	総合平均	
																						1
スタートアップセミナー	12	92.31	9	6	10	0.50	4.75	4.83	4.83	4.67	4.58	4.83	4.83	4.33	4.42	4.75	4.75	4.25	4.58	4.25	4.58	
	13	100.00	9	6	10	0.00	4.00	4.08	4.08	4.00	3.85	4.08	3.85	4.23	4.15	4.62	4.31	4.38	4.00	4.27	4.00	
	12	91.67	9	6	10	0.50	4.42	4.50	4.50	4.27	4.45	4.50	4.13	4.62	4.33	4.81	4.27	4.50	4.13	4.27	4.81	
	13	100.00	9	6	10	0.15	4.77	4.85	4.92	4.85	4.92	4.85	4.85	5.00	5.00	5.00	4.92	4.92	4.83	4.83	4.83	
	13	100.00	9	6	10	0.75	4.62	4.69	4.77	4.46	4.31	4.54	4.69	4.92	4.77	4.92	4.77	4.92	4.75	4.25	4.50	4.77
	13	100.00	9	3	10	0.38	4.69	4.85	4.77	4.69	4.46	4.69	4.92	4.92	4.77	4.92	4.92	4.69	4.69	4.33	4.85	4.85
	13	100.00	9	6	10	0.58	4.31	4.31	4.46	4.31	4.15	4.62	4.62	4.69	4.54	4.62	4.69	4.54	4.62	4.69	4.69	4.62
	13	92.31	9	6	10	0.18	4.25	4.58	4.75	4.58	4.58	4.58	4.58	4.67	4.75	4.58	4.67	4.75	4.67	4.67	4.55	4.55
	17	88.24	9	6	10	0.50	3.87	4.20	4.27	4.07	4.00	4.33	4.20	4.20	4.33	4.20	4.33	4.20	4.33	4.33	4.00	4.00
	16	12	35.00	9	1	10	0.00	4.42	4.50	4.67	4.25	4.50	4.50	4.50	4.27	4.42	4.50	4.27	4.42	4.50	4.25	4.25
	16	100.00	9	2	3	2	0.94	4.19	4.12	4.08	3.50	3.50	4.14	4.35	4.62	4.75	4.75	4.75	4.75	4.75	4.75	4.31
	17	88.24	9	2	6	10	0.87	3.27	3.27	3.80	3.53	3.47	4.27	3.70	3.67	3.73	3.67	3.73	3.53	3.47	3.50	3.40
	16	100.00	9	5	6	10	1.00	4.44	4.50	4.75	4.44	4.56	4.81	4.62	4.81	4.62	4.81	4.69	4.81	4.69	4.81	4.69
	16	81.25	9	6	10	0.54	4.15	4.23	4.38	4.08	4.08	4.38	4.31	4.62	4.62	4.31	4.62	4.62	4.31	4.50	5.00	4.31
	17																					
	17	94.12	9	4	10	0.19	4.31	4.44	4.62	4.31	4.25	4.50	4.81	4.88	4.62	4.88	4.62	4.88	4.62	4.73	5.00	4.69
	17	88.24	9	6	10	0.29	4.07	4.35	4.35	4.20	3.93	4.47	4.27	4.53	4.27	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40	4.27
	17	94.12	9	6	10	0.36	4.14	4.14	4.14	4.14	4.07	4.37	4.37	4.37	4.37	4.37	4.37	4.37	4.37	4.37	4.37	4.37
	17	94.12	9	6	10	0.07	4.19	4.31	4.38	4.38	4.38	4.75	4.75	4.81	4.69	4.38	4.62	4.69	4.50	4.69	5.00	4.69
	17	94.12	9	1	6	9	0.73	3.31	3.56	3.50	3.75	3.81	4.38	3.94	4.12	4.25	4.12	4.31	4.00	4.00	3.75	3.75
	16	93.75	9	10	10	0.73	4.20	4.40	4.13	4.27	4.27	4.53	4.33	4.27	4.20	4.53	4.47	4.53	4.50	4.50	4.27	4.27
	27	96.30	9	10	10	0.23	4.04	4.12	4.12	3.69	3.81	3.77	3.65	3.73	3.58	3.73	3.85	3.85	4.04	3.75	3.68	3.68
	26	96.15	9	6	10	0.32	4.32	3.96	4.20	4.36	4.44	4.44	4.16	4.32	3.36	4.32	4.44	4.20	4.44	4.20	4.50	4.38
	35	100.00	9	6	10	0.06	4.14	4.17	4.31	4.23	4.14	4.23	4.20	4.20	4.29	4.43	4.26	4.31	4.26	4.29	4.67	4.20
	21	100.00	9	6	10	0.10	4.33	4.28	4.38	4.19	4.05	4.19	4.10	4.24	4.52	4.43	4.43	4.65	4.50	4.56	4.56	4.56
	20																					
	15	100.00	9	5	5	0.47	4.60	4.67	4.53	4.40	4.53	4.67	4.67	4.93	4.67	4.73	4.80	4.67	4.73	4.80	4.67	4.67
	21	100.00	9	6	10	0.05	4.10	3.86	4.10	4.00	4.05	3.95	3.71	3.76	4.05	3.86	4.24	4.43	5.00	3.81	4.81	4.81
	17																					
	17	100.00	9	6	10	0.00	4.47	4.35	4.29	4.35	4.35	4.41	4.24	4.59	4.53	3.53	4.24	4.62	4.67	4.24	4.41	4.41
	17	100.00	9	6	10	0.18	4.24	4.47	4.35	4.18	4.12	4.24	4.65	4.94	4.65	4.76	4.76	4.94	4.76	4.94	4.41	4.41
	16	100.00	9	1	6	4	6	0.00	4.81	4.81	4.80	4.62	4.56	4.94	4.75	4.88	4.94	4.94	4.75	4.75	4.81	4.81
	17	94.12	9	6	10	0.00	4.36	4.62	4.56	4.44	4.44	4.50	4.63	4.75	4.88	4.81	4.62	4.62	4.62	4.67	4.69	4.69
	45	91.11	9	5	4	10	0.29	4.17	4.29	4.37	4.39	4.47	4.27	4.17	4.50	3.61	4.54	4.61	4.67	4.34	4.34	
	39	92.31	9	5	10	0.25	3.28	2.56	3.11	3.50	3.72	3.67	3.14	3.08	3.72	3.58	3.58	3.81	3.11	3.21	3.21	
	46	97.83	9	5	4	10	0.43	4.33	4.27	4.18	4.18	4.18	4.29	4.27	4.16	3.38	4.22	4.36	4.50	4.31	4.31	
	31	100.00	9	6	2	16	0.37	4.32	3.94	4.03	3.87	4.03	3.87	3.97	4.06	3.87	3.94	4.06	5.00	4.06	4.06	
	34	97.06	9	5	10	0.03	4.21	4.36	4.58	4.39	4.24	4.39	4.03	4.03	4.73	4.61	4.58	4.48	3.81	4.33	4.33	
	125	84.00	9	5	10	0.43	3.76	4.01	3.95	3.79	3.73	4.18	3.84	3.78	3.98	4.07	4.01	4.03	4.00	3.94	3.94	
	65	93.85	9	5	10	0.13	4.56	4.46	4.54	4.49	4.57	4.44	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.58	4.58
	58	98.28	9	6	5	10	0.18	4.05	4.42	4.28	4.38	4.23	4.46	4.29	4.16	4.49	4.37	4.30	4.44	4.10	4.37	
	57	98.25	9	6	5	6	0.13	4.04	4.29	4.14	4.29	4.27	4.43	4.29	4.14	4.29	4.57	4.45	4.32	4.33	4.31	
	81	98.77	9	5	10	0.19	4.04	4.16	4.14	4.11	4.10	4.26	4.12	4.39	4.20	4.10	4.14	4.23	4.67	4.15	4.15	
	70	97.14	9	5	10	0.31	4.21	4.41	4.34	4.28	4.28	4.51	4.38	4.22	4.46	4.50	4.44	4.43	4.11	4.46	4.46	
	62	82.26	9	5	4	0.51	4.31	4.27	4.31	4.41	4.41	4.25	4.14	4.12	4.33	4.35	4.33	4.35	4.75	4.29	4.29	
41	100.00	9	6	1	5	0.13	4.44	4.44	4.59	4.46	4.49	4.41	4.29	4.51	4.59	4.32	4.17	4.59	5.00	4.55		
41	95.12	9	5	10	0.36	3.95	4.23	4.28	4.28	4.31	4.26	3.95	3.87	4.31	4.10	3.90	4.15	4.33	4.15	4.15		
38	105.26	9	5	10	0.31	3.96	3.86	4.03	3.88	3.95	4.09	3.93	3.88	4.08	3.82	4.10	4.20	3.49	3.85	3.85		
38	94.57	9	5	1	0.44	4.05	3.88	4.14	4.03	4.11	4.19	3.73	3.81	4.14	4.03	3.92	4.11	3.69	3.86	3.86		
63	95.24	9	5	1	6	0.15	4.30	4.45	4.39	4.48	4.45	4.50	4.25	4.23	4.48	4.45	4.47	4.47	3.50	4.34		
62	87.10	9	5	1	0.09	4.15	4.24	4.31	4.19	4.20	4.20	4.07	3.76	4.11	4.17	4.15	4.15	3.88	4.24	4.24		
51	98.04	9	6	4	10	0.32	4.38	4.52	4.32	4.30	4.54	4.46	4.44	4.54	4.58	4.52	4.55	4.50	4.47	4.47		
53	100.00	9	6	3	6	0.15	3.11	4.09	3.58	3.79	3.48	3.36	3.17	2.79	3.64	3.02	3.87	3.62	4.20	3.68		
53	96.23	9	6	10	0.22	3.88	4.16	3.98	4.02	3.90	4.02	4.00	3.86	4.16	4.08	4.27	4.02	4.25	4.04	4.04		
53	98.11	9	6	10	0.23	4.13	4.25	4.27	4.10	4.12	4.40	4.15	4.12	4.38	4.38	4.38	4.38	4.38	4.38	4.15	4.15	
172	86.29	9	6	10	0.32	3.17	3.27	3.29	3.21	3.19	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	
172	86.29	9	6	10	0.32	3.17	3.27	3.29	3.21	3.19	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	4.21	
46	90.32	9	1	1	0.74	3.71																

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度前期)

教養科目	履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)(%)	動機1	動機2	動機3	欠席者数	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	E-コンテンツ平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オフ平均	総合平均			
																						履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)(%)
文化と社会	経済学																							
	19	17	89.47	1	6	10	1.18	4.41	3.88	4.24	4.29	4.59	4.47	4.24	4.59	4.47	4.24	4.59	4.47	4.35	4.47	3.00	4.53	
	社会学																							
	52	46	88.46	1	6	10	0.93	4.28	4.28	4.48	4.50	4.57	4.60	4.53	4.13	4.63	4.61	4.43	4.43	4.53	5.00	4.60	4.27	
	44	19	26.76	1	6	10	0.06	4.63	4.32	4.83	4.47	4.58	4.76	4.37	4.11	4.68	4.47	4.47	4.63				4.68	
	社会学																							
	42																							
	政治学																							
	209	65	31.10				0.27	4.46	4.30	4.56	4.49	4.58	4.70	4.45	4.13	4.67	4.54	4.45	4.58	5.00	4.64			
	88	76	86.36	1	2	3	0.69	4.16	4.04	4.17	4.11	4.20	4.29	4.32	4.29	4.01	4.49	4.18	4.36	4.71	4.53			
	19	15	78.95	1	1	10	0.47	4.07	4.07	4.07	4.33	4.33	4.33	4.33	4.13	4.00	4.57	4.20	3.93	4.27	3.83	4.27		
	日本国憲法																							
	107	91	85.05				0.58	4.12	4.06	4.12	4.22	4.27	4.31	4.23	4.15	4.29	4.35	4.06	4.22	4.27	4.40			
	44	25	100.00	1	2	3	0.56	3.80	3.60	3.84	4.24	4.24	4.24	4.24	4.03	4.03	3.83	3.83	4.03	5.00	4.45			
	306	246	80.39	1	6	3	0.46	4.33	4.41	4.48	4.59	4.61	4.71	4.74	4.72	4.78	4.80	4.71	4.71	4.41	4.82			
	217	207	95.39	1	6	10	0.55	4.11	4.13	4.20	4.44	4.46	4.35	4.21	4.46	4.56	4.34	4.47	4.48	4.29	4.40			
	教養セミナー																							
	20	20	100.00	1	6	10	0.70	4.60	4.55	4.60	4.20	4.25	4.40	4.70	4.30	4.65	4.70	4.75	4.65	3.00	4.68			
	15																							
	17	13	76.47	1	6	10	0.92	4.31	4.08	4.69	4.62	4.62	4.77	4.46	4.23	4.85	4.54	4.69	4.69	5.00	4.73			
	88	46	52.35	1	6	6	0.45	4.30	4.15	4.18	4.46	4.55	4.69	4.30	3.74	4.63	4.20	4.41	4.56	4.43	4.61			
	23	23	100.00	1	6	2	0.10	0.09	4.87	4.65	4.87	4.87	4.87	4.91	4.87	4.91	4.91	4.96	4.61	4.83	4.91	4.95		
	86	61	70.93	2	2	7	0.67	4.44	4.18	4.23	4.41	4.46	4.64	4.28	4.25	4.34	4.05	4.31	4.48	4.82	4.43			
	194	100	51.55	1	2	3	0.39	4.37	4.33	4.31	4.44	4.49	4.55	4.24	4.27	4.43	4.62	4.43	4.62	3.97	4.64	4.44		
	54	34	62.96	1	1	6	0.59	4.59	4.32	4.47	4.59	4.65	4.76	4.26	4.56	4.65	4.09	4.50	4.53		4.62			
領域計																								
4029	3066	76.10				0.55	4.25	4.10	4.29	4.40	4.42	4.63	4.31	4.12	4.46	4.41	4.37	4.47	4.19	4.46				
自然と科学																								
生物科学																								
76	72	94.74	1	5	6	0.46	3.86	3.96	4.08	4.24	4.32	4.64	4.14	3.76	4.00	4.08	3.69	4.24	3.88	4.27				
64	59	92.19	1	5	6	0.28	4.29	4.19	4.29	4.39	4.42	4.12	4.38	4.12	4.47	4.13	4.34	4.42	4.00	4.44				
61																								
124	114	91.94	1	6	6	0.20	4.42	4.14	4.31	4.45	4.50	4.56	4.42	3.56	4.58	4.63	4.54	4.58	4.22	4.59				
92	85	92.39	1	6	6	0.27	4.36	4.00	4.38	4.53	4.60	4.61	4.46	3.94	4.61	4.64	4.52	4.49	4.43	4.52				
45	43	95.56	1	5	6	0.47	4.19	3.98	4.21	4.44	4.49	4.51	4.35	3.81	4.51	4.56	4.35	4.33	4.67	4.47				
105	84	80.00	1	5	6	0.26	4.17	3.98	4.15	4.38	4.55	4.40	3.94	3.83	4.39	4.32	4.15	4.30	4.12	4.27				
37																								
地球環境学																								
624	457	73.24				0.32	4.22	4.03	4.24	4.41	4.48	4.47	4.28	3.84	4.43	4.40	4.27	4.39	4.30	4.43				
308	221	71.75	1	2	3	0.59	4.26	4.15	4.17	4.46	4.55	4.69	4.30	3.74	4.63	4.20	4.41	4.56	4.43	4.61				
26	18	69.23	1	6	10	0.94	4.17	4.22	4.06	3.72	3.89	3.94	4.06	3.22	4.28	4.06	4.11	4.17	3.53	4.33				
10	10	100.00	1	6	10	0.50	4.40	4.20	4.40	4.40	4.50	4.30	4.40	4.40	4.60	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40				
83	88	94.62	1	6	10	0.49	3.97	3.99	4.06	4.20	4.25	4.10	3.88	3.84	4.27	3.72	4.07	4.18	3.24	4.15				
82	69	84.15	1	6	6	0.43	4.09	3.94	4.03	4.14	4.19	4.23	4.04	3.91	4.26	4.07	4.07	4.04	4.00	4.12				
63	57	90.48	1	6	10	0.37	4.58	4.47	4.54	4.37	4.32	4.49	4.30	4.12	4.46	4.49	4.18	4.61	4.38	4.56				
数理学																								
580	463	79.83				0.55	4.24	4.16	4.21	4.22	4.28	4.28	4.16	3.87	4.42	4.12	3.97	4.37	4.01	4.35				
58	50	86.21	9	5	1	0.32	4.28	4.22	4.38	4.38	4.38	4.28	4.24	3.92	4.32	4.02	4.44	4.46	4.08	4.38				
51																								
128																								
148	127	85.81	2	2	6	0.76	3.80	3.80	3.76	3.98	4.03	3.85	3.67	3.39	4.03	3.68	3.74	4.06	4.40	3.79				
60	48	80.00	1	5	6	0.38	4.42	3.52	3.92	3.98	4.06	3.79	3.60	3.49	4.04	3.56	4.08	4.02	4.25	3.94				
61	59	96.72	1	6	6	0.33	4.61	4.61	4.72	4.61	4.63	4.69	4.73	4.56	4.81	4.78	4.85	4.61	4.50	4.76				
55	49	89.09	1	6	6	0.44	4.63	4.61	4.80	4.65	4.65	4.71	4.78	4.51	4.52	4.80	4.66	4.69	5.00	4.77				
82	59	95.16	1	6	6	0.14	4.53	4.41	4.68	4.59	4.54	4.59	4.66	4.29	4.69	4.68	4.66	4.61	4.06	4.64				
5	4	80.00	1	5	10	0.50	4.50	3.50	4.50	4.25	4.25	4.75	4.50	4.25	4.25	4.50	4.75	4.25	4.75					
物理学																								
746	396	53.08				0.41	4.40	4.10	4.39	4.35	4.36	4.38	4.31	4.06	4.44	4.29	4.48	4.39	4.37	4.43				
50	49	98.00	1	6	6	0.69	4.39	4.14	4.41	4.41	4.43	4.53	4.37	3.96	4.57	4.63	4.49	4.52	4.00	4.45				
115	105	91.30	1	6	6	0.65	4.27	4.18	4.23	4.48	4.44	4.20	4.16	3.46	4.43	4.23	4.26	4.28	4.31	4.36				
150	140	93.33	1	6	6	0.45	4.48	4.29	4.55	4.54	4.57	4.68	4.56	4.55	4.72	4.69	4.67	4.63	4.19	4.71				
89	68	76.40	1	6	2	1.06	4.37	4.30	4.54	4.69	4.67	4.55	4.52	4.33	4.75	4.49	4.61	4.55	4.75	4.70				

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度前期)

教養科目	履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)(%)	動機1	動機2	動機3	欠席者数	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	E-コンテンツ平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オフ平均	総合平均		
																						履修登録者数(a)	回答数(b)
自然と科学	化学																						
	404	362	89.60				0.71	4.38	4.23	4.43	4.53	4.53	4.49	4.40	4.08	4.62	4.51	4.51	4.50	4.31	4.56		
	103	86	83.50	1	2	6	0.56	4.21	3.94	4.15	4.41	4.42	4.41	4.29	4.05	4.44	4.27	4.40	4.41	4.27			
	35	29	82.86	1	5	6	0.26	4.03	3.34	4.14	4.31	4.34	4.31	3.86	3.52	4.21	4.31	4.10	4.20	4.21			

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度前期)

履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)(%)	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	Eラーニング平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オンライン平均	総合平均					
																					7	8	9	10	11
7	9	45.00	1	6	3	0.44	4.59	4.59	4.78	4.78	4.67	4.78	4.89	5.00	4.89	4.89	4.78	4.78	4.78	5.00					
26	23	88.46	1	6	10	0.32	4.45	4.52	4.37	4.70	4.65	4.81	4.70	4.48	4.70	4.42	4.35	4.73	4.89						
6	6	100.00	1	6	10	0.17	4.83	4.50	4.50	4.17	3.83	4.23	4.17	4.67	4.33	4.17	4.33	4.33	4.67						
171	161	94.15	1	6	2	0.03	4.85	4.81	4.75	4.36	4.30	4.65	4.45	4.60	4.53	4.60	4.53	4.43	4.17						
3	3	100.00	1, 5, 6		12, 6, 10	0.00	4.00	3.67	4.67	4.33	4.67	5.00	4.67	4.67	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33						
432	79	18.29				0.25	4.54	4.49	4.53	4.45	4.46	4.56	4.44	4.45	4.54	4.44	4.42	4.45	4.31						
29	23	79.31	1	2	6	0.52	4.52	4.43	4.35	4.43	4.57	4.74	4.61	4.74	4.61	4.43	4.52	4.70	4.50						
10	9	90.00	1	6	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.34	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50						
7	7	100.00	1	6	6	0.33	4.51	4.51	4.86	4.57	4.57	5.00	4.43	4.86	4.86	4.57	4.57	4.57	4.86						
5																									
10																									
23	22	95.65	1	6	2	0.55	3.77	3.50	3.91	4.09	3.82	4.41	3.73	3.88	4.09	3.64	3.64	3.86	4.50						
111	61	54.95				0.48	4.24	4.21	4.31	4.36	4.35	4.71	4.25	4.45	4.50	4.30	4.21	4.37	4.50						
656	493	75.15				0.32	4.46	4.41	4.47	4.45	4.45	4.60	4.38	4.45	4.53	4.40	4.36	4.43	4.55						
8,624	6,490	75.26				0.46	4.34	4.20	4.36	4.42	4.44	4.54	4.36	4.42	4.50	4.43	4.38	4.46	4.53						
共通科目 コミュニケーション・スキルI																									
英語(C)																									
35	34	100.00	9	6	10	0.23	4.53	4.41	4.50	4.35	4.41	4.76	4.59	4.85	4.68	4.53	4.59	4.62	5.00						
35	35	100.00	9	6	10	0.15	4.66	4.69	4.57	4.71	4.71	4.77	4.60	4.60	4.69	4.69	4.69	4.71	4.53						
36	35	97.22	9	6	10	0.51	4.43	4.60	4.51	4.37	4.49	4.74	4.77	4.71	4.66	4.77	4.57	4.60	4.00						
30	30	100.00	9	6	10	0.40	4.60	4.67	4.57	4.73	4.73	4.87	4.83	4.93	4.83	4.93	4.83	4.93	4.87						
32	32	100.00	9	6	10	0.48	4.25	4.28	4.28	4.50	4.47	4.44	4.34	4.50	4.44	4.22	4.41	4.47	4.42						
7	5	71.43	9	6	10	2.00	4.60	4.50	4.60	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80						
33	33	100.00	9	6	10	0.27	4.47	4.43	4.50	4.63	4.67	4.68	4.67	4.68	4.67	4.68	4.67	4.68	4.67						
31	31	100.00	9	6	10	0.19	4.58	4.35	4.55	4.52	4.52	4.94	4.94	4.94	4.87	4.81	4.65	4.84	5.00						
33	33	100.00	9	6	10	0.35	4.45	4.64	4.67	4.48	4.61	4.88	4.91	4.91	4.94	4.85	4.67	4.58	5.00						
37	37	100.00	9	6	10	0.57	4.27	4.32	4.32	4.43	4.49	4.73	4.43	4.78	4.57	4.49	4.51	4.70	4.40						
32	31	96.88	9	6	10	0.52	4.55	4.39	4.55	4.58	4.61	4.84	4.71	4.87	4.87	4.74	4.77	4.87	5.00						
36	31	86.11	9	1	1	0.07	4.10	3.81	4.23	4.10	4.13	4.61	4.03	4.35	4.32	3.97	4.03	3.84	4.00						
31	30	96.77	9	6	10	0.03	4.60	4.47	4.50	4.43	4.53	4.53	4.63	4.67	4.77	4.73	4.70	5.00	4.86						
36																									
36	34	94.44	9	6	10	0.29	3.91	4.26	4.03	4.26	4.41	4.65	4.26	4.09	4.12	4.44	4.41	4.53	4.00						
35	35	100.00	9	6	10	0.26	4.37	4.54	4.37	4.46	4.59	4.86	4.69	4.69	4.69	4.69	4.69	4.57	4.74						
31	30	96.77	9	6	10	0.30	4.57	4.47	4.53	4.53	4.57	4.93	4.70	4.90	4.83	4.67	4.60	4.40	4.77						
32	30	93.75	9	6	10	0.45	4.17	4.17	4.27	4.50	4.43	4.63	4.23	4.53	4.47	4.43	4.47	4.50	4.60						
34	29	85.29	9	6	10	0.43	4.72	4.72	4.83	4.72	4.66	4.90	4.86	4.90	4.93	4.86	4.83	4.76	5.00						
31	29	93.55	9	6	10	0.15	4.38	3.62	4.21	4.17	4.38	4.62	3.90	4.41	4.48	4.03	4.24	3.46	4.00						
37	36	97.30	9	6	10	0.33	4.11	4.14	4.33	4.33	4.36	4.56	4.17	4.39	4.33	4.19	4.06	4.29	3.80						
35	34	97.14	9	6	10	0.46	4.16	4.24	4.24	4.32	4.47	4.32	4.59	4.44	4.53	4.44	4.53	4.59	4.53						
34	32	94.12	9	6	10	0.35	4.28	4.16	4.25	4.41	4.44	4.44	4.34	4.53	4.29	4.50	4.41	4.29	4.40						
34	34	100.00	9	6	10	0.09	4.41	4.50	4.32	4.44	4.47	4.47	4.56	4.62	4.56	4.50	4.47	4.44	5.00						
34	34	100.00	9	6	10	0.37	4.18	4.09	4.00	4.50	4.50	4.50	4.29	4.41	4.35	4.59	4.44	4.76	4.00						
36	36	100.00	9	6	10	0.42	4.06	4.06	4.11	4.31	4.44	4.61	4.53	4.47	4.44	4.53	4.56	4.61	4.50						
34	29	85.29	9	6	10	0.41	4.34	4.14	4.21	4.17	4.34	4.21	4.00	4.31	3.79	4.24	4.24	4.42							
35	35	100.00	9	6	10	0.20	4.69	4.60	4.51	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.57						
34	34	100.00	9	6	10	0.32	3.82	3.82	3.85	3.97	4.06	4.18	4.06	4.15	4.03	4.06	3.94	4.12	3.00						
34	34	100.00	9	6	10	0.27	4.35	4.32	4.32	4.41	4.47	4.59	4.35	4.74	4.62	4.50	4.71	4.79	4.40						
8	7	87.50	9	3	10	2.29	4.14	4.57	3.71	4.43	4.57	4.86	4.86	4.86	4.86	4.86	4.86	4.86	5.00						
34	31	91.18	9	6	10	0.32	4.26	4.35	4.39	4.29	4.30	4.45	4.29	4.48	4.42	4.16	4.48	4.52	4.60						
15	8	53.33	9	2	10	1.38	3.88	4.12	4.25	4.50	4.50	4.12	4.12	4.25	4.12	4.50	4.50	4.50	4.50						
34	33	97.06	9	6	10	0.41	4.42	4.36	4.61	4.36	4.52	4.91	4.61	4.79	4.62	4.70	4.61	4.48	4.30						
31																									
31	30	96.77	9	6	10	0.33	4.27	4.20	4.33	4.40	4.47	4.60	4.70	4.50	4.83	4.63	4.60	4.67	4.23						
33	32	96.97	9	6	10	0.44	4.47	4.47	4.47	4.47	4.50	4.56	4.66	4.59	4.72	4.75	4.56	4.62	4.59						
34																									
36	32	88.89	9	1	6	0.16	4.62	4.25	4.47	4.28	4.38	4.94	4.62	4.81	4.75	4.59	4.55	4.59	5.00						
33	33	100.00	9	6	10	0.58	4.30	4.06	4.36	4.64	4.70	4.61	4.64	4.73	4.70	4.82	4.64	4.70	4.69						
35	35	100.00	9	6	10	0.15	4.17	4.37	4.20	4.40	4.43	4.34	4.37	4.34	4.57	4.47	4.46	4.60	4.49						
34	33	97.06	9	6	10	0.39	4.21	4.39	4.24	4.39	4.39	4.03	4.09	3.97	4.21	4.30	4.30	4.42	3.67						
32	31	96.88	9	6	10	0.26	4.13	3.90	3.97	4.55	4.61	4.61	4.61	4.35	4.26	4.55	4.77	4.42	4.68						

履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)(%)	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	Eラーニング平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オンライン平均	総合平均					
																					7	8	9	10	11
31	29	93.55	9	6	10	0.38	4.31	4.28	4.41	4.59	4.52	4.66	4.69	4.69	4.69	4.66	4.45	4.66	4.45	4.69					
9	8	88.89	9	6	10																				

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基盤教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度前期)

	履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)(%)	動機			欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	ICT平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オアシス	総合平均					
				動機1	動機2	動機3																				
共通科目	コミュニケーション・スキル2	英語(R)	33																							
			31	31	100.00	9	6	6	0.23	4.19	4.03	4.29	4.45	4.58	4.81	4.35	4.35	4.77	4.61	4.39	4.68	4.00	4.48			
			32																							
			32	31	96.88	9	6	1	0.42	3.81	4.00	4.10	4.19	4.26	4.03	3.77	4.26	4.26	3.77	4.19	4.29	3.63	4.06			
			31	28	90.32	9	6	1	0.29	4.36	4.36	3.89	4.50	4.57	4.29	4.00	4.18	4.18	4.46	4.32	4.54		4.29			
			31	30	96.77	9	6	10	0.28	4.50	4.10	4.37	4.45	4.53	4.53	4.13	4.50	4.50	4.47	3.80	4.57	2.50	4.37			
			30																							
			30	28	93.33	9	6	10	0.54	4.36	4.57	4.21	4.46	4.64	4.79	4.43	4.43	4.54	4.54	4.61	4.64	5.00	4.65			
			17	10	58.82	9	2, 3, 6	1, 10	1.11	3.90	4.50	4.20	4.40	4.50	4.60	4.60	4.70	4.80	4.60	4.70	4.80	4.60	4.70			
			35	32	91.43	9	1, 3, 6, 10	6	0.48	4.22	4.19	4.03	4.34	4.47	4.62	4.52	4.38	4.59	4.47	4.38	4.56	4.50	4.53			
			16																							
			18																							
			26	26	100.00	9	6	6	0.04	4.12	3.88	4.00	4.27	4.50	4.62	4.42	4.42	4.42	4.42	4.42	4.15	4.42	4.22	4.50		
			25	24	96.00	9	6	6	0.22	4.21	4.00	4.21	4.29	4.29	4.33	4.25	4.38	4.42	4.42	4.42	4.46	3.50	4.42			
			7	7	100.00	9	10	1	1.57	3.43	3.86	4.14	4.00	4.00	4.71	4.29	4.29	4.29	4.43	4.14	3.86	3.00	4.33			
			1,876	1,546	82.41				0.53	4.17	4.18	4.19	4.37	4.45	4.51	4.31	4.38	4.45	4.43	4.38	4.47	4.16	4.43			
			領域計																							
			共通科目	コミュニケーション・スキル2	ドイツ語	3,711	3,148	84.83				0.90	4.27	4.24	4.26	4.40	4.47	4.57	4.40	4.48	4.51	4.48	4.45	4.28	4.51	
						13	11	84.62	1	6	3	0.66	4.19	3.64	4.27	4.27	4.36	4.44	4.19	4.35	4.55	3.97	4.36	4.53	4.00	
						13	13	100.00	1	6	4	0.46	4.48	3.92	4.38	4.54	4.46	4.69	4.15	4.85	4.92	4.31	4.62	4.62	4.69	
						26	23	88.46	9	1	6	0.39	4.48	3.83	4.39	4.48	4.52	4.57	4.52	4.87	4.91	4.74	4.43	4.74	5.00	4.82
						29	26	89.66	1	6	10	0.84	4.46	4.04	4.27	4.38	4.38	4.46	4.42	4.54	4.38	4.54	4.54	4.62	4.00	4.62
						39	37	94.87	1	13, 6	0.70	4.32	4.05	4.11	4.19	4.41	4.57	4.57	4.70	4.57	4.62	4.54	4.24	5.00	4.58	
						35	31	88.57	1	6, 5, 6	0.39	4.39	4.19	4.26	4.29	4.35	4.42	4.58	4.48	4.35	4.48	4.39	4.45	4.00	4.61	
27	25	92.59				1	6, 10	0.83	4.40	4.00	4.48	4.56	4.52	4.84	4.72	4.64	4.80	4.84	4.64	4.60	4.12	4.64				
52	47	90.38				9	6, 7	1.04	4.35	4.19	4.30	4.32	4.36	4.45	4.47	4.51	4.53	4.53	4.45	4.49	4.40	4.60				
36	35	97.22				9	3	0.44	4.69	4.31	4.66	4.71	4.80	4.40	4.53	4.88	4.77	4.96	4.80	4.80	4.25	4.86				
39	36	92.31				9	3, 6, 9	0.47	4.36	4.28	4.53	4.50	4.56	4.83	4.67	4.86	4.69	4.75	4.72	4.66	4.11	4.75				
34	32	94.12				1	6	1	0.81	4.16	3.88	4.28	4.41	4.50	4.44	4.31	4.53	4.56	4.31	4.50	5.00	4.41				
39	39	100.00				9	1	2	1.15	4.21	3.97	4.21	4.21	4.33	4.31	4.21	4.10	4.26	3.88	4.05	4.32	3.00	4.13			
48	29	60.42				1	1	3	0.39	4.21	3.59	3.93	3.93	4.00	4.31	3.28	4.03	3.66	3.79	4.03	3.00	4.07				
33	30	90.91				1	6	6	0.52	4.00	3.83	4.17	4.07	4.13	3.97	4.03	4.00	4.07	4.03	4.17	4.20	4.12	4.10			
0																										
464	414	89.22							0.65	4.34	3.88	4.30	4.35	4.41	4.49	4.35	4.54	4.52	4.44	4.41	4.49	4.15	4.54			
共通科目	コミュニケーション・スキル2	フランス語				35	31	88.57	1	6	6	0.39	4.81	4.61	4.77	4.61	4.74	4.97	4.90	4.97	4.84	4.97	4.74	4.87	4.97	
						32	27	84.38	1	13, 6	1.19	4.41	4.15	4.44	4.26	4.37	4.63	4.63	4.63	4.67	4.59	4.59	4.52	4.40	4.62	
						37	36	97.30	1	6	10	1.00	4.31	4.11	4.36	4.58	4.58	4.64	4.56	4.50	4.67	4.64	4.56	4.67	4.64	4.75
						19	16	84.21	1	3	6	0.00	4.88	4.25	4.81	4.88	4.94	4.84	4.88	5.00	4.94	4.84	4.88	4.94	5.00	5.00
						18	18	100.00	1	6	10	0.38	4.94	4.81	4.94	4.88	4.88	5.00	4.84	5.00	4.88	4.88	4.89	4.94	5.00	4.94
						45	40	88.89	9	1	6	0.62	4.58	4.47	4.68	4.58	4.65	4.75	4.68	4.85	4.70	4.70	4.78	4.78	4.92	4.82
						0																				
			186	166	88.25				0.60	4.66	4.40	4.67	4.63	4.69	4.80	4.77	4.63	4.76	4.79	4.71	4.79	4.79	4.85			
			共通科目	コミュニケーション・スキル2	ロシア語	6	6	100.00	9	1	6	0.50	4.33	3.83	4.50	4.83	4.83	4.83	4.67	4.67	4.83	4.83	4.83	4.83	4.67	
						13	10	76.92	1	6	6	0.70	4.70	4.20	4.50	4.70	4.70	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	5.00	4.90	
						36	32	88.89	1	6	10	0.97	4.50	4.06	4.66	4.34	4.41	4.53	4.59	4.81	4.53	4.59	4.56	4.53	4.00	4.61
						14	14	100.00	9	1	6	0.36	4.71	4.64	4.79	4.79	4.64	4.64	4.79	4.71	4.66	4.79	4.71	4.66	4.79	
2	2	100.00				1	6, 2, 3	0.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00			
0																										
71	64	90.14							0.51	4.65	4.25	4.69	4.72	4.62	4.62	4.63	4.74	4.62	4.76	4.67	4.76	4.50	4.62			
共通科目	コミュニケーション・スキル2	中国語				36	32	88.89	9	6, 4, 6, 10	0.41	4.16	4.09	4.19	4.22	4.31	4.59	4.34	4.53	4.47	4.25	4.44	4.38	4.25	4.55	
						66	57	86.36	1	6, 1, 2, 4	0.68	4.14	4.30	4.21	4.49	4.47	4.63	4.58	4.44	4.39	4.37	4.51	4.42	4.00	4.54	
						59	49	83.05	1	6	10	0.62	4.61	4.20	4.49	4.49	4.45	4.53	4.33	4.51	4.57	4.37	4.37	4.57	4.20	4.55
						23	23	100.00	9	1	6	0.61	4.61	4.74	4.74	4.57	4.61	4.78	4.70	4.78	4.65	4.61	4.70	4.78	5.00	4.78
						5	5	100.00	1	6	10	0.60	4.20	4.20	4.40	3.80	4.00	4.40	4.60	4.60	4.60	4.40	4.40	4.60	3.00	4.60
			39	38	97.44	9	1, 6	6	0.16	4.39	4.11	4.37	4.24	4.32	4.50	4.34	4.38	4.18	4.55	4.24	3.00	4.53				
			48	45	93.75	1	6	1	0.45	4.40	4.31	4.62	4.36	4.42	4.56	4.33	4.40	4.53	4.40	4.53	4.47	4.50	4.53			
			39	35	89.74	9	1	6	0.53	4.43	4.34	4.54	4.54	4.54	4.77	4.46	4.66	4.63	4.34	4.66	4.63	4.50	4.64			
			54	50	92.59	9	1	6	0.34	4.12	4.16	4.18	4.12	4.18	4.36	4.36	4.28	4.36	4.16	4.36	4.30	4.25	4.36			
			69	60	86.96	1	6	10	0.43	4.12	4.17	4.23	4.13	4.15	4.22	4.12	3.93	4.13	3.93	4.20	4.15	3.85	4.25			
			22	21	95.45	1	6	10	0.38	4.62	4.33	4.43	4.48	4.33	4.81	4.62	4.66	4.71	4.33	4.67	4.62	5.00	4.71			
			25	25	100.00	2	6	4	0.38	3.76	3.52	3.52	3.68	3.76	3.48	3.24	3.20	3.56	3.08	3.64	3.48	3.92	3.36			

山形大学基盤教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度前期)

	履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)(%)	動機			欠席者数平均	意欲平均	理解平均
--	-----------	--------	-------------	----	--	--	--------	------	------

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度前期)

履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	欠席率平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	E-Learning平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	OJイン平均	総合平均
15	13	86.67	1	2	10	0.46	4.65	4.69	4.65	4.65	4.77	4.65	4.69	4.54	4.69	4.92	4.29	4.56	5.00	4.69
27	22	81.48	1	2	3, 6, 10	1.10	4.45	4.66	4.57	4.29	4.36	4.64	4.53	4.43	4.63	4.53	4.44	4.17	3.93	4.63
12	11	91.67	1	6	10	0.64	4.91	4.82	4.73	4.82	4.73	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.73	4.73	5.00	5.00
36	34	94.44	1	2, 4	10	0.25	4.85	4.76	4.65	4.62	4.56	4.68	4.53	4.65	4.62	4.56	4.32	4.47	4.77	4.74
48	46	95.83	1, 2	10	10	0.40	4.85	4.80	4.76	4.74	4.65	4.87	4.74	4.76	4.70	4.15	4.33	4.32	4.50	4.81
26	25	96.15	1	2	10	0.09	4.96	4.72	4.72	4.64	4.60	4.68	4.56	4.84	4.84	4.76	2.75	4.68	4.75	4.96
16	16	100.00	1	1	3	1.20	4.88	4.75	4.94	4.88	4.88	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.88	5.00	5.00	5.00
20	16	80.00	1	2	10	0.33	4.94	4.81	4.69	4.75	4.62	4.69	4.56	4.62	4.75	4.44	4.62	5.00	4.89	4.85
31	25	80.65	1	2	10	0.17	4.80	4.64	4.64	4.68	4.56	4.64	4.56	4.64	4.63	4.56	4.56	4.56	4.66	4.76
26	24	92.31	1	2	10	0.83	4.92	4.92	4.67	4.63	4.68	4.64	4.92	4.88	4.88	4.75	4.50	5.00	4.91	4.91
21	19	90.48	1	6	10	0.82	4.53	4.58	4.63	4.37	4.32	4.76	4.47	4.63	4.16	4.47	4.42	4.37	4.40	4.58
24	22	91.67	1	6, 10	10	0.45	4.64	4.41	4.55	4.36	4.45	4.68	4.45	4.50	4.36	4.50	3.85	4.23	4.33	4.59
30	29	96.67	1	2	6	0.52	4.62	4.62	4.43	4.17	4.21	4.04	3.79	3.82	4.21	3.48	3.73	3.79	4.22	4.21
10	10	100.00	1	2	10	0.11	4.90	4.60	4.80	4.90	4.90	4.90	5.00	5.00	5.00	4.90	4.70	5.00	5.00	5.00
33	31	93.94	1, 2, 6	10	10	0.57	4.65	4.48	4.61	4.74	4.68	4.64	4.74	4.65	4.64	4.65	4.52	4.65	4.38	4.87
19	19	100.00	1	2	10	0.06	4.89	4.63	4.68	4.74	4.63	4.95	4.64	4.74	4.68	4.79	4.05	4.42	5.00	5.00
38	38	97.44	1	1, 4	4	0.79	4.84	4.74	4.79	4.64	4.64	4.64	4.94	4.89	4.82	4.61	3.90	4.93	4.93	4.93
896	839	93.64				0.46	4.76	4.71	4.66	4.65	4.63	4.77	4.69	4.70	4.71	4.72	4.34	4.50	4.63	4.82
22	20	90.91	1	6	10	0.30	4.55	4.40	4.55	4.60	4.55	4.65	4.45	4.50	4.60	4.65	4.65	4.65	4.50	4.60
38	20	51.28				0.30	4.55	4.40	4.55	4.60	4.55	4.65	4.45	4.50	4.60	4.65	4.65	4.65	4.50	4.60
1338	1208	90.28				0.46	4.71	4.64	4.62	4.62	4.60	4.72	4.65	4.60	4.68	4.68	4.35	4.51	4.61	4.77
40	38	95.00	9	5	1	0.73	4.05	3.61	4.03	3.95	4.11	4.13	3.79	3.53	4.03	3.76	3.87	4.21	4.00	4.08
67	63	94.03	9	5	6	0.65	4.41	3.86	4.33	4.49	4.44	4.30	3.86	3.70	4.26	4.35	4.21	4.39	4.50	4.18
58	51	87.93	9	5	1, 10	0.12	4.22	4.27	4.31	4.37	4.33	4.25	4.20	3.76	4.24	4.18	4.25	3.77	4.00	4.16
74	69	93.24	9	5	10	0.90	4.12	4.12	4.20	4.28	4.29	4.16	4.07	3.75	4.17	4.10	4.00	4.33	3.75	4.21
147	144	97.96	1	5	3	0.43	4.47	4.20	4.38	4.57	4.61	4.53	4.36	3.90	4.58	4.51	4.34	4.55	4.35	4.60
110	95	86.36	9	2	5	0.52	4.11	4.20	4.17	4.38	4.39	4.32	4.21	3.81	4.35	4.31	4.38	4.39	3.75	4.30
62	57	91.94	9	5	5	0.88	4.09	3.42	3.91	4.16	4.21	3.74	3.12	3.00	3.84	3.58	3.81	4.15	3.88	3.56
67	62	92.54	9	5	6	0.46	4.40	4.31	4.50	4.55	4.61	4.50	4.60	3.74	4.50	4.63	4.52	4.61	4.00	4.68
46	39	84.78	9	5	5	0.29	4.15	3.77	4.00	4.21	4.23	3.67	3.64	3.50	3.87	3.26	3.82	4.11	4.00	3.63
85	65	100.00	9	5, 4, 5	4	0.27	4.26	4.06	4.27	4.42	4.38	4.09	3.93	3.80	4.37	4.08	4.25	4.42	3.73	4.14
736	623	84.63				0.53	4.23	3.88	4.21	4.34	4.36	4.17	3.98	3.65	4.22	4.08	4.15	4.25	4.00	4.13
93	89	95.70	9	5	1	0.31	4.25	3.89	3.86	4.15	4.27	4.26	3.83	3.65	4.13	4.34	4.18	3.94	3.58	4.07
53	49	92.45	1	5	1	0.72	4.00	3.49	3.86	4.22	4.39	4.35	3.94	3.80	4.41	4.45	4.41	4.39	4.16	4.10
108	94	87.04	5	5	1	0.31	4.00	3.55	3.97	4.06	4.12	4.04	3.66	3.09	4.02	3.68	3.76	4.15	3.92	3.98
31	30	96.77	1	1	2	0.53	4.37	4.07	4.30	4.47	4.67	4.53	4.50	4.13	4.73	4.67	4.50	4.53	4.00	4.63
113	102	90.27	5	1	1	0.35	4.10	3.84	4.16	4.28	4.31	4.18	3.86	3.78	4.24	4.10	4.17	3.77	4.28	4.09
199	185	92.96	1	5	1	0.32	4.30	4.35	4.32	4.58	4.59	4.55	4.47	4.03	4.70	4.63	4.61	4.57	4.58	4.63
50	51	102.00	1, 9	4	6	0.45	4.10	4.25	4.31	4.59	4.51	4.43	4.22	4.00	4.41	4.20	4.47	4.54	3.60	4.48
647	610	94.28				0.43	4.16	3.92	4.13	4.34	4.41	4.33	4.10	3.76	4.36	4.30	4.30	4.27	4.02	4.26
91	89	97.81	9	5	1	0.46	4.19	3.84	4.28	4.41	4.43	4.22	3.91	3.39	4.42	4.49	4.22	4.37	5.00	4.07
83	82	98.80	1	1	6	0.29	4.52	4.22	4.45	4.52	4.61	4.68	4.60	4.43	4.68	4.60	4.70	4.70	4.56	4.74
65	60	92.31	1, 1, 5	10	6	0.41	4.48	4.30	4.42	4.50	4.63	4.73	4.63	4.57	4.75	4.72	4.72	4.64	4.20	4.67
30	25	83.33	1	5, 10	10	0.25	4.08	3.80	4.21	4.16	4.36	4.08	4.12	3.68	4.33	4.04	4.32	4.08	4.00	4.28
86	84	97.67	1	5	6	0.28	4.12	3.58	4.00	4.13	4.27	4.27	3.89	3.48	4.38	4.24	4.10	4.20	3.94	4.25
74	67	90.54	1	6	6	0.39	4.56	3.99	4.32	4.66	4.78	4.68	4.70	4.67	4.82	4.73	4.73	4.73	4.17	4.81
429	327	76.22				0.35	4.33	3.86	4.21	4.40	4.51	4.49	4.21	4.04	4.56	4.21	4.47	4.46	4.31	4.48
1812	1680	92.72				0.45	4.23	3.96	4.21	4.35	4.41	4.30	4.10	3.79	4.36	4.20	4.28	4.31	4.09	4.28
305	212	69.51	1	2	6	0.64	4.41	4.42	4.45	4.41	4.43	4.68	4.47	4.54	4.62	4.59	4.53	4.62	4.10	4.61
127	125	98.43	1	2	2	0.45	4.74	4.65	4.62	4.66	4.53	4.97	4.74	4.74	4.67	4.78	4.61	4.80	4.82	4.89
295	285	96.83	1	2	6	0.90	4.47	4.53	4.52	4.52	4.54	4.71	4.63	4.66	4.71	4.74	4.64	4.64	4.53	4.73
210	173	82.38	1	6	6	0.42	4.51	4.50	4.54	4.46	4.46	4.75	4.55	4.61	4.64	4.55	4.58	4.67	3.71	4.64
937	775	82.71				0.60	4.53	4.53	4.53	4.51	4.49	4.78	4.60	4.64	4.66	4.67	4.59	4.68	4.29	4.72
10501	9242	88.01				0.46	4.41	4.29	4.40	4.44	4.49	4.62	4.37	4.32	4.52	4.43	4.41	4.49	4.27	4.53
24483	20189	82.461				0.47	4.26	4.20	4.31	4.35	4.36	4.45	4.28	4.18	4.44	4.37	4.35	4.42	4.25	4.39

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度前期)

科目	領域	授業科目	授業科目名	代表教員名	履修登録 人数	回答数 (%)	動機1	動機2	動機3	授業 改善 率	理解 率	向上 率	学び の 楽し み	評価 の 高 さ	満足 の 度	授業 の 質	授業 の 量	資料 の 質	環境 の 質	学び の 意 義							
教養科目	自然と化学	教養セミナー	基礎の化学—小学校教員をめざす人のために—(化学)	石井 実	16	19.000	2	6	10	34.7	2.58	4.05	4.16	4.53	4.32	4.53	4.43	4.58	4.32	4.41	4.50	4.50					
			人間の生活と物理学(教養セミナー)	岩田 高広	37	32	86.49	1	6	2	6	10	4.09	4.38	4.31	4.47	4.58	4.38	4.28	4.69	4.53	4.41	4.25	4.47	4.50		
			身の回りの科学(教養セミナー)	近藤 慎一	19	16	84.21	1	6	2	10	0.19	4.81	4.56	4.75	4.50	4.38	4.56	4.81	4.50	4.69	4.31	4.62	4.33	4.73		
			サイエンスコミュニケーションII(教養セミナー)	山本 謙久	29	28	96.55	1	6	6	6	6	3.98	4.71	4.67	4.75	4.71	4.66	4.71	4.64	4.68	4.51	4.75	4.80	4.78		
			教材と生物を考える(教養セミナー)	塚本 隆子	20	19	95.00	1	6	6	6	6	3.58	4.63	4.64	4.68	4.56	4.63	4.74	4.58	4.70	4.68	4.79	4.63	4.63	4.67	
			環境問題を考える(教養セミナー)	日野 修次	6	6	100.00	1	6	10	10	0	4.30	4.33	4.50	4.67	4.33	4.43	4.83	4.80	4.63	4.67	4.83	4.67	4.33	4.67	
			大学の学びと多様性(教養セミナー)	山口 良枝	12	10	83.33	1	6	5	5	5	3.50	4.60	4.40	4.60	4.60	4.50	4.80	4.60	4.70	4.80	4.40	4.60	4.60	4.60	
			大卒学生の基礎知識(生物・化学・物理)(教養セミナー)	鈴木 達彦	38	33	86.84	1	6	6	6	6	3.97	4.71	4.66	4.73	4.64	4.65	4.50	4.50	4.62	4.55	4.61	4.50	4.50	4.50	
			物理実験とプレゼンテーション(教養セミナー)	大西 彰正	9	8	88.89	1	5	6	6	6	0.69	4.33	4.22	4.43	4.51	4.48	4.39	4.09	4.27	4.51	4.52	4.58	4.60	4.48	
			物理学入門(教養セミナー)	田村 隆	9	8	100.00	1	6	10	10	3	4.30	4.75	4.26	4.60	4.68	4.50	4.80	4.68	4.50	4.75	4.60	4.75	5.00	4.68	
			生物・化学・物理の基礎知識(教養セミナー)	鈴木 達彦	43	33	76.74	1	6	6	6	6	4.00	4.70	4.60	4.60	4.50	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	
			1.1から1.6まで(応用)	安田 弘法	128	103	81.75	1	6	2	2	2	4.48	4.34	4.37	4.32	4.39	4.31	4.32	4.16	3.91	4.30	4.21	4.28	4.25	4.36	4.30
			キャリア開発入門(学際)	小倉 泰幸	16	14	87.50	1	6	3	3	3	0.93	4.29	4.50	4.57	4.71	4.64	4.57	4.79	4.43	4.71	4.79	4.64	4.70	4.68	
			化学と生物・食品・ライフサイエンス(学際)	塩野 義人	222	197	88.74	1	2	2	2	2	4.45	4.15	4.10	4.16	4.24	4.10	4.20	4.07	3.98	4.31	4.19	4.24	4.24	4.34	4.23
			スタートアップ—起業家になる—(学際)	鈴木 達彦	23	22	95.65	1	6	2	3	3	1.0	4.68	4.13	4.22	4.35	4.50	4.30	4.62	4.56	4.91	4.51	4.62	4.60	4.65	
スタートアップ—山形の発展の鍵(フレンドシップI)(学際)	松坂 晴浩	34	34	100.00	1	6	8	8	8	4.41	4.82	4.82	4.71	4.44	4.53	4.88	4.59	4.71	4.74	4.71	4.62	4.71	4.70				
多文化交流II(教養セミナー)	北 敏博	22	22	100.00	1	6	3	3	3	0.29	4.68	4.50	4.50	4.45	4.50	4.73	4.64	4.82	4.59	4.55	4.41	4.59	4.43	4.73			
多文化交流III(教養セミナー)	内海 由美子	19	19	100.00	1	6	6	6	6	0.59	4.79	4.49	4.64	4.74	4.69	4.60	4.50	4.50	4.50	4.69	4.68	4.67	4.69				
学生生活論(教養セミナー)	河 井	11	11	100.00	1	6	2	2	2	0.27	4.76	4.73	4.64	4.45	4.62	4.55	4.73	4.62	4.73	4.18	4.45	4.61	4.63				
みずから学ぶI(教養セミナー)	千代 謙久	100	91	91.00	1	2	6	6	6	0.78	4.60	4.74	4.75	4.63	4.68	4.78	4.68	4.68	4.68	4.62	4.66	4.80	4.76				
舞台をつくろう2016(教養セミナー)	山本 謙久	24	22	91.67	1	6	10	10	10	1.18	4.59	4.55	4.41	4.88	4.41	4.45	4.57	4.82	4.55	4.68	4.45	4.50	4.82				
学生生活論(教養セミナー)	山口 良枝	44	42	95.45	1	6	6	6	6	3.78	4.62	4.43	4.49	4.31	4.38	4.68	4.43	4.17	4.38	4.28	4.36	4.31	4.50				
生活の中の数学(教養セミナー)	大澤 弘典	43	42	97.67	1	6	2	2	2	0.82	4.62	4.60	4.64	4.62	4.60	4.60	4.61	4.63	4.60	4.69	4.74	4.83	5.00	4.88			
1.1から1.6まで(応用)	劉 健	45	44	97.78	1	4	1	1	1	1.10	4.48	4.41	4.52	4.34	4.38	4.70	4.61	4.68	4.61	4.70	4.55	4.39	3.71	4.73			
新聞(山形を知る)(地域学)	山本 謙久	30	28	93.33	1	6	10	10	10	0.15	4.19	4.19	4.35	4.42	4.42	4.54	4.19	4.08	4.46	4.21	4.23	4.32	4.40	4.35			
山形の自然と文化(地域学)	岩本 光雄	74	74	100.00	1	6	6	6	6	0.66	4.17	4.29	4.34	4.74	4.48	4.63	4.63	4.63	4.67	4.67	4.67	4.67	4.67	4.67			
津波(地域学)	長谷 裕	13	13	100.00	1	6	10	10	10	0.31	4.46	4.52	4.65	4.92	5.00	5.00	4.46	4.58	4.69	4.69	4.69	4.69	4.69	4.69			
人間の生活と食の安全・安心II(地域学)	長谷 裕	139	124	89.21	1	6	9	9	9	0.31	4.18	4.08	4.23	4.26	4.29	4.30	4.13	3.69	4.25	4.07	4.19	3.76	3.75	4.28			
食生活論(地域学)	塩野 義人	1	1	100.00	1	6	5	5	5	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00				
食生活論(地域学)	塩野 義人	20	20	100.00	1	6	6	6	6	0.44	4.69	4.69	4.78	4.67	4.78	4.69	4.69	4.69	4.69	4.69	4.69	4.69	4.69	4.69			
地方産業戦略(地域学)	堀内 史朗	26	23	88.46	1	6	10	10	10	0.32	4.48	4.52	4.57	4.70	4.65	4.61	4.70	4.70	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40			
特許活用戦略(地域学)	鈴木 洋	7	6	85.71	1	6	10	10	10	0.17	4.83	4.50	4.17	3.83	3.83	4.17	4.97	4.37	4.37	4.17	4.33	4.33	4.67	4.33			
フリーランス—仕事の見つけ方(地域学)	野村 真	171	181	105.85	1	6	2	2	2	0.33	4.55	4.67	4.68	4.67	4.57	4.69	4.43	4.68	4.69	4.37	4.59	4.57	4.68				
地域(く)か山形学(地域学)	村松 真	3	3	100.00	1	5	6	6	6	2.6	4.10	4.00	4.00	3.67	4.67	4.33	4.67	4.67	4.67	4.33	4.33	4.33	4.33				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	10	10	10	0.50	4.11	4.33	4.11	4.33	4.44	4.67	4.22	4.33	4.44	4.56	4.11	4.33	4.50				
山形大学って何だろう(教養セミナー)	山本 謙久	10	9	90.00	1	6	1																				

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度前期)

科目	領域	授業科目	授業科目名	代表教員名	履修登録 人数(n)	回答数 (%)	出席率 (%)	動機1	動機2	動機3	授業 満足度	理解 満足度	向上 満足度	評価 満足度	態度 満足度	授業 方法 満足度	学び 楽しさ 満足度	教材 満足度	資料 満足度	環境 満足度	評価 満足度	その他				
																							平均	標準偏差	最大	最小
教養科目	コミュニケーション・スキル	フランス語	ドイツ語I2	渡辺 将尚	27	25	92.59	1	6	6	10	4.40	4.00	4.48	4.56	4.52	4.84	4.10	4.84	4.64	4.80	4.12	4.64			
			ドイツ語IB	押根 望生	34	32	94.12	1	6	1	0.81	4.16	3.88	4.28	4.41	4.50	4.44	4.31	4.53	4.56	4.56	4.31	4.50	5.00	4.41	
			ドイツ語IIC	渡辺 将尚	39	38	97.46	1	3	6	9	0.47	4.38	4.28	4.53	4.50	4.56	4.83	4.67	4.88	4.69	4.75	4.72	4.66	4.11	4.75
			ドイツ語IB	嶋田 啓	37	36	97.30	1	6	7	1	0.68	4.18	4.30	4.32	4.38	4.45	4.47	4.51	4.53	4.53	4.53	4.43	4.49	4.50	4.53
			ドイツ語IIC	加藤 健司	36	35	97.22	1	6	3	4	0.44	4.69	4.31	4.66	4.71	4.80	4.40	4.83	4.86	4.77	4.88	4.80	4.80	4.25	4.88
			ドイツ語IB	押根 望生	38	38	100.00	1	1	2	1.15	4.21	3.97	4.21	4.21	4.33	4.31	4.21	4.10	4.26	4.38	4.05	4.32	4.00	4.13	4.13
			ドイツ語IIC	松崎 裕人	33	30	90.91	1	6	9	0.52	4.00	3.83	4.17	4.07	4.13	3.97	4.03	4.00	4.07	4.03	4.17	4.20	4.12	4.10	4.10
			ドイツ語IIC	シムラツマツルニル	54	53	98.15	1	1	6	0.29	4.22	3.28	3.58	3.85	4.00	4.37	3.88	4.00	4.07	3.78	4.00	3.87	3.78	4.00	4.07
			フランス語I	大久保 清剛	37	36	97.30	1	6	10	1.00	4.31	4.11	4.38	4.58	4.64	4.56	4.50	4.67	4.64	4.56	4.67	4.64	4.56	4.67	4.64
			フランス語I	大久保 清剛	45	40	88.89	1	6	6	0.62	4.58	4.47	4.68	4.58	4.65	4.76	4.68	4.65	4.70	4.70	4.78	4.78	4.78	4.78	4.82
			フランス語I	橋本 良祐	19	16	84.21	1	3	6	0.00	4.88	4.25	4.81	4.88	4.94	4.94	4.88	5.00	4.94	4.84	4.88	4.94	5.00	5.00	5.00
			フランス語I	橋本 良祐	31	28	90.32	1	3	6	0.21	4.81	4.21	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81
			フランス語I	合田 睦生	16	16	100.00	1	6	10	0.38	4.94	4.81	4.94	4.88	4.88	5.00	5.00	4.88	4.88	4.88	4.88	4.88	4.88	4.88	4.88
			フランス語I	橋本 良祐	32	27	84.38	1	1	3	6	1.19	4.41	4.15	4.44	4.28	4.37	4.63	4.63	4.63	4.67	4.59	4.59	4.52	4.40	4.62
			ロシア語I	大野 尚樹	13	10	76.92	1	6	9	0.70	4.70	4.20	4.50	4.70	4.70	4.80	4.80	4.50	4.40	4.80	4.40	4.80	4.40	4.60	4.90
	ロシア語I	相澤 直樹	38	32	84.21	1	6	10	0.87	4.50	4.06	4.68	4.54	4.41	4.53	4.59	4.61	4.53	4.59	4.56	4.50	4.60	4.61	4.61		
	ロシア語I	相澤 直樹	14	14	100.00	1	1	8	0.38	4.71	4.64	4.78	4.79	4.84	4.64	4.78	4.71	4.88	4.79	4.57	4.88	4.57	4.88	4.93		
	ロシア語I	大野 尚樹	6	6	100.00	1	6	9	0.50	4.33	3.83	4.50	4.83	4.83	4.83	4.67	4.67	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83	4.87		
	ロシア語I	相澤 直樹	2	2	100.00	1	6	2	3	0.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00		
	ロシア語I	相澤 直樹	54	50	92.59	1	6	10	0.26	4.12	4.18	4.18	4.12	4.10	4.26	4.26	4.29	4.12	4.15	4.26	4.15	4.26	4.25	4.26		
	中国語	中国語I	西上 紀江子	56	49	87.50	1	6	10	0.62	4.61	4.20	4.48	4.48	4.45	4.53	4.43	4.51	4.57	4.47	4.37	4.37	4.57	4.55		
		中国語I	劉 倉豪	36	32	88.89	1	6	4	6	0.41	4.16	4.09	4.19	4.22	4.31	4.59	4.34	4.53	4.47	4.25	4.44	4.38	4.25	4.55	
		中国語I	シムラツマツルニル	54	53	100.00	1	1	6	0.29	4.22	3.28	3.58	3.85	4.00	4.37	3.88	4.00	4.07	3.78	4.00	3.87	3.78	4.00	4.07	
		中国語I	福山 泰明	38	35	92.11	1	6	6	0.53	4.43	4.34	4.54	4.54	4.54	4.77	4.46	4.68	4.63	4.64	4.66	4.63	4.63	4.64	4.64	
		中国語I	相澤 直樹	66	60	90.91	1	6	10	0.43	4.12	4.17	4.23	4.13	4.15	4.22	4.12	3.93	4.13	3.93	4.20	4.15	3.93	4.25	4.28	
中国語I		許 晋豪	66	57	86.36	1	6	1	2	4	0.88	4.14	4.20	4.21	4.49	4.47	4.83	4.58	4.44	4.39	4.27	4.51	4.42	4.40		
中国語I		李 漢江	42	37	88.10	1	6	10	0.38	4.62	4.43	4.63	4.48	4.48	4.52	4.83	4.64	4.48	4.39	4.27	4.51	4.42	4.40	4.54		
中国語I		相澤 直樹	5	5	100.00	1	6	10	0.60	4.20	4.20	4.40	3.80	4.00	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40		
中国語I		劉 倉豪	46	45	97.83	1	9	1	0.45	4.40	4.31	4.42	4.38	4.42	4.56	4.33	4.40	4.53	4.40	4.53	4.47	4.50	4.53			
中国語I		劉 倉豪	39	38	97.46	1	6	9	0.18	4.39	4.11	4.37	4.24	4.22	4.30	4.30	4.38	4.18	4.25	4.24	4.30	4.24	4.30	4.53		
韓国語	韓国語I	上 尚	35	31	88.57	1	6	4	0.18	4.50	4.29	4.52	4.52	4.78	4.48	4.32	4.24	4.30	4.34	4.31	4.38	4.30	4.33			
	韓国語I	權 韓鶴	38	38	100.00	1	6	10	0.82	4.45	4.29	4.42	4.29	4.18	4.84	4.50	4.78	4.68	4.74	4.50	4.63	5.00	4.55			
	韓国語I	崔 錦誌	38	38	100.00	1	6	9	0.32	4.63	4.32	4.71	4.53	4.58	4.82	4.61	4.76	4.61	4.55	4.55	4.62	4.63	4.63			
	韓国語I	崔 錦誌	54	53	100.00	1	1	6	0.29	4.22	3.28	3.58	3.85	4.00	4.37	3.88	4.00	4.07	3.78	4.00	3.87	3.78	4.00	4.07		
	韓国語I	崔 錦誌	9	10	111.11	1	5	6	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
日本語	日本語上級1(春)聴く(日本語A)	菅沢 尚子	5	5	100.00	1	5	1	0.17	4.67	4.83	4.50	4.83	4.83	4.67	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83			
	日本語上級1(春)書く(日本語A)	菅沢 尚子	5	5	100.00	1	5	1	0.17	4.67	4.83	4.50	4.83	4.83	4.67	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83			
	日本語上級1(春)聞く(日本語D)	内海 由美子	19	19	100.00	1	5	1	4	0.42	4.84	4.74	4.88	4.95	4.89	4.89	4.89	4.95	4.95	4.84	4.89	4.25	4.89			
	日本語上級1(春)話す(日本語B)	内海 由美子	17	9	52.94	1	9	1	0.29	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00			
	日本語上級2(春)聴く(日本語A)	遠藤 孝幸	6	6	100.00	1	9	3	5	0.38	4.98	4.25	4.98	4.88	4.88	5.00	4.92	4.78	4.88	4.75	4.88	4.75	4.88	4.88		
	日本語上級2(春)書く(日本語C)	渡辺 文生	19	13	68.42	5	4	0	3	0.31	4.92	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00			
	情報リテラシー	情報処理	安田 淳一郎	54	45	83.33	9	8	10	0.18	4.40	4.47	4.71	4.60	4.60	4.82	4.78	4.53	4.87	4.78	4.73	4.64	4.80	4.80		
	情報処理	中井 宇彦	23	21	91.30	1	6	9	0.28	4.62	4.60	4.64	4.62	4.53	4.27	4.63	4.62	4.63	4.62	4.63	4.62	4.63	4.63			
	情報処理	吉田 浩司	50	48	96.00	1	6	10	0.28	4.17	4.04	4.50	4.33	4.33	4.19	4.23	3.90	4.56	4.42	4.28	4.23	4.20	4.20			
	情報処理	原無漢 芳雄	50	47	94.00	1	6	10	0.40	4.00	3.79	4.28	4.02	3.98	4.06	3.91	3.74	4.13	4.08	3.98	4.13	4.25	4.09			
情報処理	田島 清久	26	26	100.00	1	2	1	0.42	4.12	4.12	4.35	4.15	4.27	4.04	4.08	4.08	4.15	4.15	4.27	4.27	3.76	4.27				
情報処理	湯切 剛博	74	71	95.95	1	6	9	0.28	4.62	4.60	4.64	4.62	4.25	4.09	4.15	3.98	4.34	4.18	4.39	4.30	4.33	4.33				
情報処理	田島 清久	60	56	93.33	2	2	1	2	0.41	4.00	4.00	4.09	4.11	4.09	3.95	3.92	3.50	4.20	3.82	4.12	4.25	4.18				
情報処理	田島 清久	41	39	95.12	1	6	9	0.37	4.28	4.44	4.54	4.49	4.49	4.49	4.41	4.33	4.62	4.44	4.52	4.49	3.83	4.46				
情報処理	原田 龍一郎	64	50	78.13	1	6	9	0.21	4.50	4.46	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50				
情報処理	中井 宇彦	50	50	100.00	1	6	10	0.25	4.32	4.28	4.44	4.34	4.54	4.42	4.24	4.48	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50				
情報処理	杉野 崇司	64	62	96.88	1	6	10																			

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度後期)

導入科目	履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	OJ平均	総合平均	
																						領域計
スタートアップセミナー	14	6	42.86	9	10	6	1.40	3.83	4.17	4.33	4.33	4.33	4.00	4.17	4.33	4.33	4.50	4.33	4.33	4.33	5.00	4.17
	14	6	42.86				1.40	3.83	4.17	4.33	4.33	4.33	4.00	4.17	4.33	4.33	4.50	4.33	4.33	4.33	5.00	4.17
	30	26	86.67	1	6	10	0.36	4.35	4.19	4.15	4.38	4.35	4.12	4.04	3.77	4.19	4.23	4.04	4.36	4.00	4.08	4.67
	23	19	82.61	1	1	2	0.84	4.74	4.68	4.79	4.74	4.79	4.63	4.68	4.53	4.58	4.84	4.58	4.74	4.60	4.67	4.67
	5																					
	19	15	78.95	1	6	3	0.20	4.60	4.47	4.64	4.40	4.47	4.67	4.60	4.80	4.60	4.67	4.47	4.33	4.00	4.53	4.53
	37	35	94.59	1	6	10	0.46	4.29	4.40	4.51	4.49	4.37	4.40	4.34	4.23	4.37	4.51	4.29	4.34	4.29	4.48	4.48
	34	33	97.06	1	6	6	0.06	4.58	4.61	4.61	4.52	4.42	4.45	4.55	4.30	4.39	4.58	4.33	4.36	4.20	4.64	4.64
	148	128	86.49				0.38	4.51	4.47	4.54	4.51	4.48	4.45	4.44	4.33	4.43	4.57	4.34	4.43	4.22	4.48	4.48
	162	134	82.72				0.55	4.40	4.42	4.51	4.48	4.46	4.38	4.40	4.33	4.41	4.56	4.34	4.41	4.35	4.43	4.43
人間を考える	9	9	100.00	1, 2, 9	1, 6	1, 6	3.00	4.00	4.33	4.33	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	66	40	60.61	9	2	3	1.65	4.08	4.28	4.35	4.50	4.47	4.45	4.30	4.03	4.00	4.47	4.55	4.51	4.50	4.46	4.46
	10																					
	83	43	51.81				2.33	4.04	4.31	4.34	4.75	4.74	4.78	4.65	4.82	4.80	4.74	4.78	4.76	3.75	4.73	4.73
	17	12	70.59	9	6	6, 9	1.83	3.92	4.00	4.25	4.33	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17	4.08	3.25	4.17
	30	23	76.67	9	2	6	1.57	3.96	3.83	4.17	4.30	4.52	4.13	4.09	3.61	4.52	4.35	4.43	4.35	4.55	4.17	4.17
	6																					
	26	20	76.92	9	1, 3, 6	1, 3	1.35	4.15	4.20	4.25	4.35	4.25	4.45	4.40	4.70	4.50	4.60	4.40	4.50	4.00	4.53	4.53
	79	55	69.62				1.58	4.01	4.01	4.22	4.33	4.31	4.25	4.22	4.08	4.48	4.46	4.33	4.31	3.93	4.29	4.29
	162	98	60.49				1.88	4.02	4.13	4.27	4.50	4.48	4.44	4.39	4.25	4.61	4.57	4.51	4.49	3.86	4.47	4.47
共生を考える	120	102	85.00	1	6	2	0.70	4.14	4.00	4.23	4.43	4.42	4.32	4.27	3.98	4.43	4.43	4.44	4.34	4.00	4.39	4.39
	156	128	82.05	1	6	2	0.91	3.95	3.80	4.06	4.38	4.40	4.20	3.82	3.94	4.31	3.95	4.29	4.10	3.62	4.05	4.05
	276	230	83.33				0.81	4.05	3.90	4.15	4.41	4.41	4.26	4.05	3.96	4.37	4.19	4.37	4.22	3.81	4.22	4.22
	212	181	85.38	1	6	6	0.40	4.51	4.51	4.49	4.49	4.50	4.65	4.52	4.38	4.61	4.57	4.52	4.44	4.24	4.60	4.60
	212	181	85.38				0.40	4.51	4.51	4.49	4.49	4.50	4.65	4.52	4.38	4.61	4.57	4.52	4.44	4.24	4.60	4.60
	131	125	95.42	1	6	2, 10	0.76	4.08	3.95	4.09	4.35	4.42	4.40	4.02	3.73	4.39	3.56	4.23	4.33	4.00	4.25	4.25
	56	41	73.21	1	6	10	0.80	4.44	4.39	4.37	4.46	4.56	4.61	4.39	4.15	4.37	4.54	4.23	4.39	5.00	4.55	4.55
	293	102	34.81	1	3	6	0.37	4.47	4.50	4.40	4.54	4.55	4.71	4.39	4.31	4.59	4.25	4.43	4.49	4.20	4.62	4.62
	38	34	89.47	1	6	2	0.39	4.53	4.29	4.53	4.50	4.26	4.71	4.68	4.74	4.68	4.65	4.44	4.50	4.46	4.68	4.68
	105	97	92.38	1	6	6	0.67	4.31	4.34	4.51	4.35	4.47	4.78	4.60	4.51	4.70	4.74	4.55	4.70	3.67	4.71	4.71
48	44	91.67	1	6	6	1.02	4.61	4.59	4.75	4.82	4.80	4.89	4.82	4.48	4.82	4.93	4.86	4.84	4.67	4.91	4.91	
83	54	65.71	1	6	6	0.91	4.69	4.56	4.76	4.80	4.81	4.87	4.85	4.61	4.81	4.87	4.76	4.81	5.00	4.87	4.87	
734	497	67.71				0.70	4.45	4.37	4.48	4.35	4.55	4.71	4.54	4.36	4.82	4.51	4.51	4.58	4.43	4.86	4.86	
心理学	38	27	71.05	1	1	2, 6	1.78	3.96	4.30	4.30	4.22	4.15	4.63	4.41	4.04	4.52	4.63	4.52	3.89	4.17	4.48	4.48
	36	25	69.44	1	2	10	0.56	4.08	4.24	4.36	4.40	4.28	4.24	4.24	3.80	4.20	4.36	4.20	4.24	4.17	4.28	4.28
	17	16	94.12	1	3	1, 3, 6, 10	0.20	4.89	4.31	4.68	4.56	4.56	4.81	4.69	4.82	4.81	4.75	4.69	4.81	5.00	4.81	4.81
	139	131	94.24	1	6	6	0.66	4.04	3.98	4.13	4.27	4.30	4.36	4.15	3.75	4.50	4.44	4.00	4.31	4.00	4.33	4.33
	230	199	86.52				0.80	4.19	4.21	4.37	4.36	4.32	4.51	4.37	4.05	4.51	4.55	4.35	4.31	4.34	4.47	4.47
	14	10	71.43	1, 2	6	3, 10	1.50	3.90	3.90	3.70	4.20	4.20	4.60	4.40	3.70	4.40	4.10	4.40	4.50	4.30	4.47	4.47
	198	161	81.31	1	6	6	0.48	4.18	4.24	4.31	4.42	4.41	4.41	4.41	3.76	4.47	4.47	4.50	4.39	4.47	4.47	
	52	49	94.23	1	6	6	0.99	4.10	4.14	4.12	4.22	4.35	4.41	4.43	3.76	4.55	4.55	4.53	4.45	4.67	4.54	4.54
	264	220	83.33				0.99	3.86	4.09	4.04	4.28	4.32	4.47	4.41	3.74	4.47	4.37	4.48	4.45	4.57	4.44	4.44
	66	62	93.94	1	6	10	0.81	4.48	4.37	4.48	4.45	4.50	4.48	4.35	4.52	4.58	4.55	4.56	4.50	4.85	4.52	4.52
300	234	78.00	1	6	6	0.55	4.09	4.21	4.18	4.38	4.40	4.47	4.34	3.79	4.46	4.41	4.38	4.31	4.17	4.43	4.43	
197	161	81.73	1	2, 6	6	0.82	4.20	4.20	4.30	4.58	4.59	4.60	4.45	3.96	4.59	4.57	4.43	4.51	4.36	4.54	4.54	
50	42	84.00	1	6	10	0.73	4.24	4.12	4.33	4.60	4.55	4.69	4.38	4.05	4.60	4.31	4.40	4.57	4.54	4.55	4.55	
613	499	81.40				0.73	4.25	4.23	4.32	4.50	4.51	4.56	4.38	4.08	4.56	4.46	4.44	4.47	4.48	4.51	4.51	
文化論	44	42	95.45	1	6	1, 6	0.41	4.31	4.19	4.48	4.50	4.48	4.48	4.38	4.38	4.57	4.55	4.49	4.38	5.00	4.50	4.50
	185	32	17.30	1	2	4, 6	0.62	4.53	4.22	4.44	4.41	4.19	4.66	4.31	4.50	4.25	4.44	4.31	4.44	4.00	4.53	4.53
	37	36	97.30	1	6	3, 10	0.34	4.67	4.47	4.64	4.44	4.44	4.69	4.47	4.53	4.47	4.69	4.50	4.58	4.40	4.67	4.67
	26																					
	292	110	37.67				0.46	4.30	4.28	4.52	4.45	4.37	4.61	4.39	4.47	4.43	4.56	4.43	4.47	4.47	4.57	4.57
	176	147	83.52	1	6	10	0.51	3.90	3.46	3.96	4.26	4.32	4.16	3.81	4.01	4.24	4.06	4.24	4.20	4.09	4.23	4.23
	176	147	83.52				0.51	3.90	3.46	3.96	4.26	4.32	4.16	3.81	4.01	4.24	4.06	4.24	4.20	4.09	4.23	4.23
	22	20	90.91	1	5	10	0.89	4.10	3.75	4.35	4.05	3.85	3.90	3.60	3.90	4.10	3.95	3.85	3.50	4.50	4.00	4.00
	32	31	96.88	1	6	5	0.90	4.58	4.48	4.68	4.61	4.68	4.71	4.81	4.77	4.71	4.74	4.42	4.48	4.50	4.80	4.80
	188	142	75.53	1	1	3	1.23	3.85	4.03	4.23	4.39	4.45	4.27	4.27	3.58	4.30	4.39	4.35	4.30	3.80	4.34	4.34

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度後期)

導入科目	履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	OJ平均	総合平均		
																						領域計	科目計
社会学	106	100	94.34	1	6	3	1.18	4.36	4.33	4.54	4.46	4.51	4.63	4.60	4.30	4.54	4.56	4.54	4.44	4.75	4.67	4.67	
	54	47	87.04	1	6	5, 6	0.41	4.32	4.19	4.43	4.60	4.60	4.53	4.38	4.09	4.47	4.53	4.57	4.53	4.50	4.53	4.53	
	402	340	84.58				0.92	4.24	4.16	4.45	4.42	4.42	4.41	4.33	4.13	4.42	4.43	4.35	4.25	4.41	4.47	4.47	
	57																						
	114	95	83.33	1	6	1	0.63	4.16	4.28														

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度後期)

教養科目	自然と科学		履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オフショ	総合平均					
																								計				
教養科目	自然と科学	物理学	80	69	86.25	1	6	6	0.59	4.42	4.28	4.42	4.49	4.49	4.61	4.51	3.99	4.48	4.35	4.20	4.48	4.67	4.47	4.47				
			354	314	88.70					0.47	4.38	4.30	4.40	4.48	4.52	4.47	4.15	4.47	4.40	4.36	4.41	4.04	4.44	4.44	4.44			
			59	46	77.97	1	2	6	0.64	4.46	4.50	4.48	4.39	4.41	4.28	4.26	4.28	4.46	4.07	4.50	4.41	4.33	4.54	4.54	4.54			
			67	63	94.03	2	2	1	0.87	3.97	3.90	4.05	3.97	4.16	3.83	3.97	4.70	4.08	4.21	4.00	3.95	3.80	4.10	4.10	4.10			
			20	20	100.00	1	6	6	0.20	4.80	4.50	4.75	4.85	4.85	4.70	4.75	4.75	4.80	4.90	4.80	4.75	4.67	4.80	4.80	4.80			
			146	129	88.36				0.57	4.41	4.30	4.43	4.40	4.47	4.27	4.33	4.24	4.45	4.39	4.43	4.37	4.27	4.48	4.48	4.48			
			48	46	95.83	1	5	6	0.18	4.39	3.80	4.26	4.35	4.28	4.54	4.00	4.20	4.26	4.17	4.26	4.37	4.17	4.36	4.36	4.36			
			60	50	83.33	1	6	6	0.63	4.44	4.16	4.34	4.44	4.50	4.60	4.48	4.12	4.52	4.72	4.64	4.42	4.00	4.62	4.62	4.62			
			113	99	87.61	1	2, 6	6	0.88	4.14	4.10	4.21	4.32	4.38	4.24	4.10	3.60	4.39	4.24	4.21	4.26	3.93	4.28	4.28	4.28			
			44	40	90.91	1	5	6	0.97	4.10	3.48	4.28	4.38	4.45	4.62	4.15	4.20	4.32	4.42	4.10	4.28	3.25	4.32	4.32	4.32			
			77	55	71.43	1	5	6	0.80	4.16	4.02	4.25	4.45	4.40	4.20	3.95	3.70	4.20	3.98	4.48	4.28	4.00	4.23	4.23	4.23			
			15																									
			89	75	84.27	1	2	6	0.48	3.92	3.91	4.31	4.40	4.41	4.35	4.17	3.93	4.32	4.40	4.43	4.43	4.13	4.25	4.25	4.25			
			32	30	93.75	1	1	3	0.83	4.30	4.27	4.23	4.47	4.40	4.53	4.43	4.23	4.60	4.67	4.57	4.57	3.50	4.43	4.43	4.43			
			24	13	54.17	1	6	1, 2, 3, 5, 10	0.54	4.23	3.92	4.23	4.38	4.46	4.54	4.54	4.62	4.69	4.62	4.62	4.58	5.00	4.33	4.33	4.33			
			124																									
			681	408	59.91				0.66	4.21	3.96	4.26	4.40	4.41	4.45	4.23	4.08	4.41	4.40	4.39	4.38	4.01	4.36	4.36	4.36			
			42	37	88.10	1	5	10	0.76	3.97	3.24	3.97	4.14	4.41	4.35	3.62	3.51	4.16	4.22	3.81	4.17	4.67	3.91	3.91	3.91			
			32	29	90.62	1	6	5	0.69	4.17	4.48	4.55	4.52	4.45	4.69	4.55	4.48	4.62	4.76	4.69	4.52	4.14	4.62	4.62	4.62			
			56																									
			51	47	92.16	1	5	6	0.55	4.47	4.30	4.51	4.55	4.70	4.70	4.66	4.51	4.68	4.70	4.60	4.62	3.75	4.80	4.80	4.80			
			150	141	94.00	1	5	3	0.57	4.51	4.26	4.57	4.64	4.72	4.74	4.66	4.55	4.79	4.75	4.72	4.71	4.50	4.80	4.80	4.80			
			38	35	92.11	1	5	6	0.69	4.38	4.09	4.44	4.53	4.56	4.59	4.41	4.41	4.59	4.65	4.24	4.52	4.00	4.47	4.47	4.47			
			369	289	78.32				0.65	4.30	4.07	4.41	4.48	4.57	4.61	4.38	4.29	4.57	4.62	4.41	4.51	4.21	4.52	4.52	4.52			
			85																									
			11	11	100.00	1	3	5	0.00	4.91	4.36	4.64	4.27	4.00	4.60	4.36	4.91	4.55	4.82	4.45	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91			
			24	18	75.00	1	6	2	0.22	4.39	4.81	4.61	4.67	4.72	4.72	4.67	4.78	4.89	4.83	4.83	4.72	4.62	4.82	4.82	4.82			
			5	5	100.00	1	2, 3, 5	3, 6, 10	1.60	4.40	4.40	4.60	4.20	4.20	4.20	4.40	4.40	4.20	4.40	4.20	4.40	4.20	5.00	4.50	4.50			
			31	30	96.77	1	5	6	0.50	4.70	4.67	4.73	4.67	4.73	4.77	4.80	4.83	4.80	4.77	4.80	4.67	5.00	4.83	4.83	4.83			
			20	16	80.00	1	6	2, 3	0.88	4.94	4.56	4.88	4.94	4.88	4.94	4.88	4.94	4.88	4.94	5.00	4.94	4.88	4.88	5.00	5.00			
			69																									
			73																									
			318	80	25.16				0.64	4.67	4.52	4.69	4.55	4.51	4.65	4.62	4.77	4.69	4.75	4.63	4.68	5.00	4.81	4.81	4.81			
			2426	1623	66.90				0.64	4.34	4.19	4.40	4.44	4.47	4.51	4.37	4.20	4.52	4.50	4.43	4.45	4.29	4.49	4.49	4.49			
			教養科目	応用と学際	応用	56	50	89.29	1	6	6	0.65	3.86	4.20	4.18	4.40	4.38	4.46	4.34	4.08	4.32	4.42	4.38	4.32	4.29	4.29		
						56	54	96.43	1	6	2	0.38	4.04	3.74	4.19	4.37	4.35	4.24	4.06	3.59	4.43	4.37	4.22	4.15	2.26	4.24	4.24	
						3	3	100.00	1	5	6	0.67	5.00	5.00	5.00	4.67	4.33	4.33	4.67	4.67	4.67	5.00	4.33	4.33	5.00	5.00	5.00	
						115	107	93.04				0.57	4.30	4.31	4.46	4.48	4.35	4.34	4.36	4.11	4.47	4.60	4.31	4.27	3.28	4.51	4.51	4.51
						13	8	61.54	1	2	6	0.62	4.38	4.38	4.38	4.62	4.38	4.62	4.50	4.38	4.38	4.38	4.38	4.81	4.75	5.00	4.71	4.71
						18	13	72.22	1	5, 6	6, 10	1.00	4.38	4.31	4.54	4.38	4.31	4.54	4.38	4.38	4.62	4.54	4.54	4.38	5.00	4.50	4.50	4.50
						0																						
						110	79	71.82	1	6	6	0.59	4.24	4.33	4.43	4.47	4.46	4.51	4.13	4.15	4.43	4.13	4.26	4.32	4.29	4.45	4.45	4.45
						277	258	93.14	1	6	3	0.40	4.41	4.50	4.52	4.48	4.49	4.63	4.51	4.52	4.54	4.53	4.26	4.43	4.41	4.59	4.59	4.59
						10																						
						28	28	100.00	1	6	6	0.00	4.86	3.64	4.50	4.43	4.14	4.71	4.50	4.93	4.79	4.57	4.64	4.79	5.00	4.86	4.86	4.86
						43	37	86.05	1	2	6	0.30	4.27	4.35	4.41	4.46	4.46	4.24	4.22	4.30	4.43	4.27	4.49	4.57	4.00	4.28	4.28	4.28
						38																						
						12																						
						0																						
						0																						
						549	423	77.05				0.49	4.42	4.25	4.46	4.47	4.37	4.54	4.37	4.44	4.53	4.40	4.56	4.54	4.62	4.57	4.57	4.57
						37	34	91.89	1	4	2	0.38	4.35	4.29	4.21	4.47	4.61	4.85	4.62	4.79	4.71	4.53	4.44	4.68	4.20	4.71	4.71	4.71
						200	78	39.00	1	2	3, 6	0.84	4.32	4.19	4.23	4.35	4.41	4.60	4.08	4.24	4.36	4.04	4.54	4.38	4.14	4.39	4.39	4.39
						45	42	93.33	1	2	6	0.98	4.26	4.21	4.19	4.33	4.43	4.43	3.95	4.15	4.19	4.31	4.31	4.40	3.00	4.26	4.26	4.26
						125	100	80.00	1	2	3	1.36	4.47	4.46	4.53	4.52	4.55	4.61	4.49	4.76	4.42	4.62	4.52	4.66	4.46	4.71	4.71	4.71
						407	254	62.41				0.89	4.35	4.29	4.29	4.42	4.50	4.62	4.29	4.49	4.42	4.38	4.45	4.53	3.95	4.52	4.52	4.52

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度後期)

領域	山形に学ぶ	地球学	履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オフショ	総合平均		
																								計	
共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語(C)	1,071	784	73.20				0.63	4.37	4.28	4.41	4.46	4.41	4.52	4.34	4.38	4.48	4.44	4.47	4.47	4.17	4.54		
			26	18	69.23	1	6	2, 7	0.39	4.06	4.33	4.28	4.33	4.33	4.39	4.33	3.89	4.44	4.33	4.28	4.39	5.00	4.39	4.39	
			0																						
			81																						
			40	31	77.50	1	6	1, 2, 5, 10	0.35	4.32	3.81	4.29	4.23	4.29	4.68	4.23	4.68	4.52	4.65	4.29	4.35	4.67	4.50	4.50	4.50
			118	100	84.75	1	2	3	0.72	4.15	4.16	4.34	4.49	4.54	4.47	4.25	3.90	4.51	4.41	4.52	4.50	4.60	4.51	4.51	4.51
			14	14	100.00	1	5	5	0.93	4.79	4.86	4.71	4.86	4.86	4.86	4.75	4.79	4.64	4.57	4.57	4.84	4.84	4.93	4.93	4.93
			35	36	92.31	1																			

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度後期)

			履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラハ平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オアション	総合平均				
																								35	36	35	32
共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語(R)	35	33	94.29	9	6	1	0.94	4.06	4.12	4.36	4.55	4.45	4.58	4.15	4.42	4.36	4.33	4.42	4.30	5.00	4.41				
			36	29	80.56	9	6	10	1.14	4.62	4.45	4.48	4.59	4.66	4.83	4.62	4.72	4.76	4.72	4.72	4.46	4.48	4.50	4.75			
			35	33	94.29	9	6	10	0.97	3.94	4.30	4.21	4.45	4.39	4.39	4.30	4.40	4.48	4.48	4.06	4.39	4.34	4.40	4.30			
			32	29	90.62	9	6	1	3	0.57	4.41	4.59	4.69	4.48	4.59	4.79	4.83	4.86	4.83	4.66	4.34	4.50	4.76	4.40			
			36	32	88.89	9	6	10	0.56	4.31	4.19	4.22	4.62	4.66	4.47	4.75	4.69	4.69	4.81	4.78	4.44	4.40	4.65	4.40			
			35	35	100.00	9	6	10	0.54	3.89	4.09	3.97	4.29	4.34	4.49	4.60	4.40	4.49	4.57	4.54	4.65	4.00	4.45	4.45			
			32																								
			34	33	97.06	9	6	1	0.45	4.55	4.52	4.58	4.52	4.55	4.70	4.61	4.73	4.64	4.55	4.58	4.52	4.00	4.69	4.69			
			34	31	94.12	9	6	10	0.74	4.41	4.19	4.36	4.38	4.41	4.69	4.28	4.53	4.41	4.34	4.31	4.31	4.20	4.34	4.20			
			31	31	100.00	9	6	10	0.34	4.29	4.19	4.42	4.49	4.70	4.45	4.32	4.58	4.58	4.65	4.59	4.52	4.00	4.45	4.45			
			31	28	90.32	9	6	10	0.50	4.18	4.46	4.43	4.50	4.57	4.68	4.54	4.57	4.68	4.57	4.68	4.57	4.59	4.00	4.59			
			34	34	100.00	9	6	10	0.82	4.35	4.41	4.68	4.59	4.62	4.85	4.85	4.91	4.82	4.71	4.71	4.70	4.67	4.85	4.85			
			11	2	18.18	6, 9	3, 5	1, 6	2.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	5.00	4.50	4.50	4.50	4.50		
			34	28	82.35	9	6	3	0.44	4.07	3.86	4.21	4.21	4.18	4.54	3.86	4.50	4.36	3.96	4.36	4.36	4.26	4.33	4.39	4.39		
			34	34	100.00	9	6	6	0.15	4.71	4.50	4.59	4.65	4.68	4.62	4.82	4.71	4.62	4.68	4.68	4.68	4.60	4.68	4.68	4.68		
				計	1,801	1,538	85.40				0.57	4.33	4.30	4.37	4.44	4.47	4.61	4.45	4.59	4.58	4.48	4.50	4.45	4.31	4.54		
			共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語(R)	35	33	94.29	9	6	10	0.85	3.91	4.03	4.15	4.39	4.42	4.70	4.27	4.48	4.24	4.52	4.42	4.39	4.33		
						34	33	97.06	9	6	5	0.65	3.94	4.09	3.85	4.21	4.30	4.09	4.18	3.97	4.06	4.24	4.18	4.06	3.40	4.24	
						36	34	94.44	9	6	10	0.29	4.21	4.29	4.38	4.44	4.33	4.29	4.21	4.41	4.38	4.41	4.38	4.41	4.21	4.27	
						36	36	100.00	9	6	6	1.0	0.40	4.28	4.14	4.39	4.61	4.67	4.78	4.50	4.61	4.58	4.72	4.39	4.60	4.67	4.56
						8																					
						34	30	88.24	9	6	5	1.0	0.52	4.00	3.87	3.73	4.10	4.23	3.87	3.77	3.67	3.90	4.20	3.97	4.20	3.00	3.97
						5																					
						34	30	88.24	9	5, 6	10	0.63	3.97	3.77	3.90	4.07	4.10	4.27	4.00	4.00	4.17	3.97	3.97	3.97	4.13	4.20	4.18
						35																					
						36	35	97.22	9	6	10	0.23	4.31	4.29	4.29	4.23	4.29	4.34	4.43	4.63	4.37	4.54	4.51	4.40	4.67	4.50	4.50
						36	34	94.44	9	6	10	0.88	4.27	4.39	4.36	4.48	4.48	4.64	4.48	4.39	4.45	4.45	4.45	4.45	4.45	4.45	4.45
						35	35	100.00	9	6	1, 10	0.21	4.26	4.31	4.31	4.51	4.54	4.40	4.54	4.63	4.51	4.59	4.38	4.43	4.43	4.43	4.43
						35																					
						34	31	91.18	9	10	1	0.81	4.26	4.32	4.03	4.42	4.58	4.39	4.19	4.42	4.55	4.61	4.49	4.65	4.14	4.30	4.30
						35	35	100.00	9	6	1, 3	1.59	3.77	4.14	4.14	4.40	4.46	4.43	4.34	4.26	4.34	4.57	4.46	4.41	4.00	4.26	4.26
						33																					
						33	32	96.97	9	6	1	0.82	4.09	3.94	4.22	4.53	4.59	4.66	4.03	4.16	4.66	4.41	4.56	4.34	4.00	4.16	4.16
						33	32	96.97	9	6	1	0.97	4.41	4.38	4.41	4.66	4.72	4.75	4.47	4.62	4.69	4.62	4.50	4.69	3.00	4.61	4.61
						31	31	100.00	9	6	6	0.90	4.06	4.26	4.32	4.48	4.52	4.55	4.10	4.26	4.48	4.03	4.48	4.29	3.86	4.32	4.32
						31	28	90.32	9	3, 6	6	0.85	4.36	4.36	4.36	4.54	4.61	4.79	4.68	4.57	4.68	4.71	4.75	4.64	5.00	4.81	4.81
						30	30	100.00	9	6	10	0.93	4.20	4.07	4.33	4.63	4.67	4.63	4.40	4.57	4.57	4.63	4.37	4.50	4.50	4.50	4.50
						30																					
						37	36	97.30	9	6	1	0.85	4.03	4.17	4.44	4.28	4.28	4.64	4.47	4.64	4.64	4.69	4.36	4.36	4.36	4.36	4.36
						37	33	89.19	9	6	10	0.39	3.82	3.91	3.73	4.21	4.27	4.21	3.55	3.76	4.15	3.39	4.24	4.15	3.66	4.09	4.09
						25	24	96.00	9	6	1, 6	0.26	4.46	4.29	4.04	4.04	4.12	4.67	4.33	4.29	4.75	4.38	4.46	4.17	5.00	4.22	4.22
						33	31	93.94	9	6	6	1.0	0.48	4.03	4.03	4.19	4.32	4.32	4.39	4.23	4.19	4.45	4.23	4.45	4.52	4.50	4.42
						37	33	89.19	9	6	1	0.36	4.52	4.45	4.33	4.39	4.61	4.91	4.67	4.52	4.88	4.64	4.64	4.52	4.50	4.69	4.69
						27	27	100.00	9	5	6	0.20	4.44	4.26	4.30	4.48	4.48	4.48	4.37	4.41	4.52	4.59	4.64	4.50	4.50	4.64	4.64
						4	3	75.00	9	2	2, 3, 10	2.00	3.67	4.00	4.00	4.00	4.33	3.67	3.67	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33	3.33	4.00	4.00
						36	34	94.44	9	6	6	1.44	4.21	4.35	4.12	4.41	4.48	4.33	4.24	4.29	4.50	4.29	4.44	4.42	3.97	4.38	4.38
						31	27	87.10	9	6	10	0.54	4.28	4.44	4.26	4.70	4.78	4.59	4.41	4.26	4.41	4.70	4.48	4.73	4.59	4.59	4.59
						32	32	96.97	9	6	6	1	0.52	4.03	4.19	3.97	4.22	4.00	4.28	4.03	4.19	4.34	4.25	4.38	4.28	4.00	4.03
						34	32	94.12	9	5, 6	5, 6	0.87	4.12	4.06	3.97	4.22	4.25	4.41	4.19	4.03	4.38	4.41	4.34	4.44	4.33	4.34	4.34
						33																					
						33																					
						32	28	87.50	9	2	3	1.07	4.04	4.21	4.11	4.54	4.46	4.50	4.43	4.46	4.57	4.61	4.61	4.50	4.50	4.50	4.50
						34	34	100.00	9	6	10	0.75	3.82	3.94	4.00	4.24	4.35	4.24	4.00	4.06	4.03	3.68	4.44	4.18	3.72	4.15	4.15
						11	7	63.64	9	1, 2, 3	10	1.57	3.86	4.43	4.14	4.57	4.71	4.71	4.71	4.71	4.86	5.00	4.86	5.00	5.00	4.71	4.71
						34																					
						34	29	85.29	9	6	6	0.32	4.34	4.31	4.21	4.45	4.55	4.69	4.66	4.59	4.66	4.76	4.72	4.72	4.00	4.58	4.58
						34	28	82.35	9	6	10	0.75	4.07	4.32	4.18	4.39	4.46	4.04	4.21	4.00	4.29	4.43	4.21	4.25	4.00	4.19	4.19

山形大学基礎教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度後期)

			履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラハ平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均
--	--	--	-----------	--------	-----------	-----	-----	-----	--------	------	------	------	-------	------	------	-------	-------------	------

第4章 学生と教員による授業改善アンケート

山形大学基盤教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度後期)

			履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラハ平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オフオン	総合平均			
																								1	2	3
情報リテラシー	情報処理		14																							
		9	9	100.00	1	6	10	0.11	4.11	4.22	4.56	4.56	4.56	4.56	4.44	4.56	4.56	4.56	4.67	4.56	4.56	4.56	4.56			
		36	32	88.89	9	1	6	1.42	3.94	4.06	4.25	4.19	4.22	4.38	4.16	4.25	4.38	4.12	4.34	4.16	4.33	4.33	4.38			
		24																								
		4	4	100.00	1	6	10	1.50	4.00	4.00	4.25	4.25	4.25	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.25	4.50	3.75	3.00	4.50			
		0																								
		0																								
		計	297	202	68.01				0.70	4.24	4.18	4.30	4.41	4.38	4.45	4.30	4.39	4.48	4.34	4.48	4.34	4.48	4.34	4.14	4.42	
		韓国語		33	30	90.91	1	6	6	0.70	4.17	4.10	4.53	4.57	4.47	4.70	4.37	4.57	4.77	4.73	4.47	4.69	4.81	4.88	4.63	
			46	43	93.48	9	6	6	0.47	4.53	4.23	4.56	4.49	4.58	4.79	4.60	4.67	4.34	4.70	4.63	4.74	5.00	4.81	4.81		
			15	15	93.75	1	3	6	0.73	4.60	4.47	4.67	4.87	4.87	4.87	4.87	4.87	4.87	4.87	4.87	4.87	4.93	4.93	4.93		
			計	95	88	92.63				0.63	4.43	4.27	4.59	4.64	4.64	4.79	4.61	4.70	4.79	4.77	4.66	4.79	5.00	4.77	4.77	
			日本語		16	16	100.00	9	1	2	4.25	4.44	4.50	4.56	4.56	4.56	4.94	4.81	4.69	4.69	4.81	4.88	4.81	4.08	4.88	
				17	16	94.12	1	5	3	0.12	4.88	4.88	4.88	4.88	4.88	4.94	4.88	4.75	4.88	4.88	4.88	4.94	4.88	4.45	4.94	
				22	22	100.00	1	5	3	0.36	5.00	4.91	4.95	4.91	4.88	4.95	4.91	4.95	4.91	4.95	4.91	5.00	4.79	5.00	4.79	
				15	15	100.00	1	5	3	0.13	4.87	4.93	4.87	4.80	4.73	4.80	4.87	4.80	4.87	4.87	4.87	4.87	4.73	4.82	4.80	
				17	14	82.35	9	5	5	0.36	4.96	4.29	4.43	4.77	4.79	4.71	4.64	4.71	4.57	4.79	4.86	4.86	4.79	4.64	4.64	
				22	22	100.00	1	5	3	0.35	4.91	4.86	4.77	4.86	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	4.86	4.86	4.91	5.00	5.00	4.81	
		9		9	100.00	1	5	1	1.10	4.22	4.11	4.89	4.56	4.56	4.33	4.44	4.78	4.67	4.67	4.89	4.67	4.44	4.44	4.75		
		計		118	114	96.61				0.26	4.65	4.75	4.72	4.76	4.72	4.81	4.83	4.78	4.78	4.86	4.86	4.82	4.62	4.83		
情報リテラシー	情報処理	1.012		806	79.64				0.69	4.46	4.30	4.52	4.58	4.58	4.67	4.61	4.66	4.67	4.67	4.65	4.62	4.44	4.69			
		63		55	87.30	9	6	6	4.44	4.02	3.98	4.20	4.20	4.13	4.05	3.91	3.56	4.05	4.02	4.27	4.26	4.33	4.13			
		9	5	55.56	1	2	6	1	1.00	4.40	4.20	4.80	4.80	4.80	5.00	4.40	4.80	4.80	4.60	4.80	5.00	5.00				
		60																								
		44	43	97.73	9	6	10	0.46	4.33	4.23	4.44	4.56	4.51	4.33	4.33	3.91	4.53	4.42	4.56	4.51	3.75	4.53				
		63	43	68.25	9	1	6	0.31	4.56	4.56	4.60	4.53	4.53	4.65	4.60	4.56	4.65	4.65	4.67	4.67	4.53	4.20	4.59			
		42	39	92.86	9	6	10	0.92	3.67	3.85	4.13	4.13	4.05	4.03	4.08	3.69	4.21	4.31	4.26	4.44	4.00	4.28				
		61	53	86.89	9	6	1	0.18	4.51	4.17	4.40	4.36	4.40	4.42	4.40	4.42	4.56	4.44	4.42	4.48	4.47	4.46				
		25	22	88.00	1	1	6	0.33	4.55	4.68	4.54	4.73	4.77	4.82	4.82	4.73	4.86	4.86	4.82	4.82	4.86	4.86				
		計	367	260	70.84				0.52	4.29	4.24	4.46	4.47	4.46	4.44	4.45	4.38	4.52	4.50	4.51	4.55	4.19	4.55			
健康・スポーツ	健康・スポーツ科学	24	21	87.50	1	2	1	4	0.76	4.52	4.52	4.62	4.67	4.67	4.67	4.62	4.62	4.57	4.62	4.67	4.62	4.43	4.67			
		89	65	73.03	1	6	6	1.08	3.97	4.26	4.28	4.28	4.26	4.08	3.95	3.20	4.08	3.91	3.66	4.15	4.00	4.20				
		146	114	78.06	1	6	6	0.51	4.18	4.17	4.24	4.36	4.36	4.39	4.25	3.57	4.20	4.29	4.20	4.16	4.21	4.32				
		56																								
		117	91	77.78	1	6	1	0.60	4.33	4.42	4.52	4.53	4.53	4.51	4.48	4.15	4.59	4.55	4.55	4.52	4.50	4.54				
		96	86	89.58	1	6	6	0.65	4.23	3.99	4.29	4.42	4.37	4.33	4.12	3.77	4.44	4.38	4.27	4.35	4.20	4.35				
		計	528	377	71.40				0.72	4.25	4.27	4.39	4.45	4.44	4.40	4.28	3.86	4.38	4.35	4.27	4.38	4.27	4.42			
		共通科目	健康・スポーツ	スポーツ実技	30	30	100.00	1	4	10	0.70	4.60	4.83	4.57	4.63	4.70	4.80	4.73	4.80	4.77	4.83	4.83	4.83	4.72	4.46	4.86
					34	32	94.12	1	2	2	4	0.61	4.75	4.75	4.44	4.66	4.56	4.69	4.66	4.69	4.62	4.75	4.53	4.56	4.76	4.71
					29	29	100.00	1	2	10	0.57	4.79	4.86	4.72	4.62	4.62	4.62	4.59	4.72	4.59	4.76	4.34	4.48	4.00	4.76	
32	31				96.88	1	2	3	0.19	4.84	4.84	4.87	4.81	4.84	4.68	4.71	4.68	4.71	4.71	4.71	4.55	4.65	5.00	4.84		
36	30				83.33	1	2	3	0.41	4.63	4.67	4.60	4.67	4.60	4.60	4.70	4.60	4.63	4.27	4.57	4.71	4.71	4.75			
31	31				100.00	1	2	2	0.74	4.61	4.71	4.52	4.48	4.45	4.61	4.48	4.65	4.61	4.74	4.39	4.60	4.50	4.78			
44	40				90.91	1	2	4	0.41	4.56	4.56	4.49	4.46	4.41	4.15	4.26	4.18	4.28	4.31	4.21	4.29	4.33	4.62			
40	38				95.00	1	2	4	0.14	4.79	4.68	4.55	4.58	4.58	4.42	4.32	4.55	4.55	4.58	4.26	4.11	4.29	4.59			
21	18				85.71	1	2	4	0.71	4.78	4.78	4.78	4.78	4.72	4.67	4.56	4.61	4.78	4.67	4.61	4.56	5.00	4.76			
22	21				95.45	1	2	10	1.00	4.76	4.71	4.67	4.52	4.48	4.62	4.52	4.57	4.52	4.29	4.48	4.52	4.25	4.75			
30	29				96.67	1	2	3	0.62	4.67	4.66	4.63	4.76	4.76	4.90	4.83	4.90	4.86	4.86	4.86	4.76	4.67	4.83			
15	15				100.00	1	2	3	1.20	4.53	4.67	4.40	4.67	4.40	4.27	4.47	4.47	4.47	4.07	4.57	4.60	4.40				
37	30				81.08	1	1	4	0.81	4.57	4.60	4.47	4.47	4.43	4.40	4.33	4.47	4.57	4.53	4.33	4.38	4.30	4.56			
41	40				97.56	1	2	4	0.54	4.35	4.60	4.38	4.45	4.42	4.53	4.55	4.42	4.50	4.50	4.38	4.32	4.11	4.53			
25	24				96.00	1	2	3	0.67	4.71	4.75	4.54	4.71	4.75	4.62	4.62	4.75	4.71	4.62	4.67	4.65	5.00	4.79			
15	14				93.33	1	2	6	1.00	4.23	4.79	4.71	4.57	4.57	4.43	4.64	4.64	4.64	4.79	4.11	4.50	4.00	4.69			
15	14				93.33	1	2	4	0.57	4.86	4.86	4.86	4.71	4.71	5.00	4.86	5.00	4.79	4.93	4.46	4.50	4.75	5.00			
26	22				84.62	1	2	4	0.86	4.91	4.73	4.73	4.73	4.77	4.77	4.77	4.77	4.77	4.86	4.77	4.86	4.92	4.91			
13	12				92.31	1	2	3	0.20	4.83	4.92	4.75	4.75	4.92	4.92	4.83	4.92	4.83	4.83	4.75	4.75	4.75	4.92			
32	27				84.38	1	2	4	0.70	4.63	4.70	4.67	4.63	4.63	4.81	4.81	4.74	4.78	4.78	4.48	4.59	4.43	4.75			

山形大学基盤教育 授業改善アンケート集計結果(H28年度後期)

			履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラハ平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均</
--	--	--	-----------	--------	-----------	-----	-----	-----	--------	------	------	------	-------	------	------	-------	---------------

基盤教育 授業改善アンケート調査（教員用）
—学生の授業改善アンケートとその個別分析表を見て—

山形大学基盤教育評価改善会議

記入上の注意
 1. 自由記述欄以外の回答は、いずれかの該当する欄を塗りつぶしてください。
 2. 記入は、H又はHBの黒鉛筆を使用してください。
 3. 訂正は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
 4. 所定欄以外には塗りつぶしたり、記入したりしないでください。

記入例	
正	→ ●
誤	→ ☹

氏名

- 所属学部を教えてください。（非常勤講師の方は、所属部局にかかわらず「①非常勤講師」を選んでください。）
- 担当している領域等をすべて選んでください。

①非常勤講師	②人文学部	③地域教育文化学部	④理学部	⑤医学部	⑥工学部	⑦農学部	⑧基盤教育院	⑨その他				
○	○	○	○	○	○	○	○	○				
①スタートアップセミナー	②アドバンスセミナー	③人間を考える	④共生を考える	⑤文化と社会	⑥自然と科学	⑦応用と学際	⑧山形に学ぶ	⑨コミュニケーション・スキル	⑩情報リテラシー	⑪健康・スポーツ	⑫サイエンス・スキル	⑬キャリアデザイン
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎あなたの考えを聞かせてください。

- 1 学生の授業改善アンケートの個別分析表は、授業改善の参考になりましたか？該当するものを選んでください。

①大変参考になる	②少しは参考になる	③あまり参考にならない	④全然参考にならない
○	○	○	○

- 2 個別分析表の項目で授業改善の参考になったのはどの数値ですか？該当するものをすべて選んでください。

①自分の授業の平均	②全体平均との比較	③相関係数	④回答の内訳人数と%
○	○	○	○

- 3 学生用アンケートの質問2～16のうち、あなたが特に重視している項目とあまり重視していない項目を4つずつ選んでください。

	重視している	重視していない
質問 2 あなたはこの授業を何回欠席しましたか。	○	○
質問 3 この授業を意欲的に受講しましたか。	○	○
質問 4 内容を理解できましたか。	○	○
質問 5 考え方、能力、知識、技術などの向上に得るところがありましたか。	○	○
質問 6 シラバスに授業の目標や授業計画は具体的に示されていましたか。	○	○
質問 7 シラバスに成績評価基準と評価方法は具体的に示されていましたか。	○	○
質問 8 教員に熱意は感じられましたか。	○	○
質問 9 教え方（教授法）はわかりやすかったですか。	○	○
質問 10 教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションはとれていましたか。	○	○
質問 11 授業はよく準備されていましたか。	○	○
質問 12 教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	○	○
質問 13 板書や配付物、提示資料は読みやすかったですか。	○	○
質問 14 教員は教室内の勉学の環境を良好に保つよう、配慮していましたか。	○	○
質問 15 オプション（授業担当教員から指示があります）	○	○
質問 16 この授業を総合的に判断すると良い授業だと思いますか。	○	○

- 4 この授業で良かったと思う点、改善すべき点をあげてください。

◎良かった点

◎改善すべき点

- 5 今回の授業改善アンケート調査の個別分析表をご覧になってのご感想、ご意見を何でもお書きください。
- 6 今回の授業改善アンケートの自由に設定できる質問欄（質問 15、19）のご感想、ご意見を何でもお書きください。
- 7 今後の参考にお伺いいたします。アンケート用紙の受け渡しに関しましてどちらかをご選択ください。

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 教務課のカウンターで受け取る
<input type="checkbox"/> 事前にメールボックスで受け取る |
|---|

複数の授業をお持ちの方は1枚のみのご提出で結構です。ご協力ありがとうございました。

教員アンケートの自由記述欄

※前期のみ掲載

【前期】

質問4(良かった点・改善すべき点)

◎良かった点

- ・丁寧に説明しているとの意見があった事
- ・説明を丁寧に心がけた結果、一定の評価を得られた
- ・実験実施
- ・質問への回答
- ・授業の意図を理解してもらえた点
- ・問題演習のプリント
- ・附属博物館に連れて行き説明したことが、良かったと評価された点
- ・学生に発表させて、それについて学生の意見をまとめて示し、講評しながら学習内容を深めたこと
- ・レポートが良かったとの意見が多かった。家でも学ぶという形が個々でできたとの意見はその通りだと思う。
- ・山形県内の地域作りについて主なものを紹介することにより、山形県の場合を知るといふねらいは、効果があるということが分かった。この点では新しいスタイルの授業を構築できる可能性が出てきたと言うことで良かった。
- ・学生達の授業参加が活発だったこと
- ・楽しく学生が受講できたらいい点
- ・1年生とコミュニケーションを取るようこころがけた。
- ・巡検で野外に行く前に事前学習を手厚くしたこと。
- ・音楽の予備知識のある学生や意識のある学生にとっては教養としての知識を身につける良い機会となった。
- ・学科の教員による全研究室の紹介ができたこと。
- ・授業の意図するところが学生が理解しているところ
- ・担当する教員が複数であるという点
- ・My course is well planned and the design gives students examples/models, so they are aware how discuss ous should be conducted thus, they are well prepared before being graded

◎改善すべき点

- ・つまらないという意見があった事
- ・板書を丁寧にすべき点
- ・資料が見にくかったという声が多くあったので改善したい
- ・対話が少ない点
- ・難しすぎる点
- ・空調に対する配慮不足
- ・板書をわかりやすいようにすべき(説明不足)
- ・大きな声で説明すべき
- ・学生が考える時間を持てるように板書のスピードを考えるべき
- ・スライドの切替の間合いの改善。ただし学生によって筆字のスピードに差があり大変難しい

- ・マイクを使った方がいいみたいである。板書がうまくいかないでゆっくり書いた方がよい
- ・試験のポイントを明確に示さなかったこと
- ・小論文を返却して欲しいとの要望があった。その通りだと思いが、理系の教員には難しい部分も多い。来年度に期待したい。
- ・今回の授業ははじめての試みであり、講義の流れが悪かったと思っている。もう少し講義内容を検討し、全体の構成及び流れを改善したいと考えている。
- ・TOEIC テキストではないので、それ用の対策(リスニング)ができなかったこと。(学生たちが黒板をきちんとノートに書き、話にも集中していたのか分かってよかった。
- ・小テスト・単語テストの頻度・難易度が若干高かった。
- ・安易に取り組む学生に、どのように指導するか。難しいところである。
- ・上記を行ったために、シラバスの内容が半分くらいしか進まなかった。
- ・音楽に対しての知識がなく積極性のない学生にとっては内容が一般的ではないため受け入れ難いものとなっていたので内容を精査、もしくは大勢を相手にするのであれば万人受けするようなものへの変更も考慮すべきかもしれない。
- ・なぜばなるのテキストの内容を最後まで全うできなかった点。
- ・教員が audio 機器の操作が苦手で audio 機材を使った文化紹介ができなかったこと。
- ・教員と学生とのコミュニケーションの活性化、強化
- ・I don't feel that I would change much about how I conduct this course
- ・教科書が難しいという意見があったが、もう少し優しい本があればいいのだが

質問5(個別分析表をみて)

- ・意欲的な学生の評価は良いが、そうでない学生の評価が低い。
- ・昨年度に比べスコアが全体的に低下していたので反省している。
- ・基盤の授業は今年が初めてとはいえ、全体平均より下回ることになり、自分の授業の未熟さを思い知る結果となった。後期には評価の高い授業の見学に行くことを計画している。
- ・質問 15 のオプションは何も指示していないのに回答があったのが不思議
- ・学生アンケート内容は、学生の勉学の姿勢を問われているとの認識が少ないことに今更ながら驚かされる。
- ・自分の授業に対する反省点、改善点が分かって大変良いと思う。今後、是非続けて頂きたい。
- ・必修科目のスタートアップセミナーなので、教授法や内容よりも、アンケートの結果は、学生が主体的に取り組んだかどうか左右されると思う。
- ・「授業の進め方が、他の基盤の授業のように早く進まないことがよかった」という半面、「シラバスの内容が半分しかで

きてない」という意見もあり、3年生と1年生の授業を勧めるのが難しいと感じた。

- 128 人という多勢相手の講義は未経験につき手探り状態であった。一方的な授業であったという点が悪かったようなので、次回あるなら授業の進め方を考え直したいが、少人数対象の授業への変更をしたい。
- いつものことながらアンケートを分析をされる方々のご苦勞をお察し申し上げます。
- I don't believe students put much thought or effort into filling out the questionnaive, so I doubt the value of the result

質問6(自由設定欄について)

- 自由設定欄は有効なので維持して欲しい。
- 19の席を毎回指定したことに対しては5, 1、空白等の極端な回答があった。好き嫌いがはっきりしている学年だと思われる。
- 今回、質問15及び19は設定しなかった。今後は設定し授業改善や学生の要望に少しでも応えられるようにしていきたい。
- 「発展」していたが、1年生の1人は「専門的すぎる」という意見は参考にできない
- I do not use these questions

第5章

ミニ公開授業・検討会 ベストティーチャー賞



平成 28 年度ベストティーチャー賞受賞者

【学生推薦】

○人文学部 中島 宏 准教授

【公開授業】

平成 28 年 7 月 11 日 (月) 14 : 40 ~ 16 : 10

『日本国憲法』



<学生推薦 投票理由>

- ◇ 生徒の興味を引き出させる講義をしている。
- ◇ 非常に興味もてる授業であり、ためになっている感じがすごくするから。
- ◇ 憲法について色々な視点から様々なことを教えてくれたから。
- ◇ 辛い憲法の授業も楽しく受講できるから。
- ◇ 授業がとても面白く、わかりやすい。憲法について考えさせられることが多くあるため。
- ◇ 自分の考えを話しながらの授業だったから。
- ◇ 授業の組み立てがわかりやすい。多い人数でもしっかりとした授業になっている。
- ◇ 授業が面白く、先生本人もとてもユニークで授業が楽しかったから。
- ◇ 生徒の意見を積極的に聞いていて勉強になるから。
- ◇ 憲法の授業を履修していますが、自分たちの意見を尊重しながら、授業を展開していただいているので楽しい。
- ◇ 授業内容が面白く、全く興味を持っていなかった分野だったが関心が高まったから。
- ◇ ただ教師が一方的に話すだけでなく、生徒も一緒に授業をしている感じが強いから。
- ◇ 内容が分かりやすく、資料も内容の理解に役立つ身近なものが多い為。
- ◇ スクリーンを使って様々な画像や映像、データも表示し、わかりやすい授業をしてもらえるから。
- ◇ 授業の会話が面白い、生徒に意見を聞き積極的な授業をしているから。
- ◇ 憲法について具体的な事例を取り上げて興味深く説明するので。

○基盤教育院 千代 勝実 教授

【公開授業】

平成 28 年 7 月 12 日 (火) 14 : 40 ~ 16 : 10

『微分積分学 1』



<学生推薦 投票理由>

- ◇ 生徒の立場を常に考えているから。
- ◇ 自分たち学生のことを考えてくれていると感じました。
- ◇ 授業に対して意欲的になる授業を行ってくれる。
- ◇ 「自ら学ぶ」の講義で楽しく話すことができたから。
- ◇ 生徒 1 人 1 人にしっかり対応してくれてとにかく優しい！
- ◇ 1 週間ごとに親身になってアドバイスしてもらえたから。
- ◇ よく生徒とコミュニケーションをとっていい条件で授業が受けられた。
- ◇ 学習が苦手な人にも丁寧に教えてくれる。
- ◇ 物理をとっていなかった人にも丁寧に教えて下さったから。
- ◇ 高校物理を取っていないけれど、力学について理解できる授業だったから。
- ◇ 落ち着いたトーンでの説明、大人数に対応した資料の閲覧方法 (スマホで資料が見ても良い) など総合的に判断して投票した。
- ◇ 部屋いっぱいに学生がいるのに、1 人 1 人にテストを返却していたため。
- ◇ 教え方や、課題、授業の量などが自分に最も合っていたため。自分のスピードで進むのではなく、理解させようとする努力が感じられたため。
- ◇ 最後に演習問題をするのが、その日の講義の理解を深められてよかった。
- ◇ 学生目線で授業を展開してくれるため、非常に分かりやすかったし、得られたものも多かったから。あと、常に低姿勢で学生に接していて非常に好感がもてたから。
- ◇ 講義、復習が非常に分かりやすい。とても身のある講習ができる。万が一分からない部分があっても全体で教えてくれるので助かる。

平成 28 年度

基盤教育ベストティーチャー賞 表彰式



(表彰状・副賞の授与)



(安田基盤教育院長からの祝辞)



(記念撮影)



(懇談の様子)

ミニ公開授業・検討会 登録票

私は「ミニ公開授業・検討会」を以下のように実施する予定です。

所属： _____ 氏名： _____

開講科目名： _____

実施日時： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 () _____ 校時

実施日時未定

随時

参観予定者所属・氏名：

この授業は、参観予定者のほか、

参観を希望される方に広く公開します。

平成 年 月 日

「ミニ公開授業・検討会」登録教員 各位

基盤教育評価改善会議議長

下 平 裕 之

「ミニ公開授業・検討会」の授業担当者と参観者に寄せて

このたびは、「ミニ公開授業・検討会」の実施にご協力いただき、ありがとうございます。ご存知のように、「公開授業・検討会」は、授業担当者のみならず、参観者の授業改善においても、とても有効な方法です。

しかしながら、授業方法と同じように、「公開授業・検討会」の最善の実施方法は、いまだ確立されておられませんし、多様な授業方法がある限り、これからも確立されるとは思いません。本会議としても、方法論についてはこれからも研究を積んでいかなければなりません。授業改善の方法として有効に活用されるならば、多様な方法があつてしかるべきだと考えております。どうか、ご自分流の方法を編み出してご教示いただければと思います。

そうした前提を踏まえた上で、「ミニ公開授業・検討会」が、より実りあるものになるように、ここではこれまで本会議で研究して参りました、『「ミニ公開授業・検討会」を実施するに当たっての留意点』を別紙のとおりまとめましたので、参観者にも配付いただき、ご参考いただければ幸いです。

なお、アンケートも同封いたしますので、「ミニ公開授業・検討会」の際、配付の上、ご記入いただくようお願いいたします。このアンケートは授業担当者、参観者同一のもので、参観者が増えた場合などには、コピーをしてご使用願います。

授業担当者と参観者にご記入いただきましたアンケートについては、取りまとめたいただき、学生センター教務課教育企画担当(内線4720)へお届けくださいますよう、お願いいたします。

「ミニ公開授業・検討会」を実施するに当たっての留意点

1 今回の「ミニ公開授業・検討会」が終了した後、授業担当者が授業の改善に利用することはもちろんのこと、参観者もその授業の良いところを発見し、自分の授業にも活かすよう心がけてください。

「また自分の授業を公開しても良い」「今度は自分の授業を公開しよう」といった積極的な姿勢を持てるような、内容のある、明るいムードの「ミニ公開授業・検討会」としてください。

2 授業担当者は、普段どおりの授業を心がけてください。参観者は授業に介入しないよう、参観する位置についても考慮してください。なるべく、学生の注意が参観者に向かないことが望まれます。

3 参観者は、学生と一緒にになって授業だけに集中しないでください。大切なのは、授業中の学生の反応です。授業の内容や授業担当者の行動の変化によって学生は敏感に反応しているはずです。学生は、どのような時に授業に集中し、どのような時に集中力を失っているのでしょうか。

また、今回参観した授業が、15回分（初修外国語の場合は30回分）の1回だということに留意してください。今回の授業がその授業の全体ではありません。それと同時に、授業は、それまでに築き上げられてきた学生との関係によって成立していることも忘れないでください。

4 教室の環境などにも留意してください。授業の大切な構成要素です。

5 検討会では、参観者が授業を褒めることから始めてください。授業担当者のコメントから始めると、ひたすら反省の弁を述べ続けることになる恐れがあります。最初に授業を褒めることが、その後の授業の分析や批評の妨げになることはないはずです。

平成28年度山形大学基盤教育ベストティーチャー賞実施要項

山形大学基盤教育評価改善会議

【趣旨】

基盤教育において、多くの学生に支持され、質の高い授業を提供してきた優秀な教員に「ベストティーチャー賞」を授与し、基盤教育院長が表彰する。

【ベストティーチャー賞について】

ベストティーチャー賞は、原則として、前・後期各1名を選出するものとする。

◎対象者

対象者は次に該当する者とする。

平成27年度において、1つ以上の基盤教育の授業を担当した者（非常勤講師を含む）

◎選考方法

- ① 学生の投票により行う。なお、投票の実施については、別途定める。
- ② 評価会議は、特段の理由が無い限り、最多得票者を受賞者に決定する。
- ③ 最多得票者が平成28年度において本学に在職しない場合は、それに次ぐ得票を得たものを受賞者とする。
- ④ 最多得票者が同数で複数存在する場合は特段の理由が無い限り、その全員を受賞者に決定する。

【表彰】

受賞者には、表彰状及び副賞（10万円）を贈呈する。ただし、ベストティーチャー賞受賞者が複数となった場合、副賞の金額については、按分等による調整を行うものとする。

受賞者が非常勤講師であった場合には、表彰状のみを贈呈するものとする。

【その他】

ベストティーチャー賞受賞者には、すばらしい授業の共有化を図るため、平成28年度前・後期の授業で公開授業を実施していただく。

付 録

G P A分析調査



平成27年度基盤教育科目成績分布一覧(GP構成比)

科目	領域・授業科目名	履修者数	履修総単位数	成績評価区分(GP)別履修者数					GPA	
				F(不可)0点	C(可)1点	B(良)2点	A(優)3点	S(秀)4点		
導入科目		1780	3560	0.7%	1.1%	3.6%	16.7%	27.8%	3.40	
	スタートアップセミナー	1704	3408	0.6%	1.1%	3.5%	16.3%	28.5%	3.42	
	アドバンスセミナー	76	152	4.6%	0.7%	7.2%	24.3%	13.2%	2.82	
基幹科目		3577	7154	3.4%	8.1%	10.6%	14.8%	13.1%	2.52	
	人間を考える	1765	3530	2.6%	7.0%	8.0%	13.6%	18.8%	2.78	
	共生を考える	1812	3624	4.1%	9.2%	13.2%	15.9%	7.6%	2.27	
教養科目		14682	29341	2.7%	4.8%	9.4%	15.7%	14.3%	2.70	
	文化と社会	6418	12836	3.3%	6.7%	12.3%	17.1%	10.5%	2.50	
	講義系授業	5655	11310	3.6%	7.3%	13.2%	16.3%	9.6%	2.42	
	哲学	269	538	4.8%	3.7%	9.5%	25.5%	6.5%	2.50	
	心理学	192	384	5.5%	9.6%	10.4%	10.9%	13.5%	2.35	
	歴史学	1206	2412	2.1%	3.4%	11.5%	21.5%	11.5%	2.74	
	文学	220	440	0.9%	9.8%	16.8%	15.9%	6.6%	2.35	
	芸術	542	1084	2.4%	2.5%	10.1%	18.2%	16.8%	2.89	
	言語学	1021	2042	3.9%	11.7%	16.2%	15.0%	3.2%	2.04	
	文化論	589	1178	4.2%	11.5%	14.3%	10.3%	9.8%	2.20	
	法学	150	300	3.7%	4.3%	16.7%	17.7%	7.7%	2.43	
	経済学	680	1360	3.2%	6.8%	11.0%	12.7%	16.2%	2.64	
	社会学	419	838	5.1%	6.9%	13.4%	18.0%	6.6%	2.28	
	政治学	224	448	6.5%	10.0%	16.7%	11.4%	5.4%	1.98	
	地理学	100	200	12.5%	18.5%	15.0%	3.0%	1.0%	1.23	
	地域科学	43	86	0.0%	0.0%	26.7%	18.6%	4.7%	2.56	
	日本国憲法	898	1796	3.0%	7.6%	18.3%	16.0%	5.2%	2.26	
	教養セミナー	763	1526	1.4%	1.6%	6.1%	23.5%	17.4%	3.08	
	自然と科学	4851	9702	2.8%	4.6%	9.0%	14.6%	19.1%	2.85	
	講義系授業	4394	8788	3.0%	4.6%	8.8%	14.4%	19.2%	2.84	
	生物科学	1324	2648	3.0%	7.0%	12.9%	17.7%	9.4%	2.47	
	地球環境学	663	1326	1.2%	4.4%	10.8%	16.2%	17.3%	2.88	
	数理科学	688	1376	4.5%	3.8%	6.2%	10.1%	25.4%	2.96	
	物理学	994	1988	2.6%	2.7%	7.0%	14.1%	23.6%	3.07	
	化学	725	1450	3.6%	4.1%	4.6%	11.1%	26.7%	3.06	
	教養セミナー	457	914	0.5%	4.4%	10.8%	16.2%	18.1%	2.94	
	応用と学際	1431	2839	2.4%	2.3%	6.8%	16.3%	22.5%	3.09	
	講義系授業	1064	2105	2.9%	2.9%	8.4%	14.5%	21.9%	2.99	
	応用	125	227	8.8%	1.3%	7.0%	30.0%	7.9%	2.56	
	学際	939	1878	2.2%	3.0%	8.6%	12.6%	23.5%	3.04	
	教養セミナー	367	734	0.8%	0.8%	2.3%	21.7%	24.4%	3.36	
	山形に学ぶ	1084	2168	1.4%	1.7%	5.6%	25.0%	16.3%	3.06	
	講義系授業	1000	2000	1.3%	1.8%	6.0%	24.9%	16.1%	3.05	
	地域学	1000	2000	1.3%	1.8%	6.0%	24.9%	16.1%	3.05	
	教養セミナー	84	168	2.4%	1.2%	1.2%	26.8%	18.5%	3.15	
	共通科目		16021	23859	2.4%	8.8%	15.6%	22.4%	18.0%	2.71
		コミュニケーション・スキル1	6723	6723	2.7%	18.9%	31.4%	35.6%	11.3%	2.34
英語		6723	6723	2.7%	18.9%	31.4%	35.6%	11.3%	2.34	
コミュニケーション・スキル2		2099	4174	1.7%	6.9%	10.9%	16.8%	14.0%	2.69	
ドイツ語		724	1448	2.1%	9.0%	12.4%	14.2%	12.3%	2.51	
フランス語		377	754	2.8%	8.8%	12.3%	15.1%	11.0%	2.46	
ロシア語		136	272	1.8%	3.3%	6.6%	15.1%	23.2%	3.09	
中国語		684	1368	1.0%	4.3%	9.1%	20.2%	15.4%	2.89	
韓国語		154	308	0.0%	7.1%	10.7%	16.6%	15.6%	2.81	
日本語		24	24	4.2%	4.2%	25.0%	58.3%	8.3%	2.62	
情報リテラシー		1579	3158	2.2%	2.4%	4.2%	13.9%	27.2%	3.23	
情報処理		1579	3158	2.2%	2.4%	4.2%	13.9%	27.2%	3.23	
健康・スポーツ		2321	3206	1.5%	3.6%	9.8%	22.6%	34.9%	3.03	
健康・スポーツ科学		853	1706	2.3%	5.5%	12.3%	18.5%	11.4%	2.63	
スポーツ実技		1436	1436	0.6%	1.3%	6.9%	27.6%	63.6%	3.52	
スポーツセミナー		32	64	1.6%	3.1%	9.4%	20.3%	15.6%	2.91	
サイエンス・スキル		2357	4714	3.7%	6.0%	8.6%	14.2%	17.5%	2.71	
数学		1252	2504	4.1%	5.5%	9.6%	14.1%	16.7%	2.67	
物理学		696	1392	3.4%	7.5%	7.3%	13.9%	18.0%	2.71	
化学		409	818	3.1%	4.9%	7.9%	15.2%	18.9%	2.84	
キャリアデザイン	942	1884	1.2%	3.8%	15.8%	21.8%	7.4%	2.61		
基盤教育全科目		36060	63914	2.6%	6.5%	11.5%	18.2%	16.3%	2.72	

山形大学基盤教育評価改善会議委員名簿

平成29年3月現在

基盤教育実施部導入科目部門長	議長	下平裕之
基盤教育実施部基幹科目部門長		栗山恭直
基盤教育実施部教養科目部門長		小林俊介
基盤教育実施部共通科目部門長		千代勝実
人文学部		高倉新喜
地域教育文化学部		小田隆治
理学部		脇克志
基盤教育院		安田淳一郎
小白川キャンパス事務部教務課長		齋藤秀昭

基盤教育評価改善会議報告書（平成28年度）

発行日：平成29年3月31日

編集・発行：山形大学基盤教育院基盤教育評価改善会議

事務局：山形大学小白川キャンパス事務部教務課
TEL/FAX：023-628-4720
E-mail：k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学基盤教育評価改善報告書 平成 28 年度

山形大学基盤教育院基盤教育評価改善会議
平成 29 年 3 月

